

人権・男女共同参画に関する市民意識調査 報告書

令和 2 年 2 月

 津 島 市

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査方法等	2
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2
6. 回答者の属性	3
II 調査結果	5
1. 人権に関する市民意識調査項目	5
（1）人権意識について	5
（2）女性の人権について	13
（3）子どもの人権について	14
（4）高齢者の人権について	15
（5）障がいのある人の人権について	16
（6）外国人の人権について	17
（7）エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者、ハンセン病回復者などの人権について	18
（8）インターネットによる人権侵害について	20
（9）家柄・血筋について	24
（10）同和問題（部落差別）について	29
（11）人権尊重の取り組み及び啓発活動への参加、認知について	43
2. 男女共同参画に関する市民意識調査項目	47
（1）家庭生活などについて	47
（2）女性が働くことについて	58
（3）子育て、介護などについて	60
（4）男女の平等について	63
（5）ドメスティック・バイオレンスについて	71
（6）男女共同参画社会について	74
3. 自由意見のまとめ	84
III 調査票	86

1. 調査の目的

本業務は、人権施策推進プラン及び男女共同参画プランの次期計画策定のため、市民の人権と男女共同参画に関する意識や実態を把握し、効果的な施策の推進を図るための基礎資料を得ることを目的とします。

2. 調査項目

《 人権に関する市民意識調査項目 》

- (1) 人権意識について
- (2) 女性の人権について
- (3) 子どもの人権について
- (4) 高齢者の人権について
- (5) 障がいのある人の人権について
- (6) 外国人の人権について
- (7) エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者、ハンセン病回復者などの人権について
- (8) インターネットによる人権侵害について
- (9) 家柄・血筋について
- (10) 同和問題（部落差別）について
- (11) 人権尊重の取り組み及び啓発活動への参加、認知について

《 男女共同参画に関する市民意識調査項目 》

- (1) 家庭生活などについて
- (2) 女性が働くことについて
- (3) 子育て、介護などについて
- (4) 男女の平等について
- (5) ドメスティック・バイオレンスについて
- (6) 男女共同参画社会について

3. 調査方法等

(1) 調査地域	津島市全域
(2) 調査対象	津島市内に居住する 18 歳以上の人
(3) 標本数	2,000 人
(4) 抽出方法	住民基本台帳をもとに無作為抽出
(5) 調査方法	郵送による配布、郵送による回収
(6) 調査期間	令和元年 7 月 1 日 (月) ~ 7 月 16 日 (火)

4. 回収結果

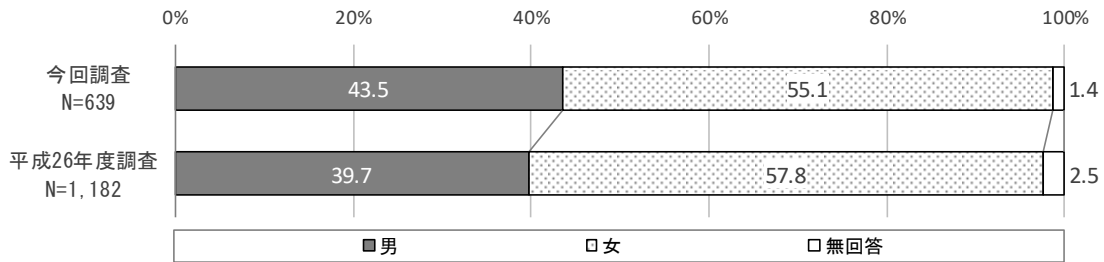
(1) 配布数	2,000 票
(2) 有効回収数	639 票
(3) 有効回収率	32.0%

5. 報告書の見方

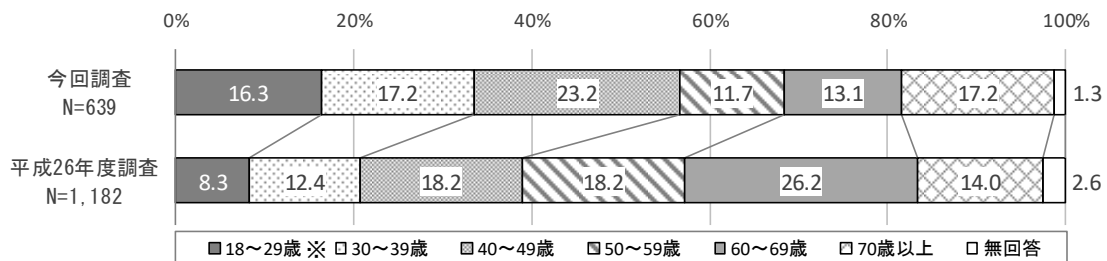
- (1) グラフに表示されているN値はサンプル数（有効回答数）を示します。比率はすべてパーセント（%）で表し、N 値を 100%として算出しています。
- (2) 比率は小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。そのため合計が 100%にならないこともあります。
- (3) 複数回答が可能な質問では、各項目の比率の合計は 100%を超える場合があります。
- (4) 性別、性・年齢別のサンプル数（有効回答数）は、無回答がある場合、合計が全体数より少なくなります。
- (5) 本報告書の文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。
- (6) 経年比較については「平成 21 年度津島市人権・男女共同参画に関する市民意識調査」「平成 26 年度津島市人権・男女共同参画に関する市民意識調査」の結果と比較しています。
- (7) 全国との比較については、平成 28 年 9 月に行われた「男女共同参画社会に関する世論調査（内閣府）」の結果と比較しています。

6. 回答者の属性

【 性別 】

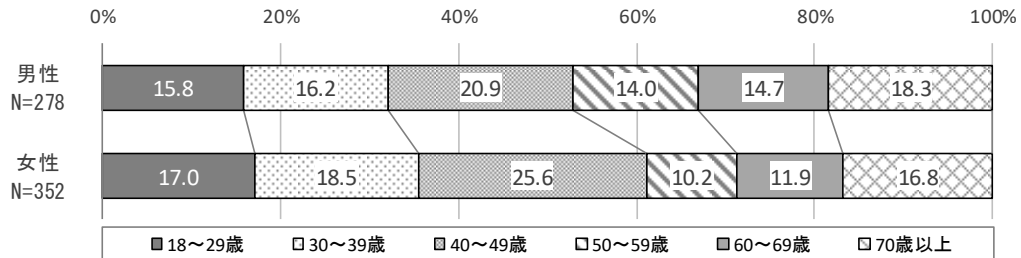


【 年齢 】

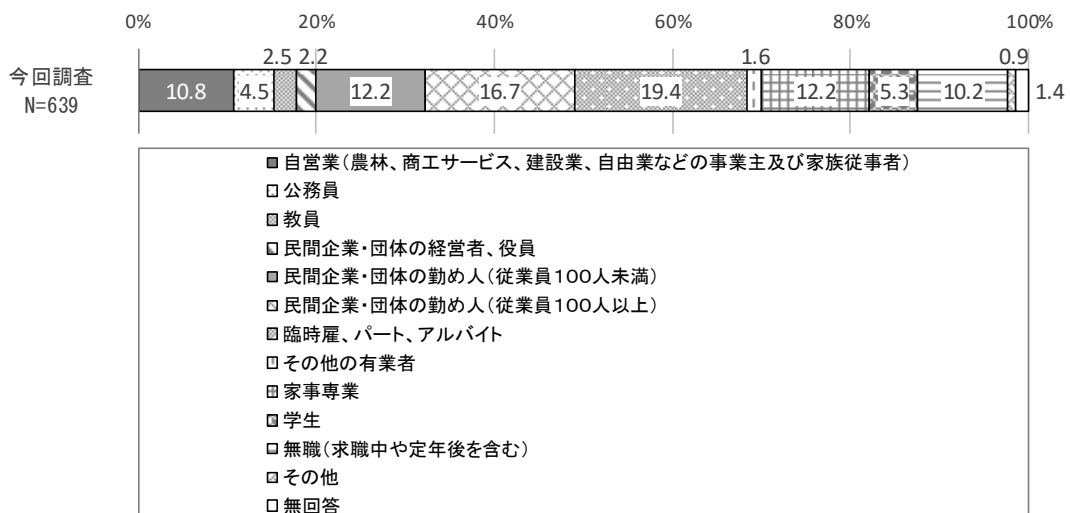


※平成26年度調査では20~29歳

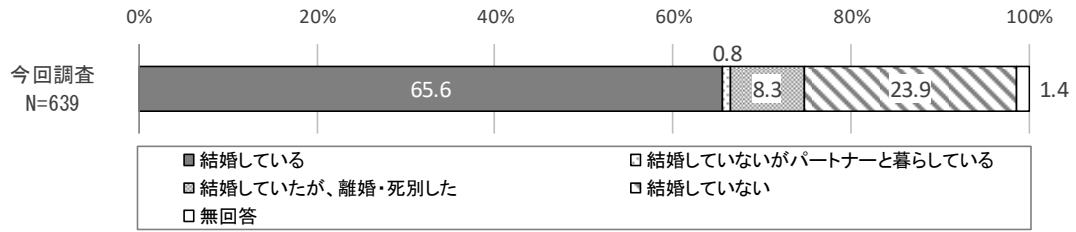
【 性・年齢別 】



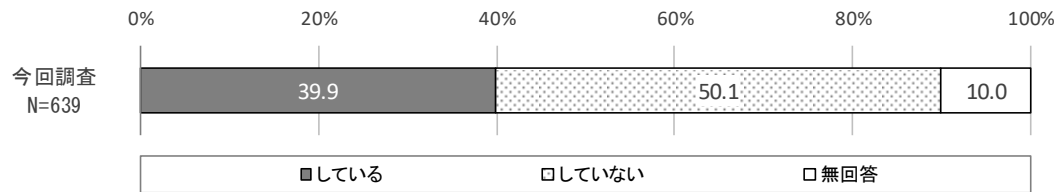
【 職業 】



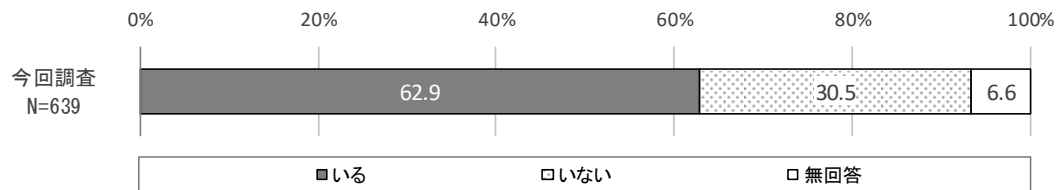
【 未婚・既婚の別 】



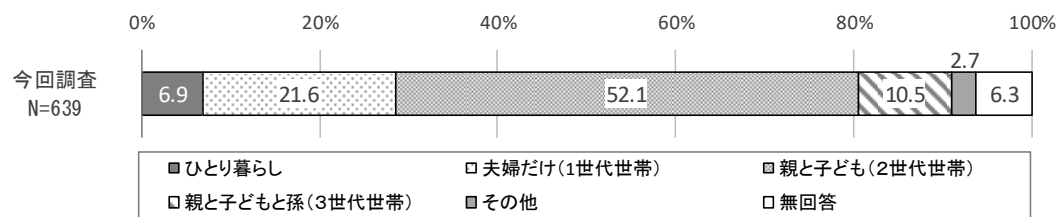
【 共働きの有無 】



【 子どもの有無 】



【 家族構成 】

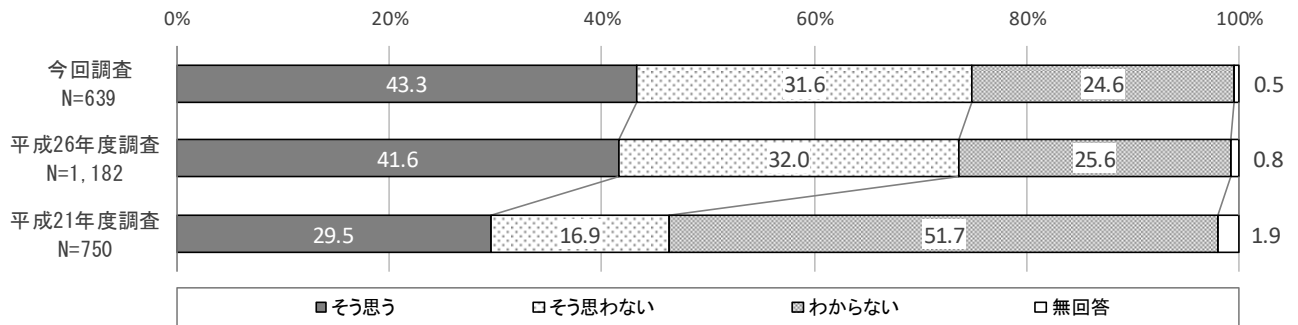


Ⅱ 調査結果

1. 人権に関する市民意識調査項目

(1) 人権意識について

問1 今の日本は基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。(〇は1つ)



【全体】

「そう思う」が43.3%、「そう思わない」が31.6%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「そう思う」が増加傾向にあります。

		(%)	「そう思う」 (%)	「そう思わない」 (%)	「わからない」 (%)	「無回答」 (%)
	(有効回答数)					
全体	639	43.3	31.6	24.6	0.5	
男性	278	48.9	31.7	19.1	0.4	
女性	352	39.2	31.5	28.7	0.6	
男性	18～29歳	44	43.2	29.5	27.3	0.0
	30～39歳	45	60.0	24.4	13.3	2.2
	40～49歳	58	41.4	36.2	22.4	0.0
	50～59歳	39	51.3	35.9	12.8	0.0
	60～69歳	41	53.7	26.8	19.5	0.0
	70歳以上	51	47.1	35.3	17.6	0.0
女性	18～29歳	60	31.7	35.0	31.7	1.7
	30～39歳	65	36.9	29.2	33.8	0.0
	40～49歳	90	38.9	28.9	32.2	0.0
	50～59歳	36	38.9	33.3	27.8	0.0
	60～69歳	42	42.9	31.0	26.2	0.0
	70歳以上	59	47.5	33.9	16.9	1.7

【性別】

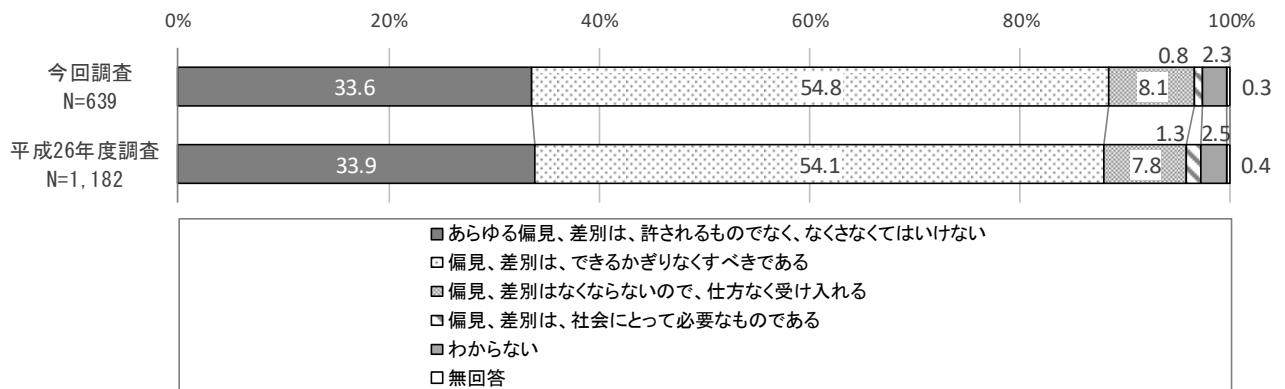
「そう思う」は、男性の方が女性より9.7ポイント高く、「そう思わない」は、0.2ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「そう思う」は、男性の「30～39歳」が60.0%と最も高く、次いで男性の「60～69歳」が53.7%、男性の「50～59歳」が51.3%となっています。

「そう思わない」は、男性の「40～49歳」が36.2%と最も高く、次いで男性の「50～59歳」が35.9%、男性の「70歳以上」が35.3%となっています。

問2 日本社会にある様々な偏見や差別について、あなたの考えにもっとも近いものは、どれですか。(〇は1つ)



【全体】

「偏見、差別は、できるかぎりなくすべきである」が54.8%と最も高く、次いで「あらゆる偏見、差別は、許されるものでなく、なくさなくてはいけない」が33.6%、「偏見、差別はなくならないので、仕方なく受け入れる」が8.1%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「偏見、差別は、できるかぎりなくすべきである」は0.7ポイント増加し、「あらゆる偏見、差別は、許されるものでなく、なくさなくてはいけない」は0.3ポイント減少しています。

		有効回答数(件)	あらゆる偏見、差別は、許されるものでなく、なくさなくてはいけない	偏見、差別は、できるかぎりなくすべきである	偏見、差別はなくならないので、仕方なく受け入れる	偏見、差別は、社会にとって必要なものである	わからない	無回答
全体		639	33.6	54.8	8.1	0.8	2.3	0.3
男性		278	32.7	53.2	9.4	1.4	2.9	0.4
女性		352	34.4	55.7	7.4	0.3	2.0	0.3
男性	18~29歳	44	36.4	45.5	9.1	2.3	6.8	0.0
	30~39歳	45	26.7	60.0	11.1	2.2	0.0	0.0
	40~49歳	58	29.3	48.3	13.8	1.7	5.2	1.7
	50~59歳	39	33.3	48.7	12.8	2.6	2.6	0.0
	60~69歳	41	24.4	70.7	4.9	0.0	0.0	0.0
	70歳以上	51	45.1	49.0	3.9	0.0	2.0	0.0
女性	18~29歳	60	41.7	46.7	10.0	0.0	1.7	0.0
	30~39歳	65	27.7	64.6	4.6	0.0	3.1	0.0
	40~49歳	90	37.8	50.0	8.9	1.1	1.1	1.1
	50~59歳	36	22.2	69.4	8.3	0.0	0.0	0.0
	60~69歳	42	26.2	66.7	4.8	0.0	2.4	0.0
	70歳以上	59	42.4	47.5	6.8	0.0	3.4	0.0

【性別】

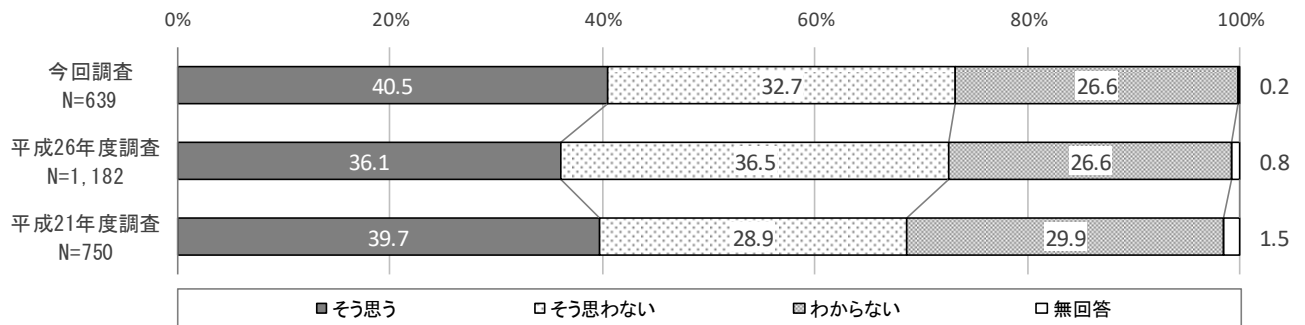
「偏見、差別は、できるかぎりなくすべきである」は、女性の方が男性より2.5ポイント高く、「偏見、差別はなくならないので、仕方なく受け入れる」は、男性の方が女性より2.0ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「偏見、差別は、できるかぎりなくすべきである」は、男性の「60~69歳」が70.7%と最も高く、次いで女性の「50~59歳」が69.4%、女性の「60~69歳」が66.7%となっています。

「あらゆる偏見、差別は、許されるものでなく、なくさなくてはいけない」は、男性の「70歳以上」が45.1%と最も高く、次いで女性の「70歳以上」が42.4%、女性の「18~29歳」が41.7%となっています。

問3 国民(市民)一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっていると思いますか。
(○は1つ)



【全体】

「そう思う」が40.5%、「そう思わない」が32.7%となっています。

【経年比較】

今回調査と10年前に実施した平成21年度調査を比較すると、「そう思わない」は3.8ポイント、「そう思う」は0.8ポイントそれぞれ増加しています。

		(有効回答数)	そう思う (%)	そう思わない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		639	40.5	32.7	26.6	0.2
男性		278	42.4	39.6	18.0	0.0
女性		352	39.8	27.0	33.0	0.3
男性	18~29歳	44	40.9	34.1	25.0	0.0
	30~39歳	45	44.4	33.3	22.2	0.0
	40~49歳	58	39.7	44.8	15.5	0.0
	50~59歳	39	43.6	41.0	15.4	0.0
	60~69歳	41	46.3	34.1	19.5	0.0
	70歳以上	51	41.2	47.1	11.8	0.0
女性	18~29歳	60	26.7	16.7	56.7	0.0
	30~39歳	65	40.0	24.6	33.8	1.5
	40~49歳	90	42.2	31.1	26.7	0.0
	50~59歳	36	41.7	27.8	30.6	0.0
	60~69歳	42	42.9	33.3	23.8	0.0
	70歳以上	59	45.8	28.8	25.4	0.0

【性別】

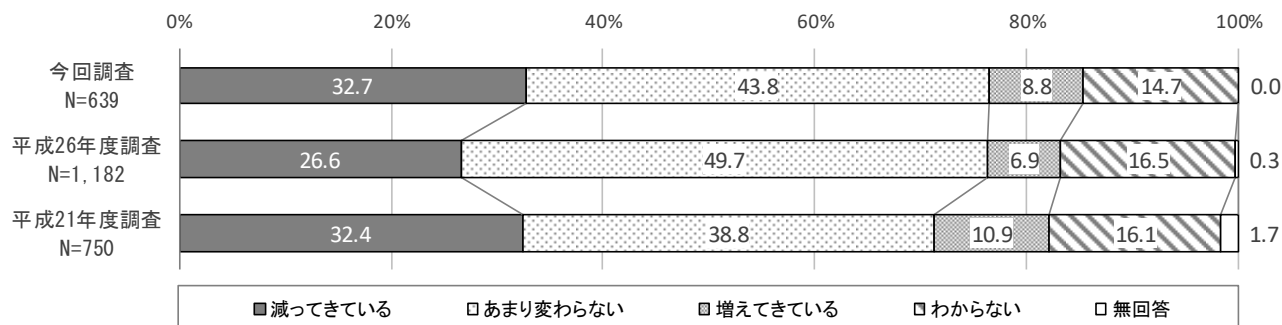
「そう思わない」は、男性の方が女性より12.6ポイント高く、「そう思う」は、2.6ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「そう思う」は、男性の「60~69歳」が46.3%と最も高く、次いで女性の「70歳以上」が45.8%、男性の「30~39歳」が44.4%となっています。

「そう思わない」は、男性の「70歳以上」が47.1%と最も高く、次いで男性の「40~49歳」が44.8%、男性の「50~59歳」が41.0%となっています。

問4 日本社会における人権侵害や差別は、10年前に比べて減ってきていると思いますか。
(○は1つ)



【全体】

「あまり変わらない」が43.8%、「減ってきている」が32.7%となっています。

【経年比較】

今回調査と10年前に実施した平成21年度調査を比較すると、「あまり変わらない」は5.0ポイント増加し、「増えてきている」は2.1ポイント減少しています。

		有効回答数(件)	減ってきている (%)	あまり変わらない (%)	増えてきている (%)	わからない (%)
全体		639	32.7	43.8	8.8	14.7
男性		278	35.6	40.6	11.2	12.6
女性		352	31.0	46.0	6.8	16.2
男性	18～29歳	44	36.4	34.1	11.4	18.2
	30～39歳	45	40.0	46.7	6.7	6.7
	40～49歳	58	34.5	31.0	15.5	19.0
	50～59歳	39	30.8	51.3	10.3	7.7
	60～69歳	41	34.1	43.9	7.3	14.6
	70歳以上	51	37.3	41.2	13.7	7.8
女性	18～29歳	60	23.3	38.3	10.0	28.3
	30～39歳	65	32.3	44.6	4.6	18.5
	40～49歳	90	31.1	45.6	5.6	17.8
	50～59歳	36	41.7	50.0	5.6	2.8
	60～69歳	42	21.4	61.9	9.5	7.1
	70歳以上	59	37.3	42.4	6.8	13.6

【性別】

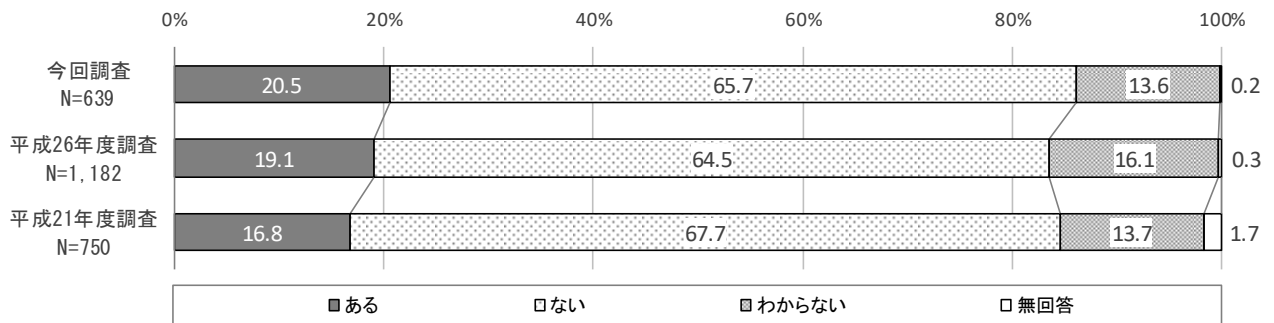
「あまり変わらない」は、女性の方が男性より5.4ポイント高く、「減ってきている」は、男性の方が女性より4.6ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「あまり変わらない」は、女性の「60～69歳」が61.9%と最も高く、次いで男性の「50～59歳」が51.3%、女性の「50～59歳」が50.0%となっています。

「減ってきている」は、女性の「50～59歳」が41.7%と最も高く、次いで男性の「30～39歳」が40.0%、男性の「70歳以上」・女性の「70歳以上」が同率37.3%となっています。

問5 この10年ほどの間に、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。
(○は1つ)



【全体】

「ない」が65.7%、「ある」が20.5%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「ある」が増加傾向にあります。

		(有効回答数)	ある (%)	ない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		639	20.5	65.7	13.6	0.2
男性		278	22.3	64.4	13.3	0.0
女性		352	18.8	67.0	13.9	0.3
男性	18~29歳	44	25.0	54.5	20.5	0.0
	30~39歳	45	33.3	60.0	6.7	0.0
	40~49歳	58	25.9	62.1	12.1	0.0
	50~59歳	39	20.5	66.7	12.8	0.0
	60~69歳	41	12.2	73.2	14.6	0.0
	70歳以上	51	15.7	70.6	13.7	0.0
女性	18~29歳	60	21.7	58.3	20.0	0.0
	30~39歳	65	21.5	61.5	16.9	0.0
	40~49歳	90	22.2	64.4	12.2	1.1
	50~59歳	36	22.2	66.7	11.1	0.0
	60~69歳	42	4.8	88.1	7.1	0.0
	70歳以上	59	15.3	71.2	13.6	0.0

【性別】

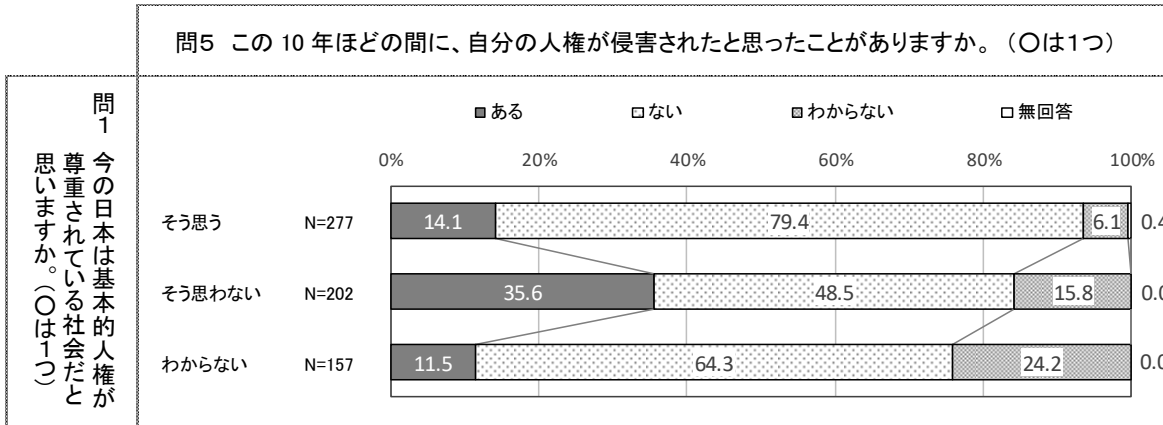
「ある」は、男性の方が女性よりも3.5ポイント高く、「ない」は、女性の方が男性より2.6ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「ない」は、女性の「60~69歳」が88.1%と最も高く、次いで男性の「60~69歳」が73.2%、女性の「70歳以上」が71.2%となっています。

「ある」は、男性の「30~39歳」が33.3%と最も高く、次いで男性の「40~49歳」が25.9%、男性の「18~29歳」が25.0%となっています。

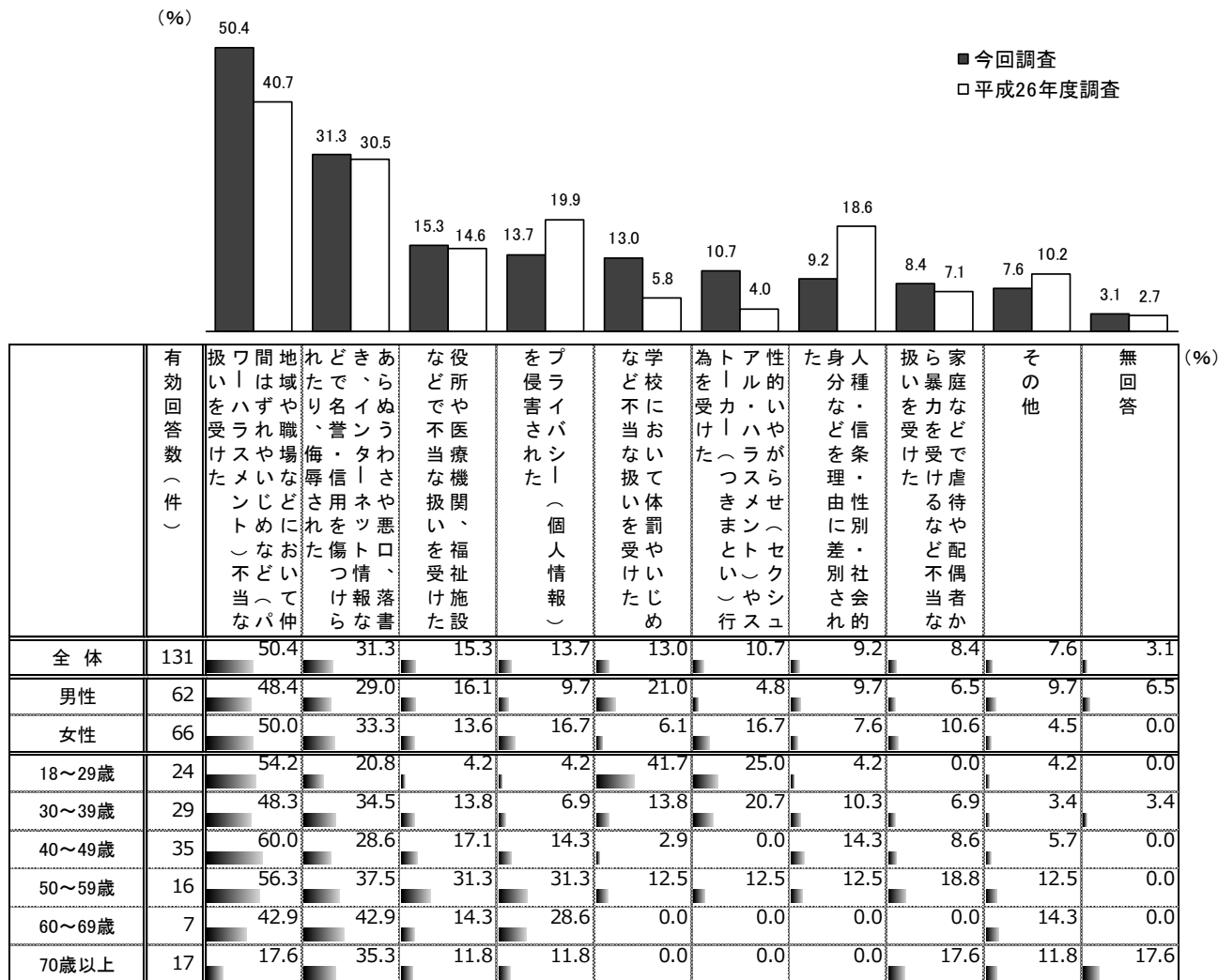
【問 1 と問 5 との関連（クロス集計）】



今の日本は基本的人権が尊重されている社会だと思うかについて「そう思う」と回答した人は、この10年ほどの間に自分の人権が侵害されたと思ったことがあるかについて「ない」と回答した割合が79.4%となっています。

《問5で「1. ある」と答えた方にお聞きします。》

問5-1 自分の人権を侵害されたと思ったのは、どんな場合であったかお聞かせください。
(〇はいくつでも)



【全体】

「地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた」が50.4%と最も高く、次いで「あらぬうわさや悪口、落書き、インターネット情報などで名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が31.3%、「役所や医療機関、福祉施設などで不当な扱いを受けた」が15.3%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた」が9.7ポイント増加しています。

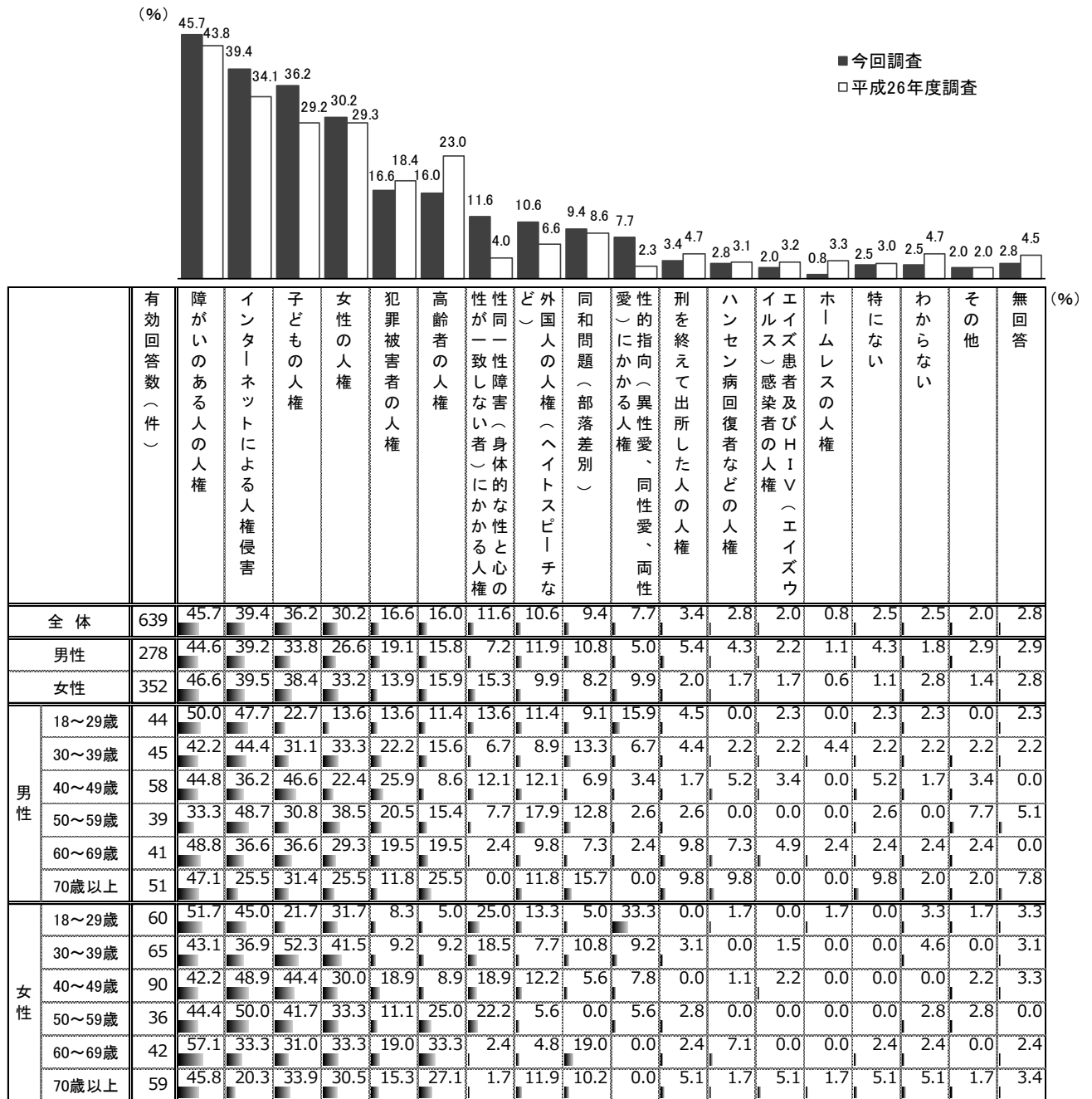
【性別】

「学校において体罰やいじめなど不当な扱いを受けた」は、男性の方が女性より14.9ポイント高くなっています。

【年齢別】

「地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた」は、「40～49歳」が60.0%と最も高く、次いで「50～59歳」が56.3%、「18～29歳」が54.2%となっています。

問6 人権にかかわる問題として、重要な問題は、どれだと思いますか。(〇は3つ以内)



【全体】「障がいのある人の人権」が45.7%と最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害」が39.4%、「子どもの人権」が36.2%となっています。

【経年比較】平成26年度調査と比較すると、「性同一性障害にかかる人権」が7.6ポイント増加しています。

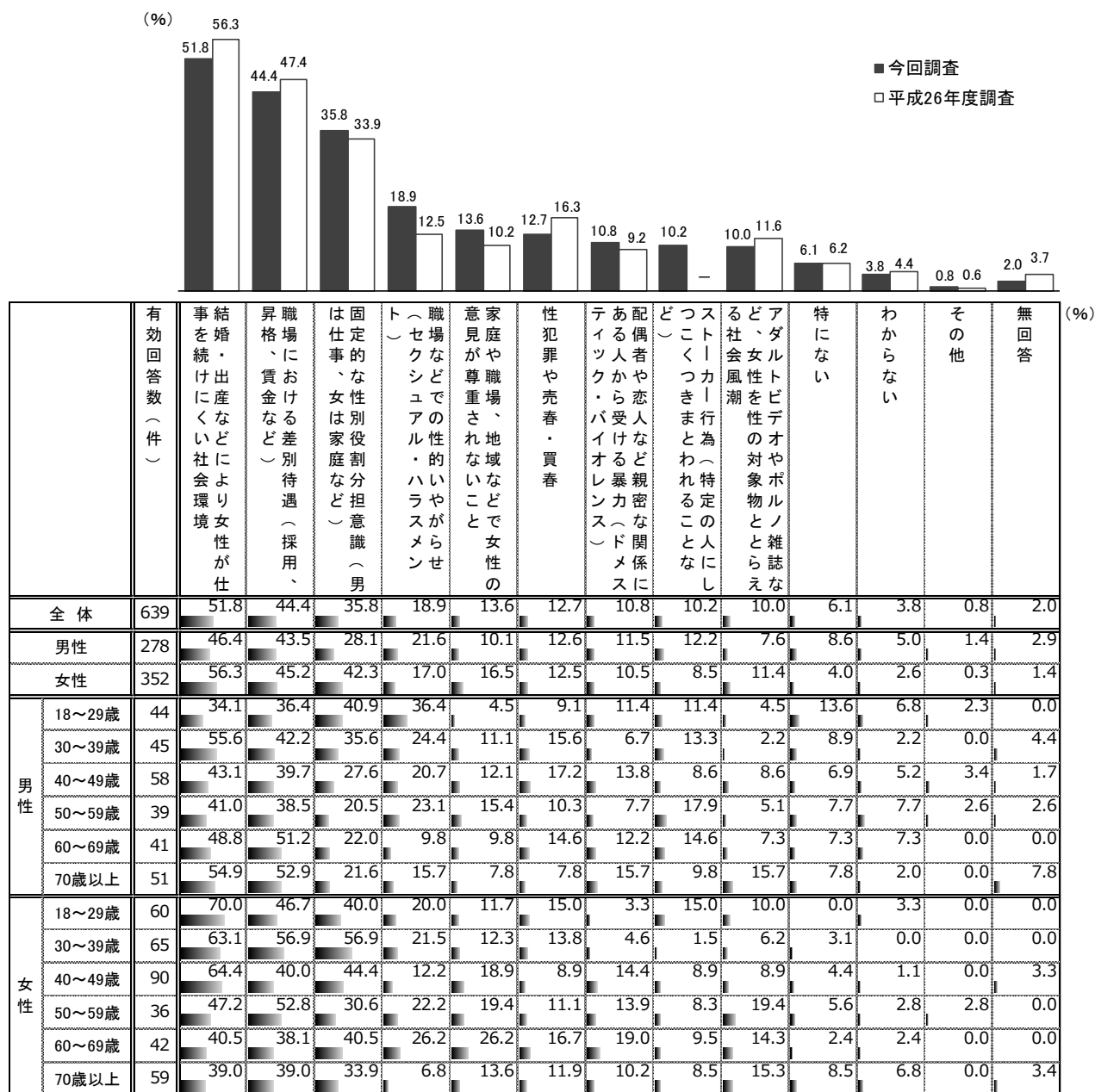
【性別】「性同一性障害にかかる人権」は、女性の方が男性より8.1ポイント高くなっています。

【性・年齢別】「障がいのある人の人権」は、女性の「60~69歳」が57.1%と最も高く、次いで女性の「18~29歳」が51.7%、男性の「18~29歳」が50.0%となっています。

「性的指向にかかる人権」は、「18~29歳」の女性が33.3%、男性が15.9%と他の年代より高くなっています。

(2) 女性の人権について

問7 女性の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
(○は3つ以内)



※平成26年度調査で選択肢がない項目はデータなしのためーと表記

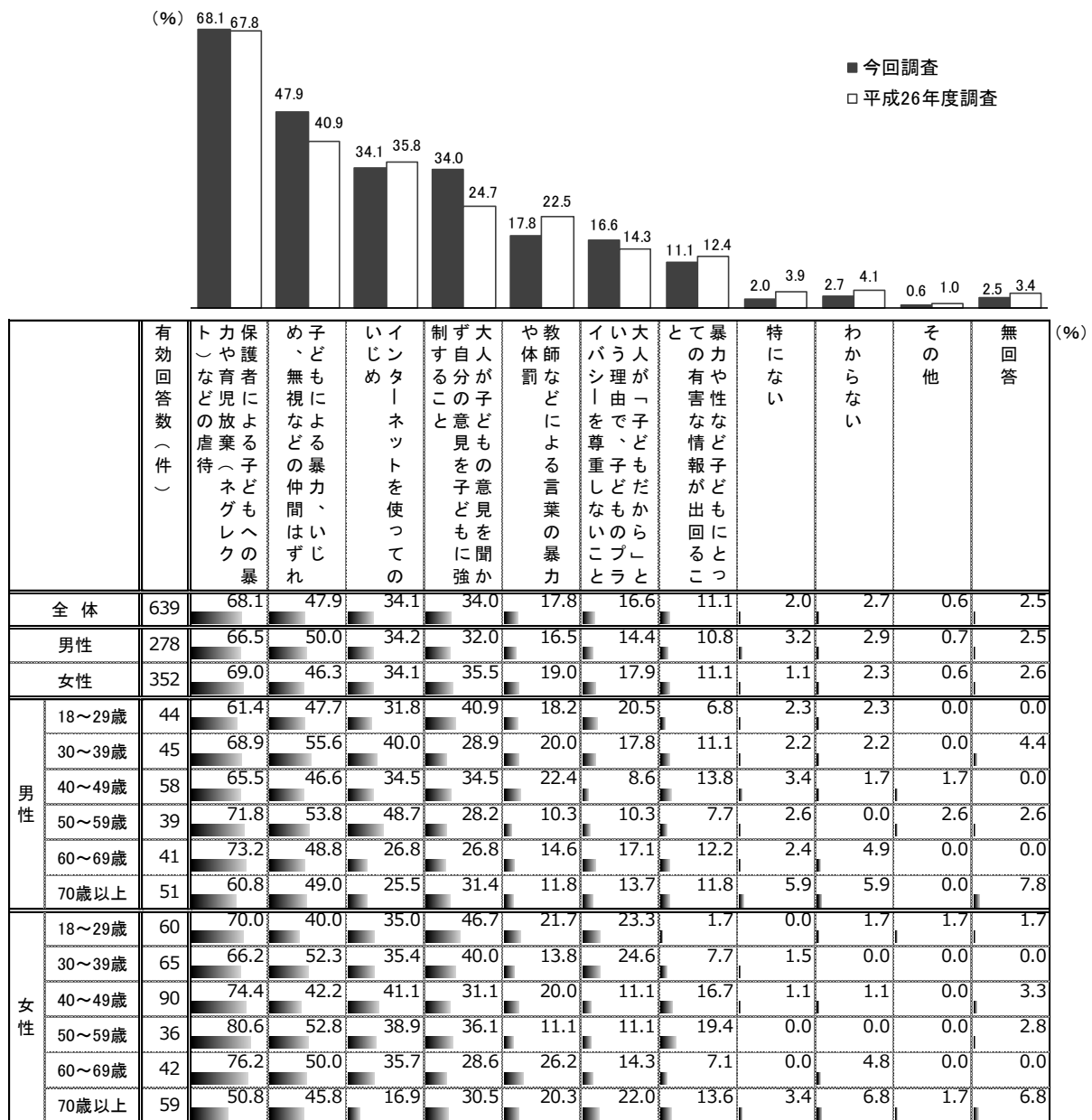
【全体】「結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境」が51.8%と最も高く、次いで「職場における差別待遇」が44.4%、「固定的な性別役割分担意識」が35.8%となっています。
【経年比較】平成26年度調査と比較すると、「職場などでの性的いやがらせ」が6.4ポイント増加しています。

【性別】「固定的な性別役割分担意識」は、女性の方が男性より14.2ポイント高くなっています。

【性・年齢別】「結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境」は、女性の「18~29歳」が70.0%と最も高く、次いで女性の「40~49歳」が64.4%、女性の「30~39歳」が63.1%となっています。

(3) 子どもの人権について

問8 子どもの人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
(○は3つ以内)



【全体】「保護者による子どもへの暴力や育児放棄などの虐待」が68.1%と最も高く、次いで「子どもによる暴力、いじめ、無視などの仲間はずれ」が47.9%、「インターネットを使ってのいじめ」が34.1%となっています。

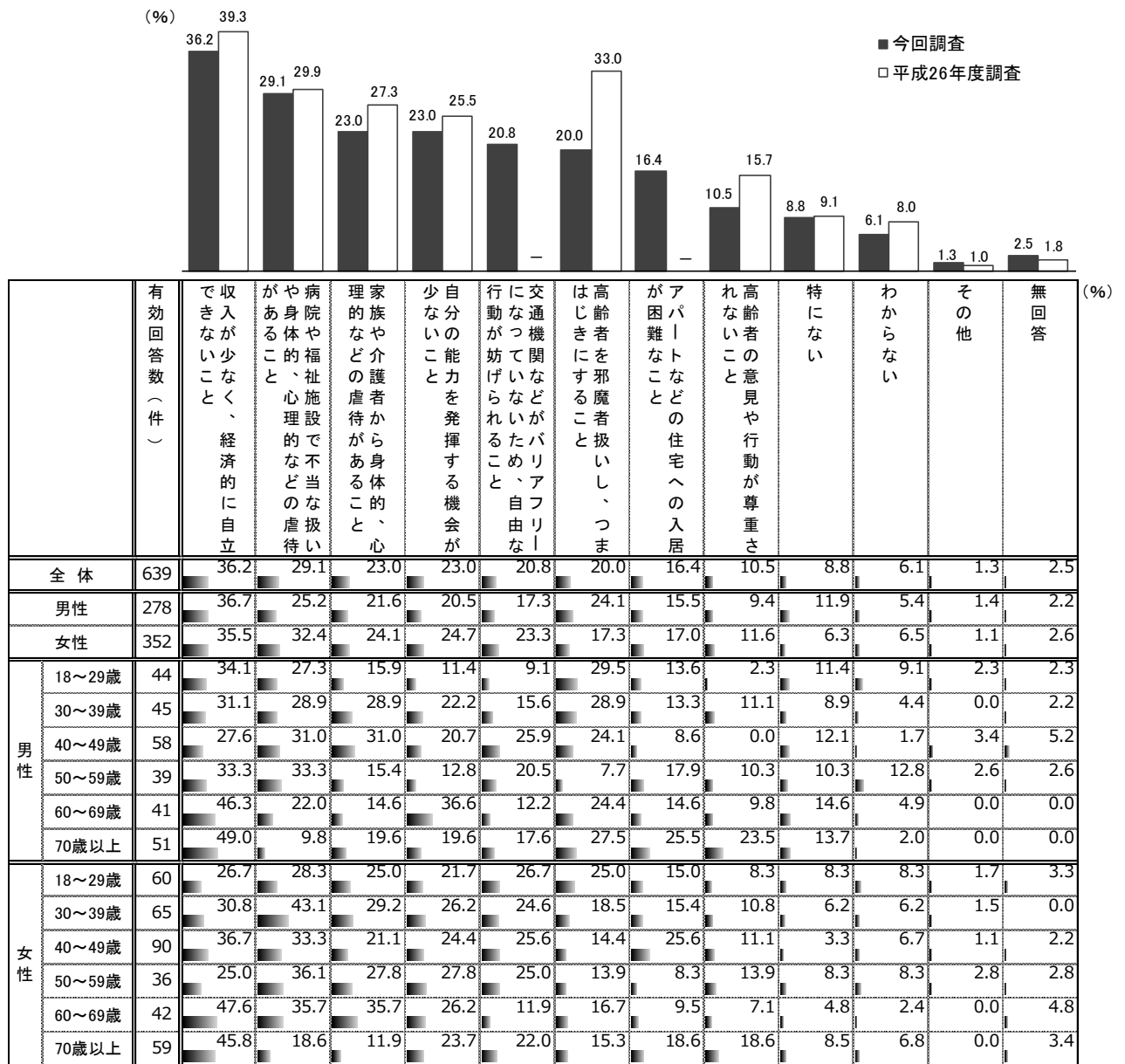
【経年比較】平成26年度調査と比較すると、「大人が子どもの意見を聞かず自分の意見を子どもに強制すること」が9.3ポイント増加しています。

【性別】「子どもによる暴力、いじめ、無視などの仲間はずれ」は、男性の方が女性より3.7ポイント高くなっています。

【性・年齢別】「保護者による子どもへの暴力や育児放棄などの虐待」は、女性の「50~59歳」が80.6%と最も高く、次いで「60~69歳」が76.2%、「40~49歳」が74.4%となっています。

(4) 高齢者の人権について

問9 高齢者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
(○は3つ以内)



※ 平成26年度調査で選択肢がない項目はデータなしのためーと表記

【全体】「収入が少なく、経済的に自立できないこと」が36.2%と最も高く、次いで「病院や福祉施設で不当な扱いや身体的、心理的などの虐待があること」が29.1%、「家族や介護者から身体的、心理的などの虐待があること」・「自分の能力を発揮する機会が少ないこと」が同率23.0%となっています。

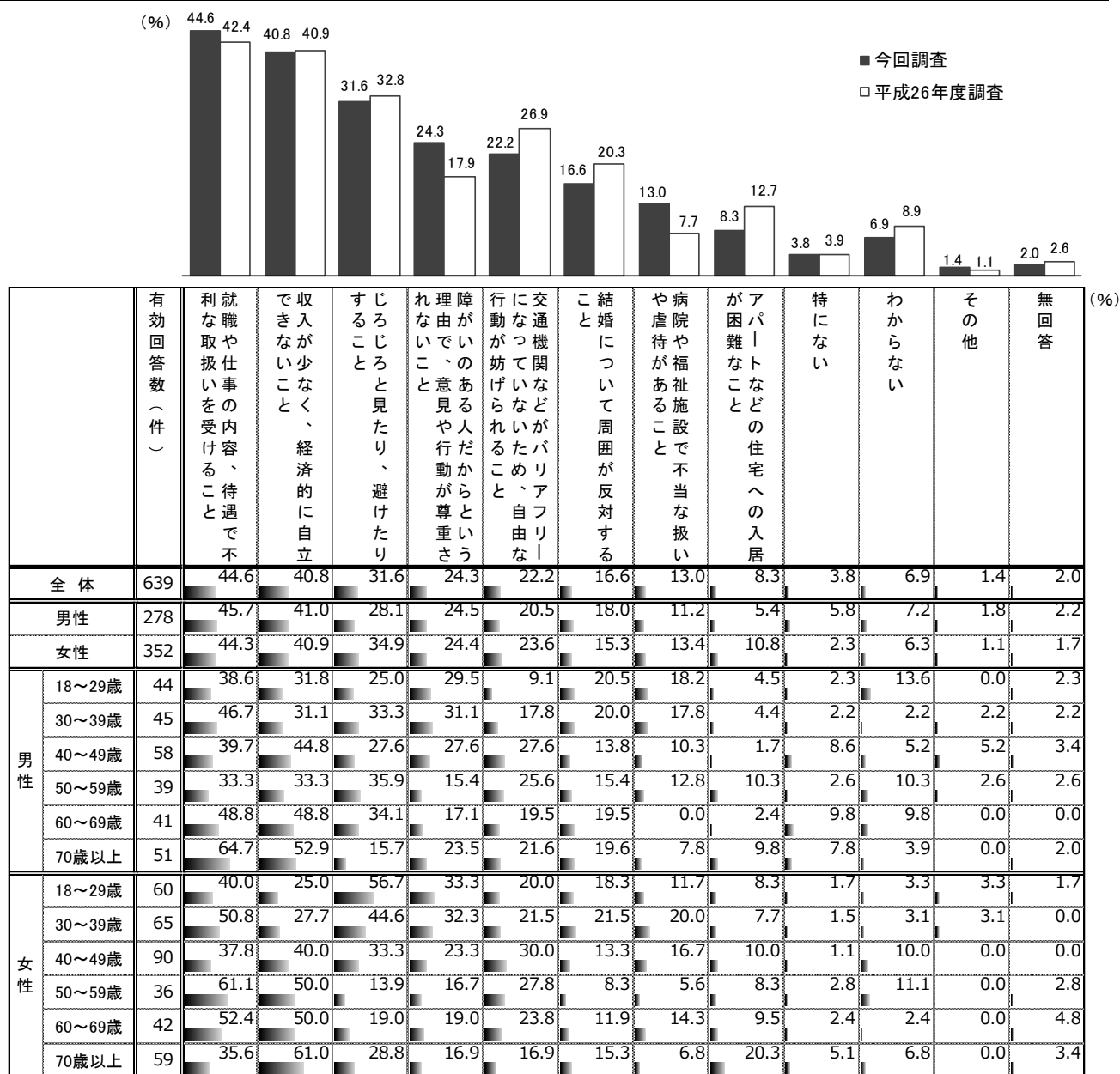
【経年比較】平成26年度調査と比較すると、「高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること」が13.0ポイント減少しています。

【性別】「病院や福祉施設で不当な扱いや身体的、心理的などの虐待があること」は、女性の方が男性より7.2ポイント高くなっています。

【性・年齢別】「収入が少なく、経済的に自立できないこと」は、男性の「70歳以上」が49.0%と最も高く、次いで女性の「60~69歳」が47.6%、男性の「60~69歳」が46.3%となっています。

(5) 障がいのある人の人権について

問10 障がいのある人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
(○は3つ以内)



【全体】「就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けないこと」が44.6%と最も高く、次いで「収入が少なく、経済的に自立できないこと」が40.8%、「じろじろと見たり、避けたりすること」が31.6%となっています。

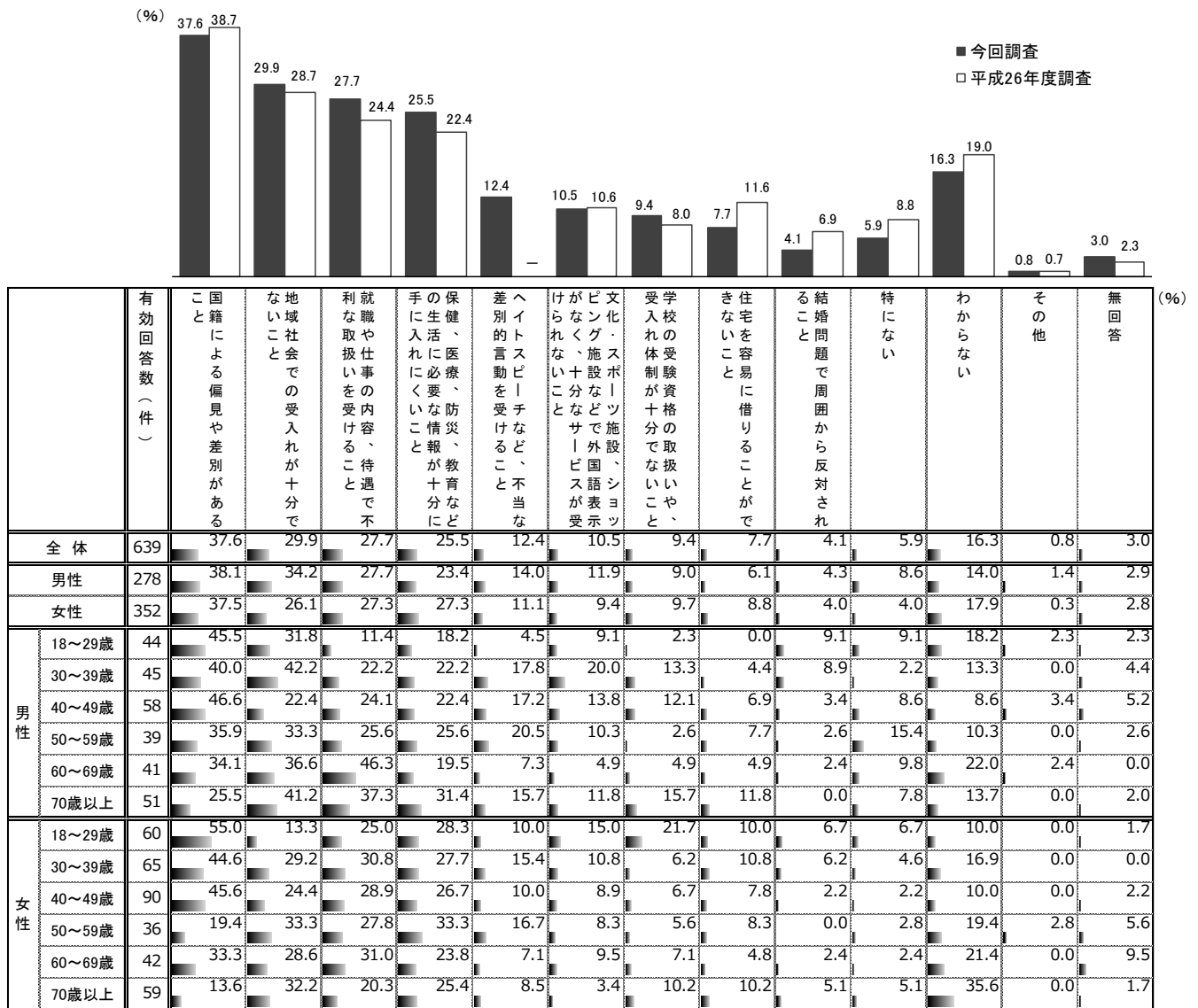
【経年比較】平成26年度調査と比較すると、「障がいのある人だからという理由で、意見や行動が尊重されないこと」が6.4ポイント増加しています。

【性別】「じろじろと見たり、避けたりすること」は、女性の方が男性より6.8ポイント高くなっています。

【性・年齢別】「就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けないこと」は、男性の「70歳以上」が64.7%と最も高く、次いで女性の「50~59歳」が61.1%、女性の「60~69歳」が52.4%となっています。

(6) 外国人の人権について

問 11 外国人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
(○は3つ以内)



※平成26年度調査で選択肢がない項目はデータなしのためーと表記

【全体】

「国籍による偏見や差別があること」が37.6%と最も高く、次いで「地域社会での受入れが十分でないこと」が29.9%、「就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること」が27.7%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「住宅を容易に借りることができないこと」が3.9ポイント減少しています。

【性別】

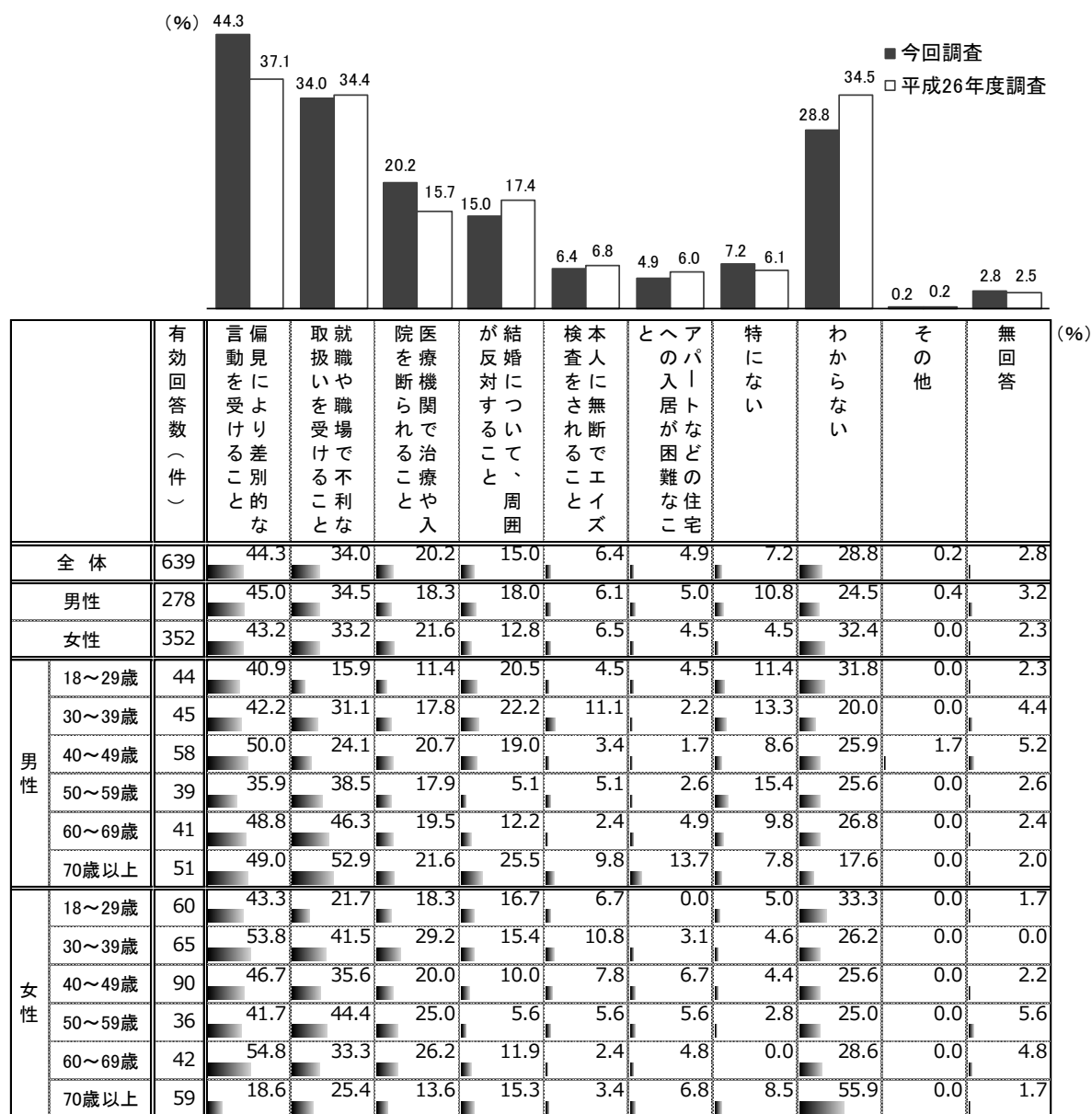
「地域社会での受入れが十分でないこと」は男性の方が女性より8.1ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「国籍による偏見や差別があること」は、女性の「18~29歳」が55.0%と最も高く、次いで男性の「40~49歳」が46.6%、女性の「40~49歳」が45.6%となっています。

(7) エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者、ハンセン病回復者などの人権について

問 12 エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。（〇は3つ以内）



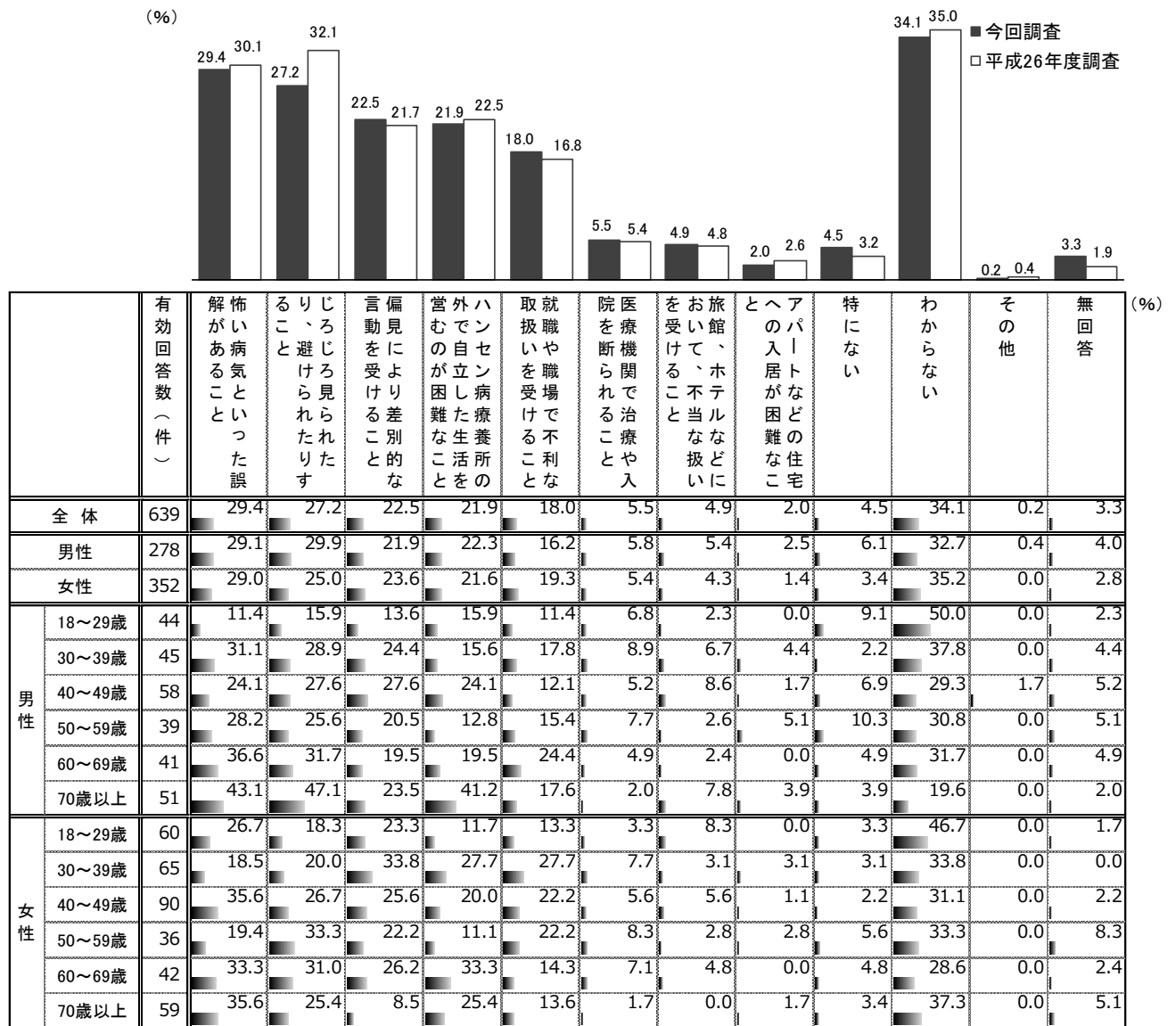
【全体】「偏見により差別的な言動を受けること」が44.3%、「就職や職場で不利な取扱いを受けること」が34.0%、「医療機関で治療や入院を断られること」が20.2%となっています。

【経年比較】平成26年度調査と比較すると、「偏見により差別的な言動を受けること」が7.2ポイント増加しています。

【性別】「結婚について、周囲が反対すること」は、男性の方が女性より5.2ポイント高くなっています。

【性・年齢別】「偏見により差別的な言動を受けること」は、女性の「60～69歳」が54.8%と最も高く、次いで女性の「30～39歳」が53.8%、男性の「40～49歳」が50.0%となっています。

問 13 ハンセン病回復者などの人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。(〇は3つ以内)



【全体】

「怖い病気といった誤解があること」が29.4%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が27.2%、「偏見により差別的な言動を受けること」が22.5%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」が4.9ポイント減少しています。

【性別】

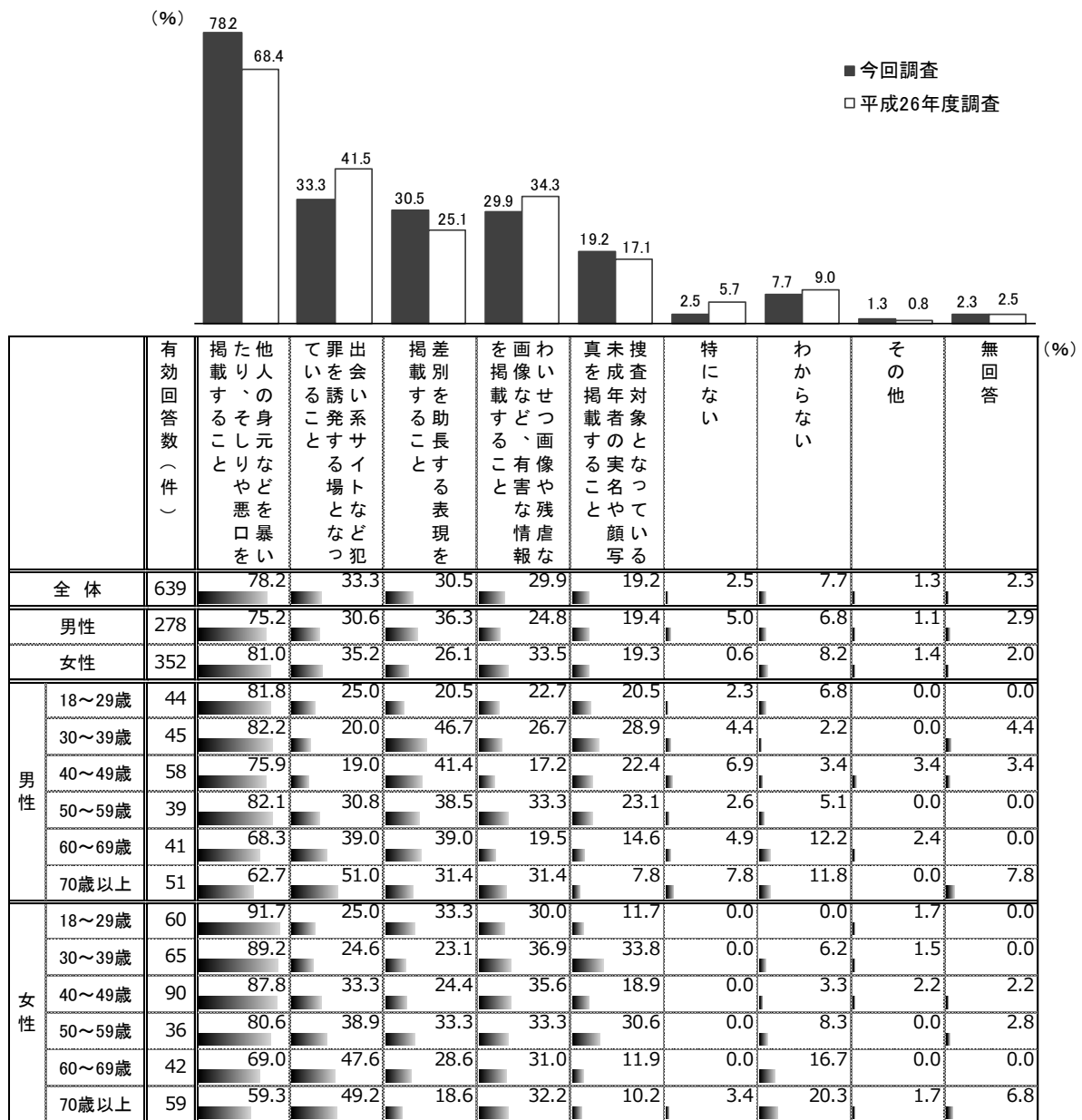
「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は、男性の方が女性より4.9ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「怖い病気といった誤解があること」は、男性の「70歳以上」が43.1%と最も高く、次いで男性の「60~69歳」が36.6%、女性の「40~49歳」・「70歳以上」が同率35.6%となっています。

(8) インターネットによる人権侵害について

問 14 インターネット上で、人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。(〇は3つ以内)



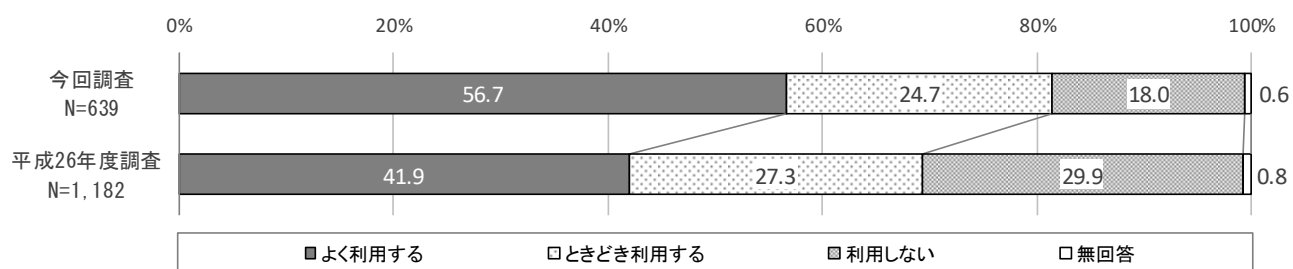
【全体】「他人の身元などを暴いたり、そしりや悪口を掲載すること」が78.2%と最も高く、次いで「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が33.3%、「差別を助長する表現を掲載すること」が30.5%となっています。

【経年比較】平成26年度調査と比較すると、「他人の身元などを暴いたり、そしりや悪口を掲載すること」が9.8ポイント増加しています。

【性別】「差別を助長する表現を掲載すること」は、男性の方が女性より10.2ポイント高くなっています。

【性・年齢別】「他人の身元などを暴いたり、そしりや悪口を掲載すること」は、女性の「18~29歳」が91.7%と最も高く、次いで女性の「30~39歳」が89.2%、女性の「40~49歳」が87.8%となっています。

問 15 あなたは、インターネットをどのくらい利用しますか。(〇は1つ)



【全体】

「よく利用する」が56.7%と最も多く、次いで「ときどき利用する」が24.7%、「利用しない」が18.0%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「よく利用する」と「ときどき利用する」をあわせた「利用する」が12.2ポイント増加し、「利用しない」は11.9ポイント減少しています。

		有効回答数 (件)	よく利用する (%)	ときどき利用する (%)	利用しない (%)	無回答 (%)
全体		639	56.7	24.7	18.0	0.6
男性		278	60.8	25.9	12.9	0.4
女性		352	54.0	23.9	21.3	0.9
男性	18～29歳	44	86.4	13.6	0.0	0.0
	30～39歳	45	86.7	13.3	0.0	0.0
	40～49歳	58	67.2	27.6	3.4	1.7
	50～59歳	39	59.0	38.5	2.6	0.0
	60～69歳	41	41.5	31.7	26.8	0.0
	70歳以上	51	25.5	31.4	43.1	0.0
女性	18～29歳	60	91.7	8.3	0.0	0.0
	30～39歳	65	84.6	13.8	1.5	0.0
	40～49歳	90	62.2	30.0	6.7	1.1
	50～59歳	36	41.7	50.0	5.6	2.8
	60～69歳	42	14.3	33.3	52.4	0.0
	70歳以上	59	5.1	18.6	74.6	1.7

【性別】

「利用しない」は、女性の方が男性より8.4ポイント高く、「よく利用する」は、男性の方が女性より6.8ポイント高くなっています。

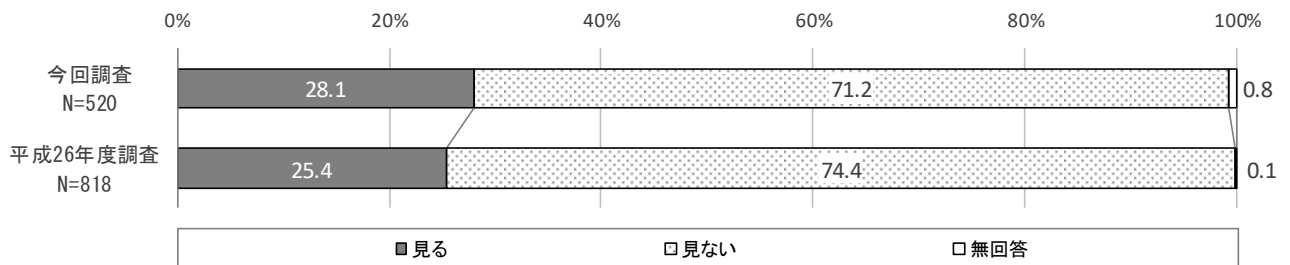
【性・年齢別】

「よく利用する」は、女性の「18～29歳」が91.7%と最も高く、次いで男性の「30～39歳」が86.7%、男性の「18～29歳」が86.4%となっています。

「ときどき利用する」は、女性の「50～59歳」が50.0%と最も高く、次いで男性の「50～59歳」が38.5%、女性の「60～69歳」が33.3%となっています。

《問 15 で「1. よく利用する」「2. ときどき利用する」と答えた方にお聞きします》

問 15-1 インターネット上で、他人をそしったり、悪口を言ったりするなど、人権侵害と思われるような書き込みやホームページを発見した場合について、お聞きします。
あなたは、そのような内容のページを見ますか。(〇は1つ)



【全体】

「見ない」が71.2%、「見る」が28.1%となっています。

【経年比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「見ない」は 3.2 ポイント減少し、「見る」は 2.7 ポイント増加しています。

	有効回答数	(%)		
		見る	見ない	無回答
全 体	520	28.1	71.2	0.8
男性	241	32.8	66.8	0.4
女性	274	23.7	75.5	0.7
18～29歳	104	41.3	58.7	0.0
30～39歳	109	38.5	60.6	0.9
40～49歳	138	24.6	75.4	0.0
50～59歳	71	14.1	84.5	1.4
60～69歳	50	20.0	80.0	0.0
70歳以上	43	11.6	86.0	2.3

【性別】

「見る」は、男性の方が女性より 9.1 ポイント高く、「見ない」は、女性の方が男性より 8.7 ポイント高くなっています。

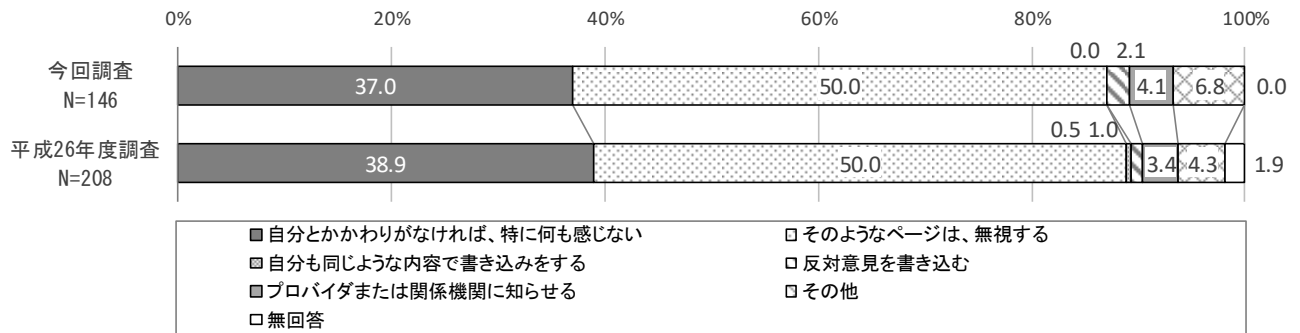
【年齢別】

「見ない」は、「70 歳以上」が 86.0%と最も高く、次いで「50～59 歳」が 84.5%、「60～69 歳」が 80.0%となっています。

「見る」は、「18～29 歳」が 41.3%と最も高く、次いで「30～39 歳」が 38.5%、「40～49 歳」が 24.6%となっています。

《問 15-1 で「1. 見る」と答えた方にお聞きします。》

問 15-2 そのようなページを見たとき、あなたはどのようにしますか。(〇は1つ)



【全体】

「そのようなページは、無視する」が 50.0%と最も高く、次いで「自分とかかわりがなければ、特に何も感じない」が 37.0%、「プロバイダまたは関係機関に知らせる」が 4.1%となっています。

【経年比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「自分とかかわりがなければ、特に何も感じない」は 1.9 ポイント減少し、「反対意見を書き込む」は 1.1 ポイント増加しています。

	有効回答数 (件)	自分とかかわりがなければ、特に何も感じない (%)	自分も同じような内容で書き込みをする (%)	プロバイダまたは関係機関に知らせる (%)	無回答 (%)	そのようなページは、無視する (%)	反対意見を書き込む (%)	その他 (%)
全体	146	37.0	50.0	4.1	0.0	2.1	6.8	0.0
男性	79	40.5	44.3	2.5	0.0	3.8	8.9	0.0
女性	65	32.3	56.9	6.2	0.0	0.0	4.6	0.0
18~29歳	43	34.9	55.8	2.3	0.0	0.0	7.0	0.0
30~39歳	42	38.1	50.0	4.8	0.0	0.0	7.1	0.0
40~49歳	34	32.4	47.1	5.9	0.0	8.8	5.9	0.0
50~59歳	10	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60~69歳	10	30.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	5	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【性別】

「そのようなページは、無視する」は、女性の方が男性より 12.6 ポイント高く、「自分とかかわりがなければ、特に何も感じない」は、男性の方が女性より 8.2 ポイント高くなっています。

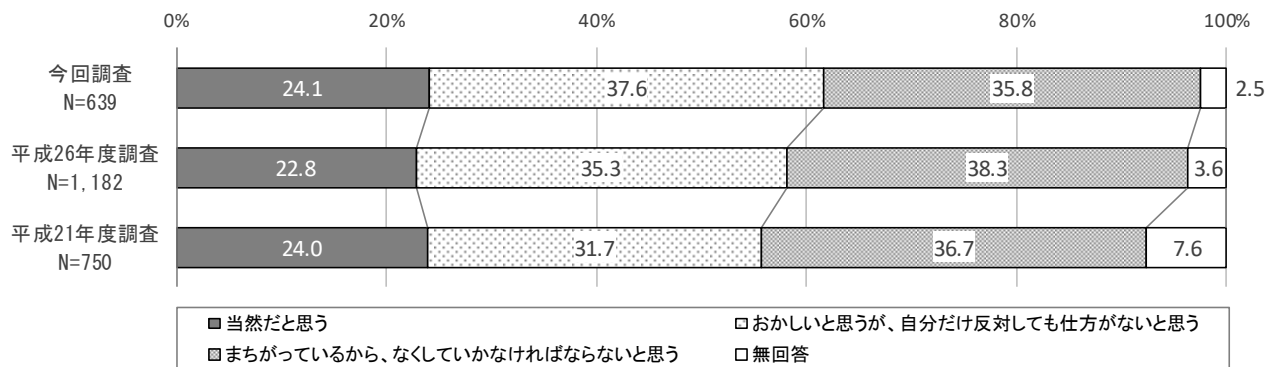
【年齢別】

「そのようなページは、無視する」は、「60~69歳」が 66.7%と最も高く、次いで「18~29歳」が 55.8%、「30~39歳」が 50.0%となっています。

「自分とかかわりがなければ、特に何も感じない」は、「50~59歳」が 60.0%と最も高く、次いで「70歳以上」が 40.0%、「30~39歳」が 38.1%となっています。

(9) 家柄・血筋について

問 16 結婚相手を決めるとき、家柄とか血筋を問題にする風習について、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)



【全体】

「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う」が37.6%と最も高く、次いで「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が35.8%、「当然だと思う」が24.1%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う」は増加傾向にあります。

		有効回答数 (件)	当然だと思う	おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う	まちがっているから、なくしていかなければならないと思う	無回答
全体		639	24.1	37.6	35.8	2.5
男性		278	20.9	36.7	39.6	2.9
女性		352	26.7	38.9	32.1	2.3
男性	18～29歳	44	22.7	29.5	40.9	6.8
	30～39歳	45	20.0	46.7	33.3	0.0
	40～49歳	58	29.3	22.4	43.1	5.2
	50～59歳	39	20.5	41.0	35.9	2.6
	60～69歳	41	17.1	43.9	39.0	0.0
	70歳以上	51	13.7	41.2	43.1	2.0
女性	18～29歳	60	33.3	43.3	23.3	0.0
	30～39歳	65	27.7	38.5	33.8	0.0
	40～49歳	90	26.7	36.7	33.3	3.3
	50～59歳	36	30.6	41.7	25.0	2.8
	60～69歳	42	28.6	40.5	26.2	4.8
	70歳以上	59	15.3	35.6	45.8	3.4

【性別】

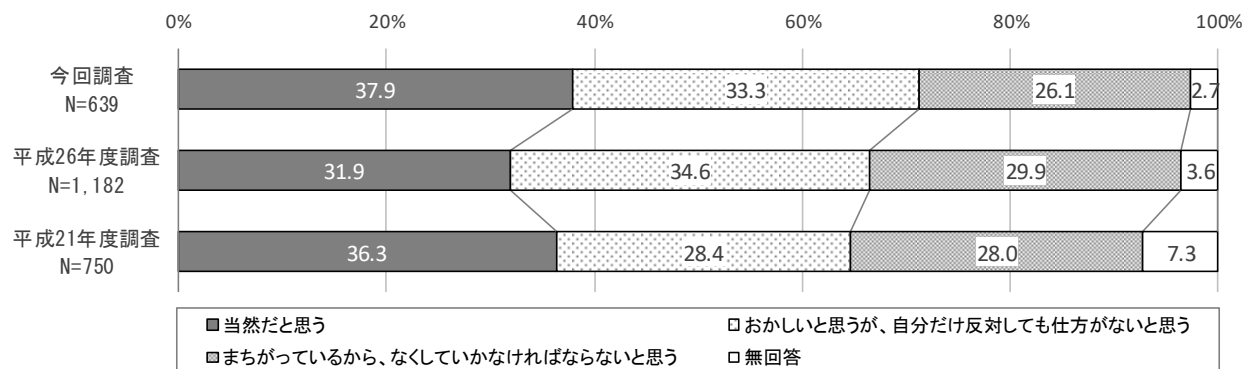
「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」は、男性の方が女性より7.5ポイント高く、「当然だと思う」は、女性の方が男性より5.8ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う」は、男性の「30～39歳」が46.7%と最も高く、次いで男性の「60～69歳」が43.9%、女性の「18～29歳」が43.3%となっています。

「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」は、女性の「70歳以上」が45.8%と最も高く、次いで男性の「40～49歳」・「70歳以上」が同率43.1%となっています。

問 17 結婚にあたり、家柄や家族状況を調べること（聞き合わせ）について、あなたはどのように思いますか。（〇は1つ）



【全体】

「当然だと思う」が37.9%と最も高く、次いで「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が33.3%、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が26.1%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「当然だと思う」は6.0ポイント増加し、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」は3.8ポイント減少しています。

		有効回答数（件）	当然だと思う	おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う	まちがっているから、なくしていかなければならないと思う	無回答
全体		639	37.9	33.3	26.1	2.7
男性		278	31.7	33.1	31.7	3.6
女性		352	42.0	34.1	21.9	2.0
男性	18～29歳	44	38.6	27.3	25.0	9.1
	30～39歳	45	31.1	44.4	24.4	0.0
	40～49歳	58	34.5	24.1	34.5	6.9
	50～59歳	39	28.2	35.9	33.3	2.6
	60～69歳	41	34.1	34.1	31.7	0.0
	70歳以上	51	23.5	35.3	39.2	2.0
女性	18～29歳	60	58.3	28.3	13.3	0.0
	30～39歳	65	36.9	41.5	21.5	0.0
	40～49歳	90	37.8	35.6	24.4	2.2
	50～59歳	36	55.6	27.8	13.9	2.8
	60～69歳	42	38.1	26.2	28.6	7.1
	70歳以上	59	32.2	39.0	27.1	1.7

【性別】

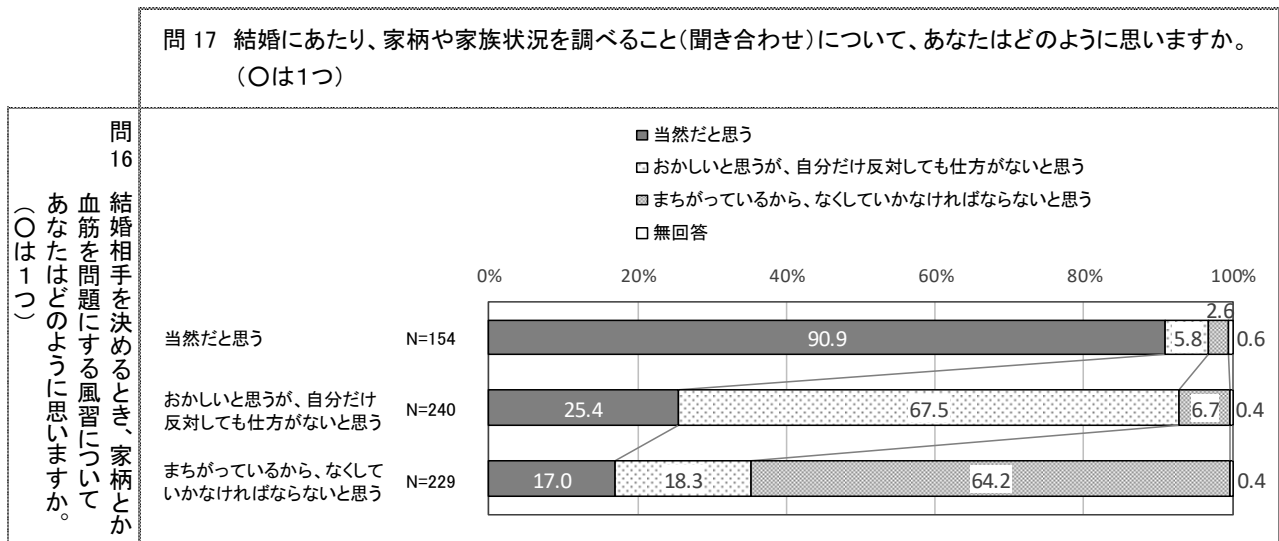
「当然だと思う」は、女性の方が男性より10.3ポイント高く、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」は、男性の方が女性より9.8ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「当然だと思う」は、女性の「18～29歳」が58.3%と最も高く、次いで女性の「50～59歳」が55.6%、男性の「18～29歳」が38.6%となっています。

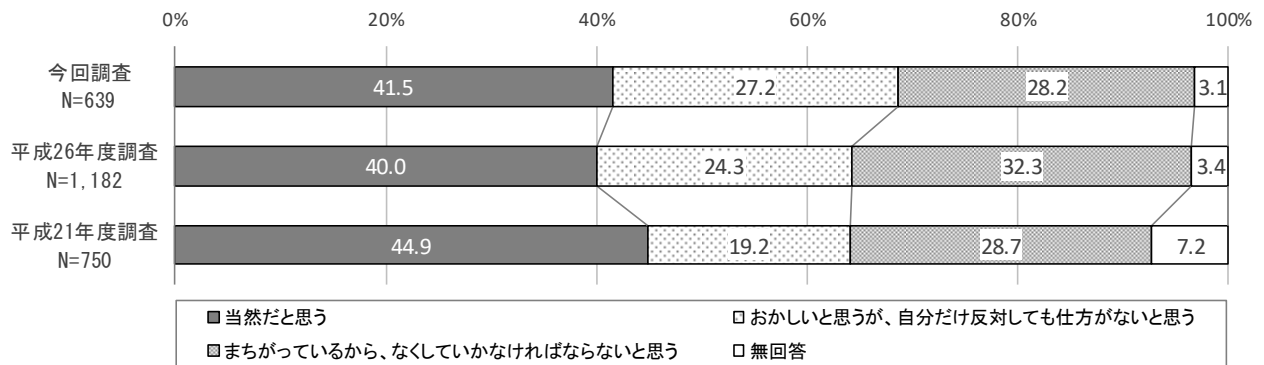
「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」は、男性の「30～39歳」が44.4%と最も高く、次いで女性の「30～39歳」が41.5%、女性の「70歳以上」が39.0%となっています。

【問 16 と問 17 との関連（クロス集計）】



結婚相手を決めるとき、家柄とか血筋を問題にする風習を「当然だと思う」と回答した人は、結婚にあたり家柄や家族状況を調べること(聞き合わせ)を「当然だと思う」と回答した割合が90.9%となっています。

問 18 企業が採用選考のとき身元調査をすることについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)



【全体】

「当然だと思う」が41.5%と最も高く、次いで「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」が28.2%、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が27.2%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」は増加傾向にあります。

		有効回答数(件)	当然 だ と 思 う	お か し い と 思 う が 、 自 分 だ け 反 対 し て も 仕 方 が な い と 思 う	ま ち が っ て い る か ら 、 な く し て い か な け れ ば な ら な い と 思 う	無 回 答
全体		639	41.5	27.2	28.2	3.1
男性		278	40.3	28.1	28.8	2.9
女性		352	42.3	26.4	27.8	3.4
男性	18～29歳	44	43.2	22.7	27.3	6.8
	30～39歳	45	42.2	35.6	22.2	0.0
	40～49歳	58	53.4	13.8	27.6	5.2
	50～59歳	39	25.6	43.6	28.2	2.6
	60～69歳	41	34.1	34.1	31.7	0.0
	70歳以上	51	37.3	25.5	35.3	2.0
女性	18～29歳	60	48.3	30.0	21.7	0.0
	30～39歳	65	35.4	36.9	27.7	0.0
	40～49歳	90	37.8	30.0	27.8	4.4
	50～59歳	36	50.0	19.4	27.8	2.8
	60～69歳	42	35.7	28.6	31.0	4.8
	70歳以上	59	50.8	8.5	32.2	8.5

【性別】

「当然だと思う」は、女性の方が男性より2.0ポイント高く、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」は、男性の方が女性より1.7ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「当然だと思う」は、男性の「40～49歳」が53.4%と最も高く、次いで女性の「70歳以上」が50.8%、女性の「50～59歳」が50.0%となっています。

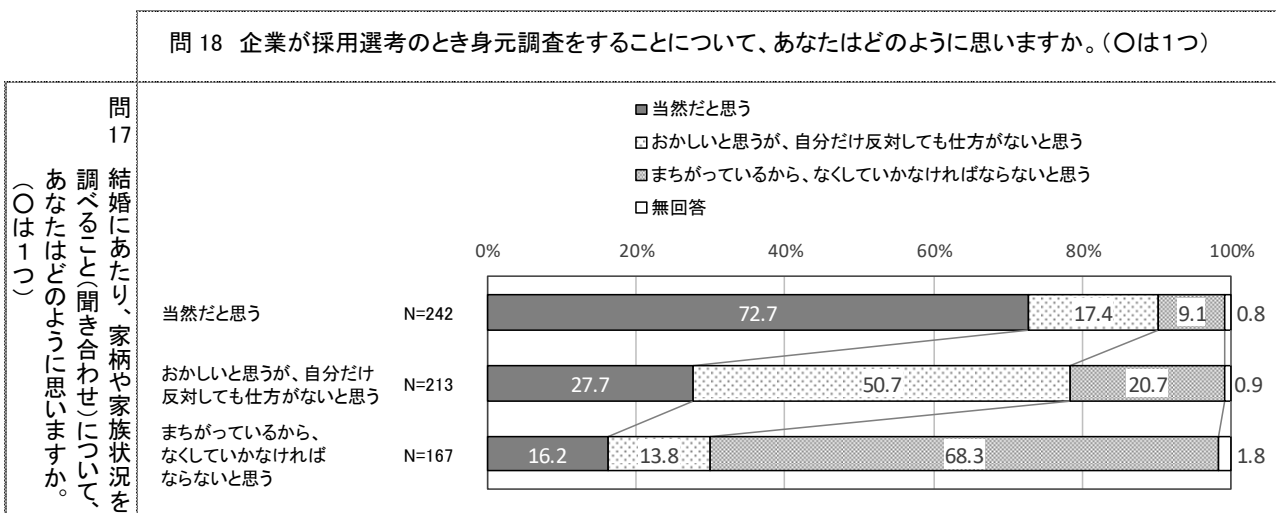
「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」は、男性の「70歳以上」が35.3%と最も高く、次いで女性の「70歳以上」が32.2%、男性の「60～69歳」が31.7%となっています。

【問 18 職業別】

	有効回答数（件）	当然だと思 う	が 分 な い と 思 う	お か し い と 思 う が 、 自 分 だ け 反 対 し て も 仕 方 が な い と 思 う	な く し て い か な け ら ば な ら な い と 思 う	ま ち が つ て い る か ら 、 な く し て い か な け ら ば	無 回 答
全 体	639	41.5	27.2	28.2	3.1		
自営業（農林、商工サービス、建設業、自由業などの事業主及び家族従事者）	69	36.2	36.2	26.1	1.4		
公務員	29	13.8	41.4	41.4	3.4		
教員	16	25.0	43.8	31.3	0.0		
民間企業・団体の経営者、役員	14	50.0	14.3	28.6	7.1		
民間企業・団体の勤め人（従業員100人未満）	78	44.9	28.2	26.9	0.0		
民間企業・団体の勤め人（従業員100人以上）	107	51.4	22.4	20.6	5.6		
臨時雇、パート、アルバイト	124	39.5	28.2	29.0	3.2		
その他の有業者	10	50.0	10.0	30.0	10.0		
家事専業	78	43.6	24.4	26.9	5.1		
学生	34	44.1	29.4	26.5	0.0		
無職（求職中や定年後を含む）	65	40.0	20.0	38.5	1.5		
その他	6	50.0	0.0	33.3	16.7		

職業別でみると、民間企業・団体の勤め人（従業員 100 人以上）で「当然だと思う」が 51.4% と他の職業より高くなっています。

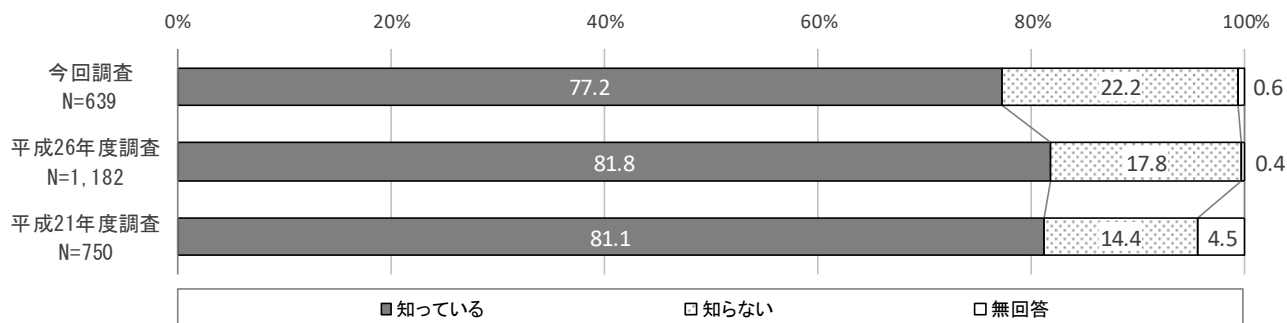
【問 17 と問 18 との関連（クロス集計）】



結婚にあたり、家柄や家族状況を調べることに聞き合わせを「当然だと思う」と回答した人は、企業が採用選考のとき身元調査をすることを「当然だと思う」と回答した割合が 72.7% となっています。

(10) 同和問題（部落差別）について

問 19 あなたは、日本社会に「同和地区」、「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けてきた地区があること、あるいは「同和問題」、「部落差別」といわれる問題があることを知っていますか。（〇は1つ）



【全体】

「知っている」が77.2%、「知らない」が22.2%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「知らない」は増加傾向にあります。

(%)

		有効回答数	知っている (%)	知らない (%)	無回答 (%)
全体		639	77.2	22.2	0.6
男性		278	80.6	18.7	0.7
女性		352	74.7	24.7	0.6
男性	18～29歳	44	47.7	50.0	2.3
	30～39歳	45	82.2	17.8	0.0
	40～49歳	58	86.2	12.1	1.7
	50～59歳	39	82.1	17.9	0.0
	60～69歳	41	90.2	9.8	0.0
	70歳以上	51	92.2	7.8	0.0
女性	18～29歳	60	58.3	41.7	0.0
	30～39歳	65	73.8	26.2	0.0
	40～49歳	90	73.3	26.7	0.0
	50～59歳	36	97.2	2.8	0.0
	60～69歳	42	76.2	21.4	2.4
	70歳以上	59	79.7	18.6	1.7

【性別】

「知らない」は、女性の方が男性より6.0ポイント高く、「知っている」は、男性の方が女性より5.9ポイント高くなっています。

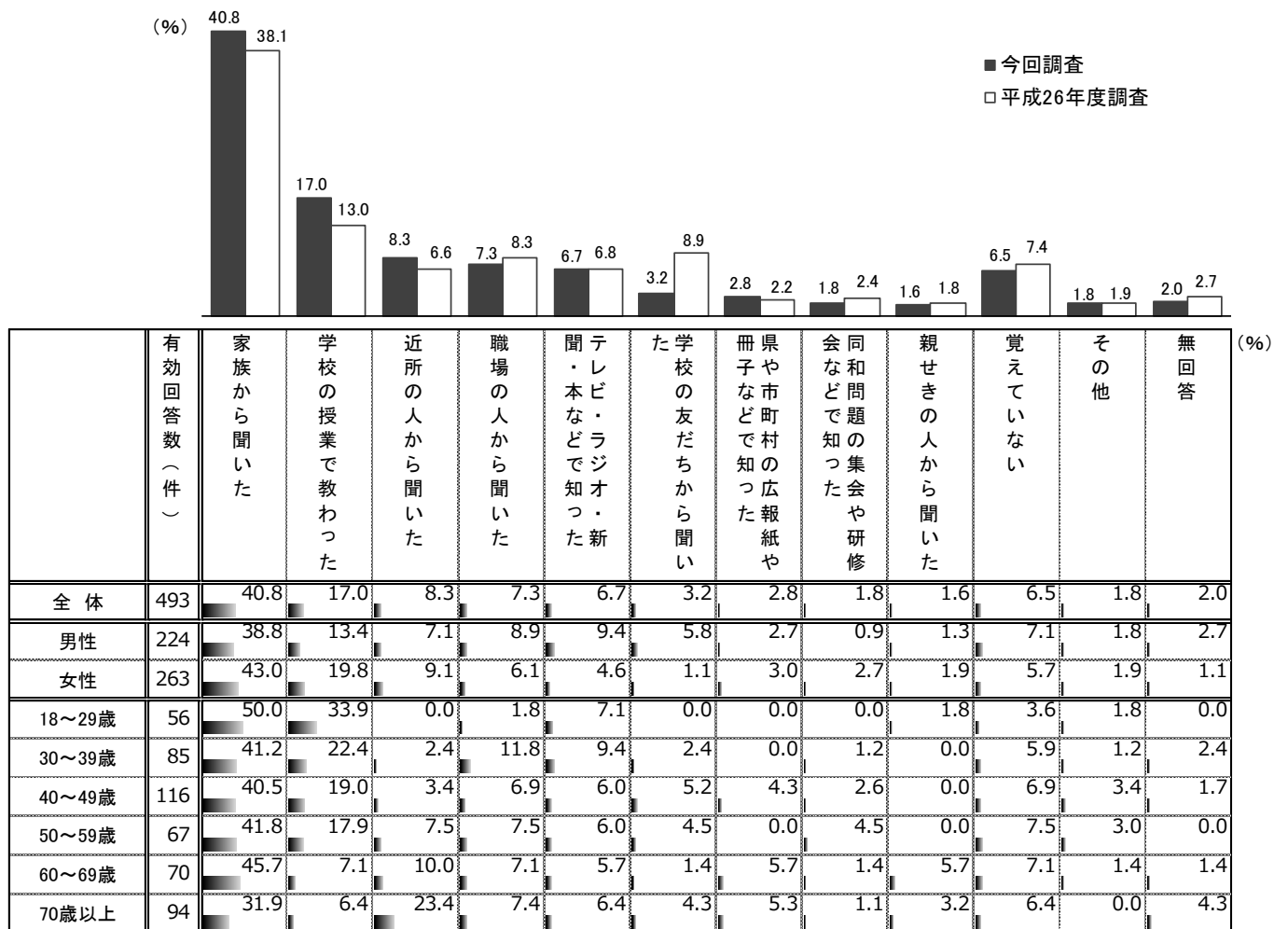
【性・年齢別】

「知っている」は、女性の「50～59歳」が97.2%と最も高く、次いで男性の「70歳以上」が92.2%、男性の「60～69歳」が90.2%となっています。

「知らない」は、男性の「18～29歳」が50.0%と最も高く、次いで女性の「18～29歳」が41.7%、女性の「40～49歳」が26.7%となっています。

《問 20 から問 25 までは、問 19 で「1. 知っている」とお答えになった方にお聞きします。》

問 20 あなたが、同和地区や同和问题（部落差別）について、はじめて知ったきっかけは、何（誰）からですか。（○は1つ）



【全体】

「家族から聞いた」が40.8%と最も高く、次いで「学校の授業で教わった」が17.0%、「近所の人から聞いた」が8.3%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「学校の友だちから聞いた」が5.7ポイント減少しています。

【性別】

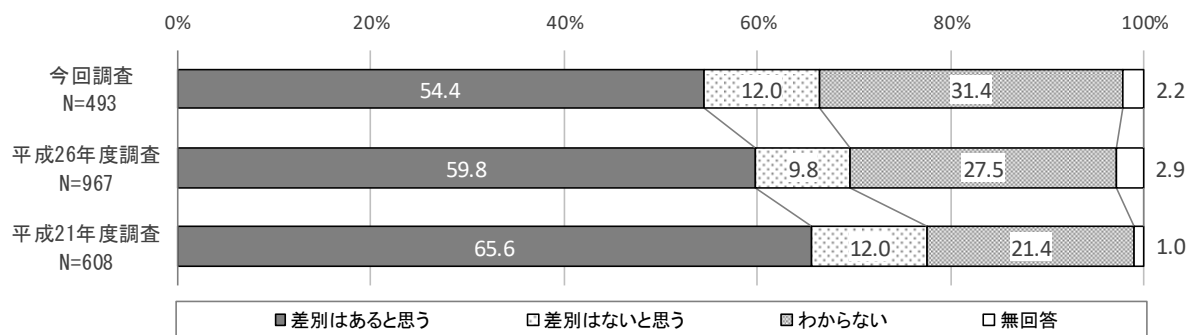
「学校の授業で教わった」は、女性の方が男性より6.4ポイント高く、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」は、男性の方が女性より4.8ポイント高くなっています。

【年齢別】

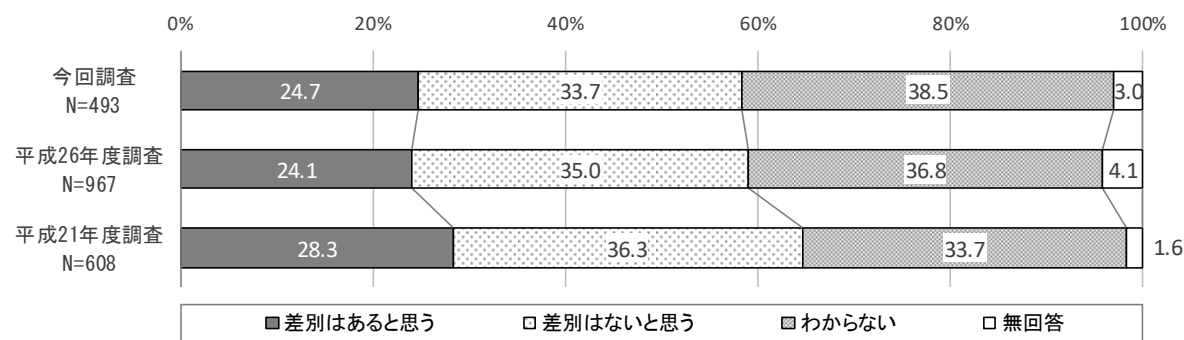
「家族から聞いた」は、「18～29歳」が50.0%と最も高く、次いで「60～69歳」が45.7%、「50～59歳」が41.8%となっています。

問 21 あなたは、今でも同和問題(部落差別)があると思いますか。(〇はそれぞれの項目について1つ)

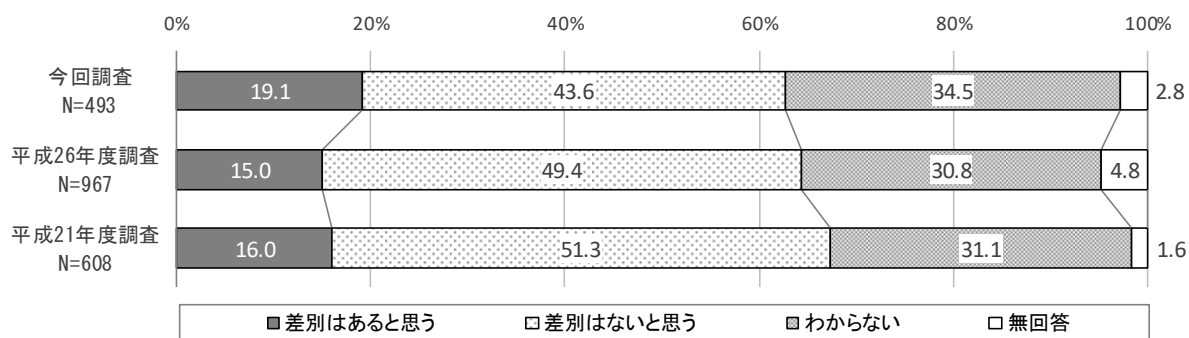
<ア. 結婚について>



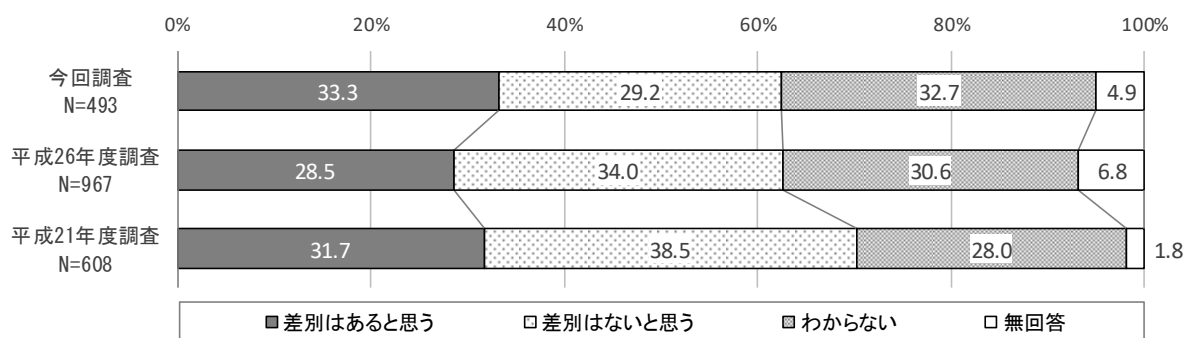
<イ. 就職について>



<ウ. 学校・保育所などの教育現場について>



<エ. 日常の付き合いについて>



(%)

	有効回答数 (件)	ア. 結婚について			
		と差別は ある	と差別は ない	わから ない	無回 答
全 体	493	54.4	12.0	31.4	2.2
男性	224	53.6	12.1	31.7	2.7
女性	263	54.4	12.2	31.9	1.5
18～29歳	56	53.6	10.7	35.7	0.0
30～39歳	85	58.8	4.7	34.1	2.4
40～49歳	116	62.1	10.3	25.9	1.7
50～59歳	67	49.3	11.9	38.8	0.0
60～69歳	70	60.0	11.4	27.1	1.4
70歳以上	94	39.4	22.3	33.0	5.3

イ. 就職について					
		と差別は ある	と差別は ない	わから ない	無回 答
		24.7	33.7	38.5	3.0
		28.6	32.6	35.3	3.6
		21.7	34.2	42.2	1.9
		21.4	28.6	50.0	0.0
		28.2	22.4	47.1	2.4
		27.6	37.1	33.6	1.7
		28.4	28.4	43.3	0.0
		25.7	38.6	31.4	4.3
		17.0	42.6	34.0	6.4

ウ. 学校・保育所などの教育現場について					
		と差別は ある	と差別は ない	わから ない	無回 答
全 体	493	19.1	43.6	34.5	2.8
男性	224	23.7	41.1	32.1	3.1
女性	263	15.6	45.6	36.9	1.9
18～29歳	56	23.2	28.6	48.2	0.0
30～39歳	85	28.2	28.2	41.2	2.4
40～49歳	116	23.3	44.8	30.2	1.7
50～59歳	67	22.4	32.8	44.8	0.0
60～69歳	70	15.7	52.9	28.6	2.9
70歳以上	94	4.3	64.9	24.5	6.4

エ. 日常の付き合いについて					
		と差別は ある	と差別は ない	わから ない	無回 答
		33.3	29.2	32.7	4.9
		33.0	31.7	30.8	4.5
		33.1	27.8	34.6	4.6
		35.7	16.1	46.4	1.8
		49.4	14.1	31.8	4.7
		44.8	24.1	27.6	3.4
		31.3	23.9	44.8	0.0
		18.6	45.7	30.0	5.7
		14.9	50.0	25.5	9.6

<ア. 結婚について>

【全体】

「差別はあると思う」が54.4%、「差別はないと思う」が12.0%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「差別はあると思う」は減少傾向にあります。

【性別】

「差別はあると思う」は、女性の方が男性より0.8ポイント高くなっています。

【年齢別】

「差別はあると思う」は、「40～49歳」が62.1%と最も高く、次いで「60～69歳」が60.0%、「30～39歳」が58.8%となっています。

<イ. 就職について>

【全体】

「差別はないと思う」が33.7%、「差別はあると思う」が24.7%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「差別はないと思う」は減少傾向にあります。

【性別】

「差別はあると思う」は、男性の方が女性より 6.9 ポイント高くなっています。

【年齢別】

「差別はないと思う」は、「70 歳以上」が 42.6%と最も高く、次いで「60～69 歳」が 38.6%、「40～49 歳」が 37.1%となっています。

<ウ. 学校・保育所などの教育現場について>

【全体】

「差別はないと思う」が 43.6%、「差別はあると思う」が 19.1%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「差別はないと思う」は減少傾向にあります。

【性別】

「差別はあると思う」は、男性の方が女性より 8.1 ポイント高くなっています。

【年齢別】

「差別はないと思う」は、「70 歳以上」が 64.9%と最も高く、次いで「60～69 歳」が 52.9%、「40～49 歳」が 44.8%となっています。

<エ. 日常の付き合いについて>

【全体】

「差別はあると思う」が 33.3%、「差別はないと思う」が 29.2%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「差別はないと思う」は減少傾向にあります。

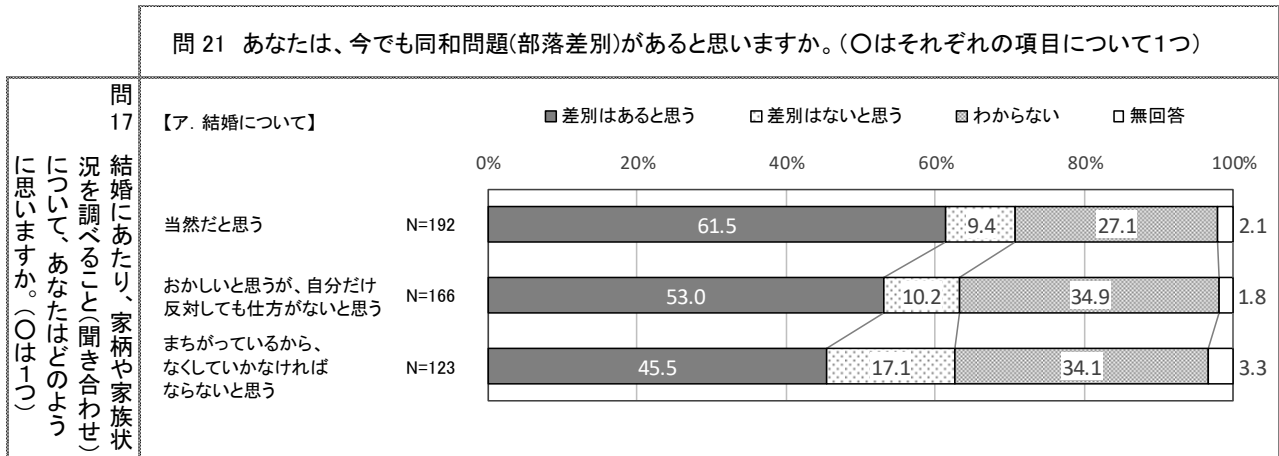
【性別】

「差別はないと思う」は、男性の方が女性より 3.9 ポイント高くなっています。

【年齢別】

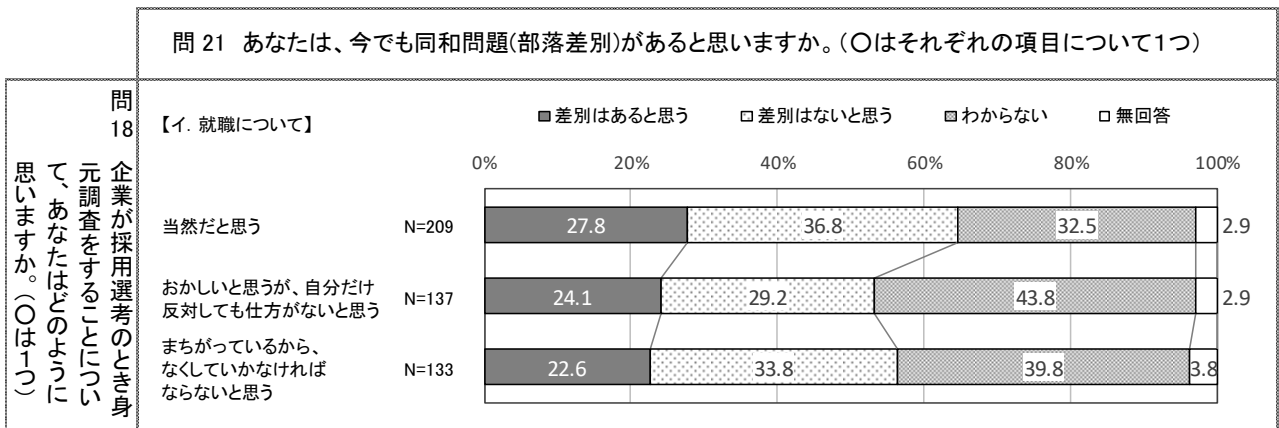
「差別はあると思う」は、「30～39 歳」が 49.4%と最も高く、次いで「40～49 歳」が 44.8%、「18～29 歳」が 35.7%となっています。

【問 17 と問 21（結婚について）との関連（クロス集計）】



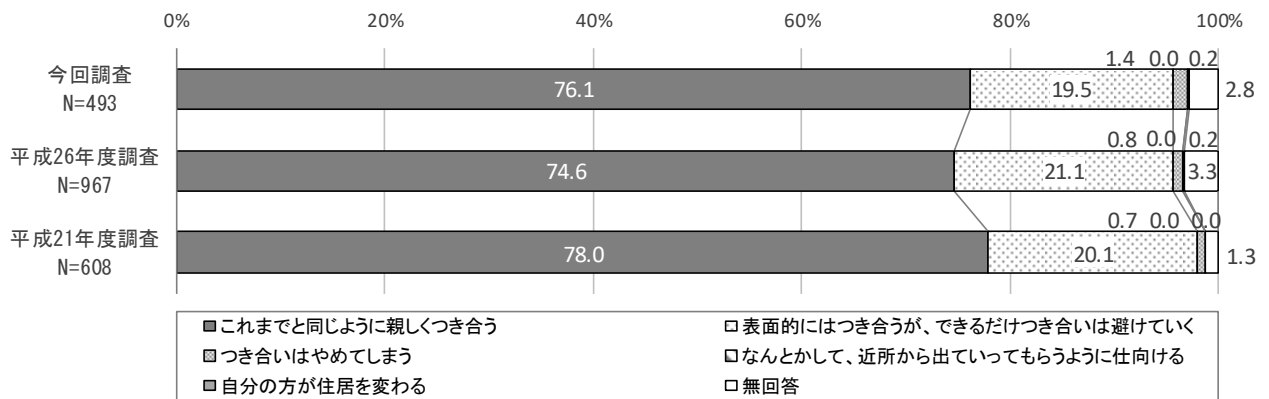
結婚にあたり、家柄や家族状況を調べることを「聞き合わせ」を「当然だと思ふ」と回答した人は、同和問題（部落差別）の結婚について「差別はあると思ふ」と回答した割合が61.5%となっています。

【問 18 と問 21（就職について）との関連（クロス集計）】



企業が採用選考のとき身元調査をすることを「当然だと思ふ」と回答した人は、同和問題（部落差別）の就職について「差別はないと思ふ」と回答した割合が36.8%となっています。

問 22 仮に、日ごろ親しくつき合っている隣近所の人が、なにかのことで、同和地区の人であることがわかった場合、あなたはどうしますか。(〇は1つ)



【全体】

「これまでと同じように親しくつき合う」が76.1%と最も高く、次いで「表面的にはつき合うが、できるだけつき合いは避けていく」が19.5%、「つき合いはやめてしまう」が1.4%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「表面的にはつき合うが、できるだけつき合いは避けていく」は1.6ポイント減少し、「これまでと同じように親しくつき合う」は1.5ポイント増加しています。

	有効回答数 (件)	これまでと同じように親しくつき合う	表面的にはつき合うが、できるだけつき合いは避けていく	つき合いはやめてしまう	自分の方が住居を変える	無回答
全体	493	76.1	19.5	1.4	0.0	2.8
男性	224	77.2	17.0	2.2	0.0	3.6
女性	263	75.3	21.7	0.8	0.0	1.9
18～29歳	56	78.6	16.1	1.8	0.0	1.8
30～39歳	85	81.2	14.1	0.0	0.0	4.7
40～49歳	116	76.7	19.0	2.6	0.0	1.7
50～59歳	67	74.6	20.9	3.0	0.0	1.5
60～69歳	70	72.9	24.3	0.0	0.0	2.9
70歳以上	94	73.4	22.3	1.1	0.0	3.2

【性別】

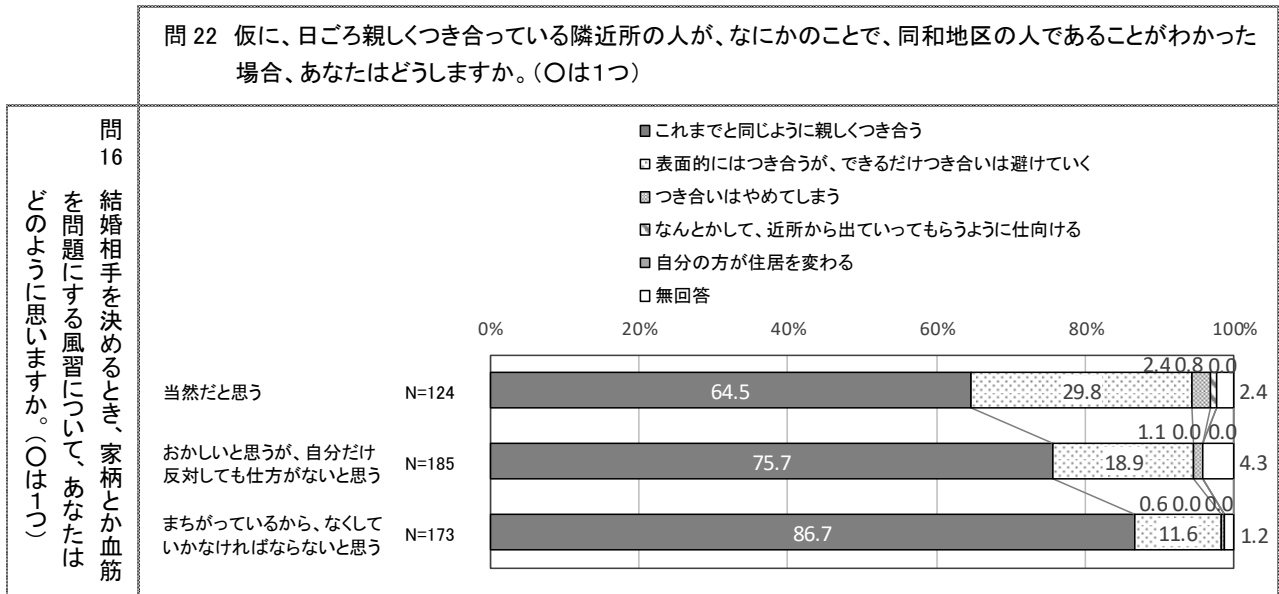
「表面的にはつき合うが、できるだけつき合いは避けていく」は、女性の方が男性より4.7ポイント高く、「これまでと同じように親しくつき合う」は、男性の方が女性より1.9ポイント高くなっています。

【年齢別】

「これまでと同じように親しくつき合う」は、「30～39歳」が81.2%と最も高く、次いで「18～29歳」が78.6%、「40～49歳」が76.7%となっています。

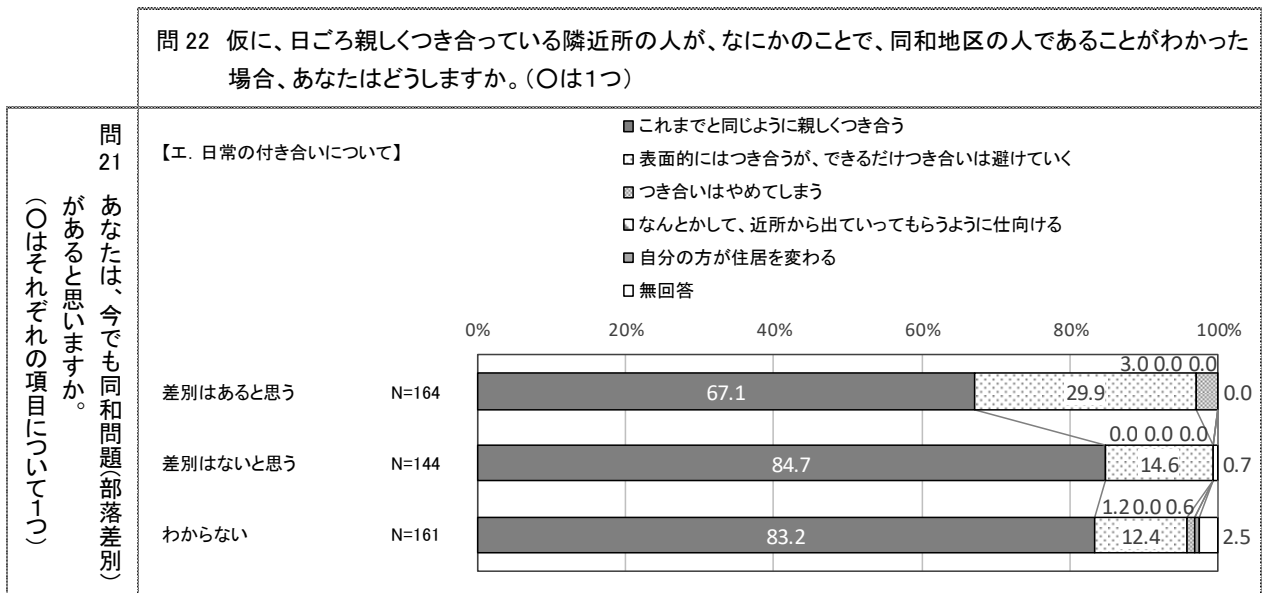
「表面的にはつき合うが、できるだけつき合いは避けていく」は、「60～69歳」が24.3%と最も高く、次いで「70歳以上」が22.3%、「50～59歳」が20.9%となっています。

【問 16 と問 22 との関連（クロス集計）】



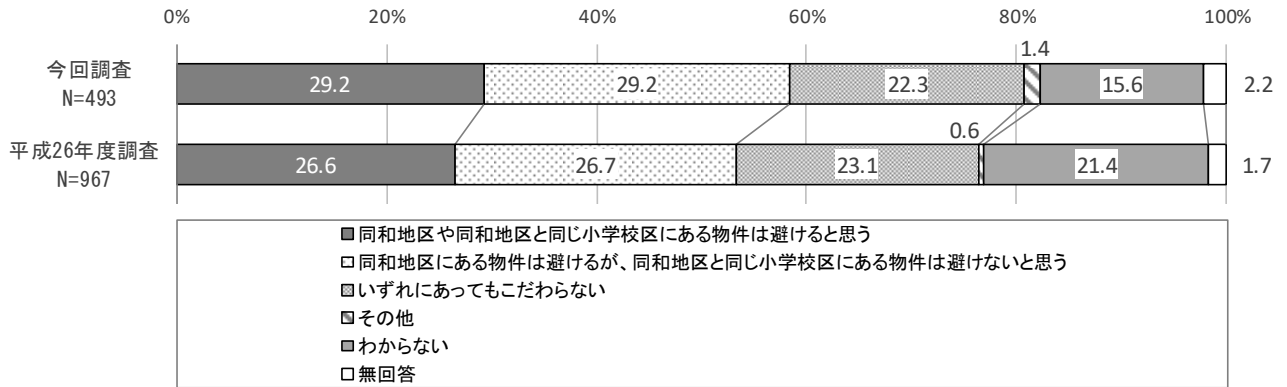
結婚相手を決めるとき、家柄とか血筋を問題にする風習を「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と回答した人は、日ごろ親しくつき合っている隣近所の人、なにかのことで、同和地区の人であることがわかった場合、「これまでと同じように親しくつき合う」と回答した割合が86.7%となっています。

【問 21（日常の付き合いについて）と問 22 との関連（クロス集計）】



同和問題（部落差別）の日常の付き合いについて「差別はないと思う」と回答した人は、日ごろ親しくつき合っている隣近所の人、なにかのことで、同和地区の人であることがわかった場合、「これまでと同じように親しくつき合う」と回答した割合が84.7%となっています。

問 23 あなたが、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件を避けることがありますか。
(○は1つ)



【全体】

「同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う」・「同和地区にある物件は避けるが、同和地区と同じ小学校区にある物件は避けないと思う」が同率 29.2%と最も高く、次いで「いずれにあってもこだわらない」が 22.3%となっています。

【経年比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う」は 2.6 ポイント、「同和地区にある物件は避けるが、同和地区と同じ小学校区にある物件は避けないと思う」は 2.5 ポイントそれぞれ増加しています。

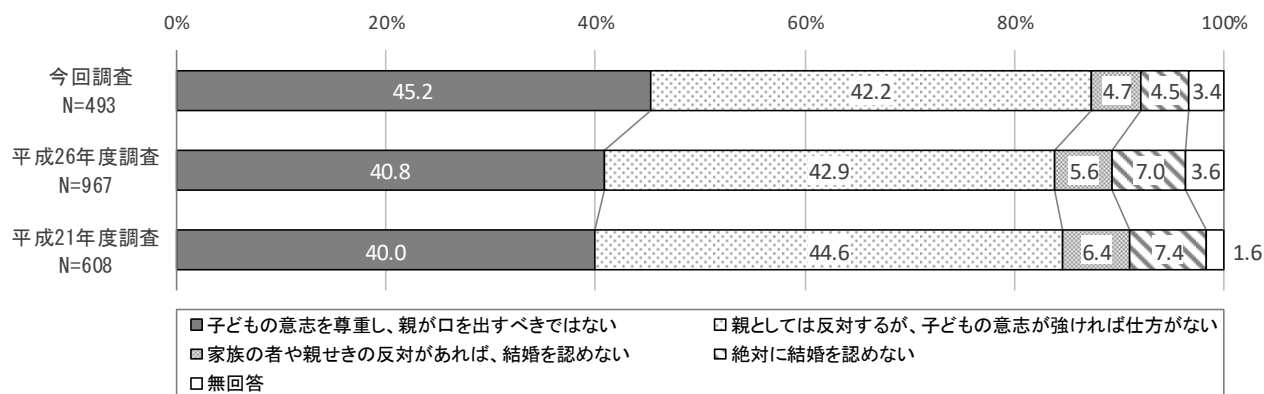
	有効回答数(件)	同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う	同和地区にある物件は避けるが、同和地区と同じ小学校区にある物件は避けないと思う	いずれにあってもこだわらない	その他	わからない	無回答
全体	493	29.2	29.2	22.3	1.4	15.6	2.2
男性	224	29.5	26.8	22.8	1.3	17.4	2.2
女性	263	28.9	31.2	22.1	1.5	14.4	1.9
18～29歳	56	33.9	28.6	21.4	1.8	14.3	0.0
30～39歳	85	27.1	34.1	20.0	2.4	14.1	2.4
40～49歳	116	38.8	19.0	24.1	0.0	16.4	1.7
50～59歳	67	26.9	35.8	22.4	1.5	11.9	1.5
60～69歳	70	28.6	37.1	20.0	0.0	12.9	1.4
70歳以上	94	19.1	26.6	24.5	3.2	22.3	4.3

【性別】「同和地区にある物件は避けるが、同和地区と同じ小学校区にある物件は避けないと思う」は、女性の方が男性より 4.4 ポイント高く、「同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う」は、男性の方が女性より 0.6 ポイント高くなっています。

【年齢別】「同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う」は、「40～49歳」が 38.8%と最も高く、次いで「18～29歳」が 33.9%、「60～69歳」が 28.6%となっています。

「同和地区にある物件は避けるが、同和地区と同じ小学校区にある物件は避けないと思う」は、「60～69歳」が 37.1%と最も高く、次いで「50～59歳」が 35.8%、「30～39歳」が 34.1%となっています。

問 24 あなたのお子さんが結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。(〇は1つ)



【全体】

「子どもの意志を尊重し、親が口を出すべきではない」が45.2%と最も高く、次いで「親としては反対するが、子どもの意志が強ければ仕方がない」が42.2%、「家族の者や親せきの反対があれば、結婚を認めない」が4.7%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「子どもの意志を尊重し、親が口を出すべきではない」が増加傾向、「親としては反対するが、子どもの意志が強ければ仕方がない」が減少傾向にあります。

	有効回答数(件)	子どもの意志を尊重し、親が口を出すべきではない (%)	親としては反対するが、子どもの意志が強ければ仕方がない (%)	家族の者や親せきの反対があれば、結婚を認めない (%)	絶対に結婚を認めない (%)	無回答 (%)
全体	493	45.2	42.2	4.7	4.5	3.4
男性	224	45.5	42.9	2.7	4.5	4.5
女性	263	45.6	41.4	6.1	4.6	2.3
18～29歳	56	41.1	44.6	7.1	3.6	3.6
30～39歳	85	55.3	35.3	5.9	1.2	2.4
40～49歳	116	47.4	44.0	0.9	3.4	4.3
50～59歳	67	46.3	35.8	4.5	9.0	4.5
60～69歳	70	37.1	47.1	8.6	5.7	1.4
70歳以上	94	42.6	44.7	4.3	5.3	3.2

【性別】

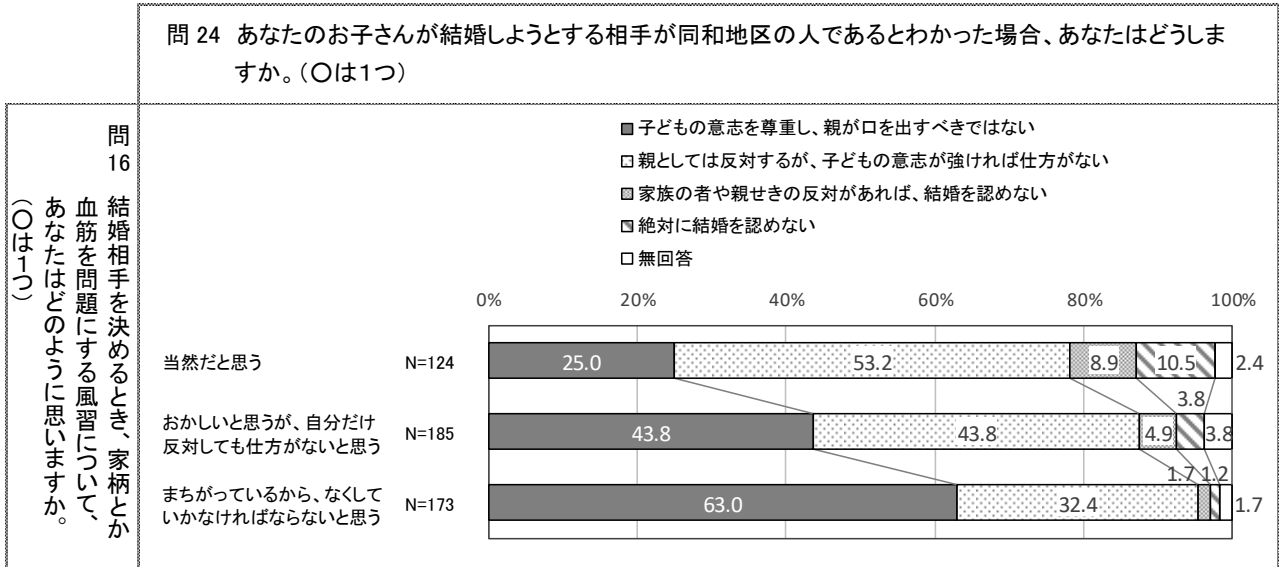
「家族の者や親せきの反対があれば、結婚を認めない」は、女性の方が男性より3.4ポイント高く、「親としては反対するが、子どもの意志が強ければ仕方がない」は、男性の方が女性より1.5ポイント高くなっています。

【年齢別】

「子どもの意志を尊重し、親が口を出すべきではない」は、「30～39歳」が55.3%と最も高く、次いで「40～49歳」が47.4%、「50～59歳」が46.3%となっています。

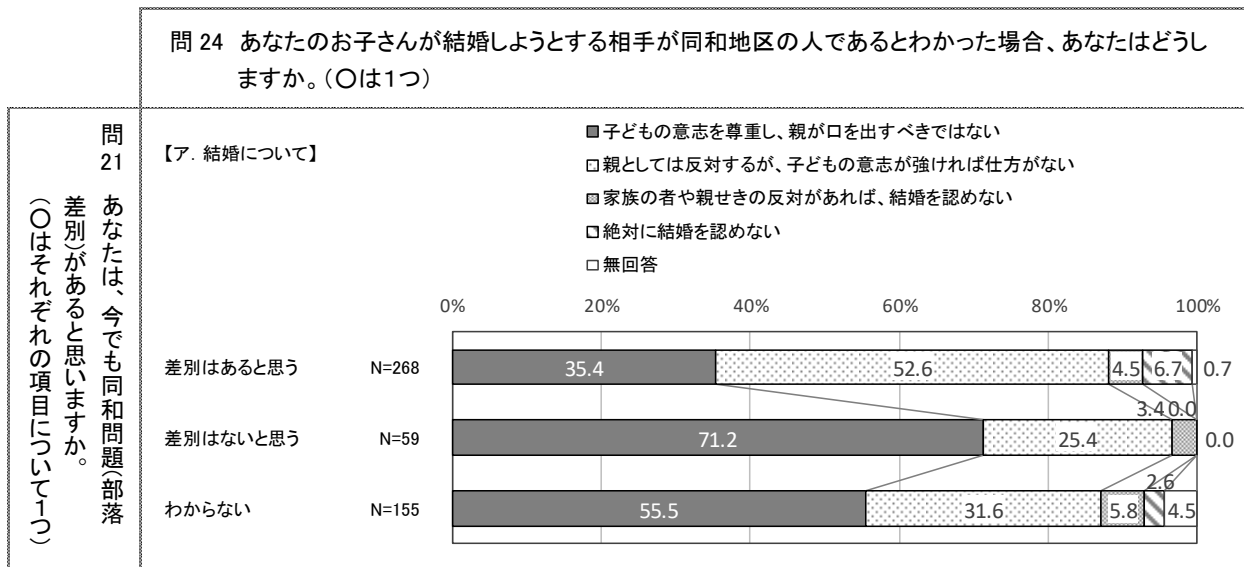
「親としては反対するが、子どもの意志が強ければ仕方がない」は、「60～69歳」が47.1%と最も高く、次いで「70歳以上」が44.7%、「18～29歳」が44.6%となっています。

【問 16 と問 24 との関連（クロス集計）】



結婚相手を決めるとき、家柄とか血筋を問題にする風習を「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と回答した人は、お子さんが結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合、「子どもの意志を尊重し、親が口を出すべきでない」と回答した割合が63.0%となっています。

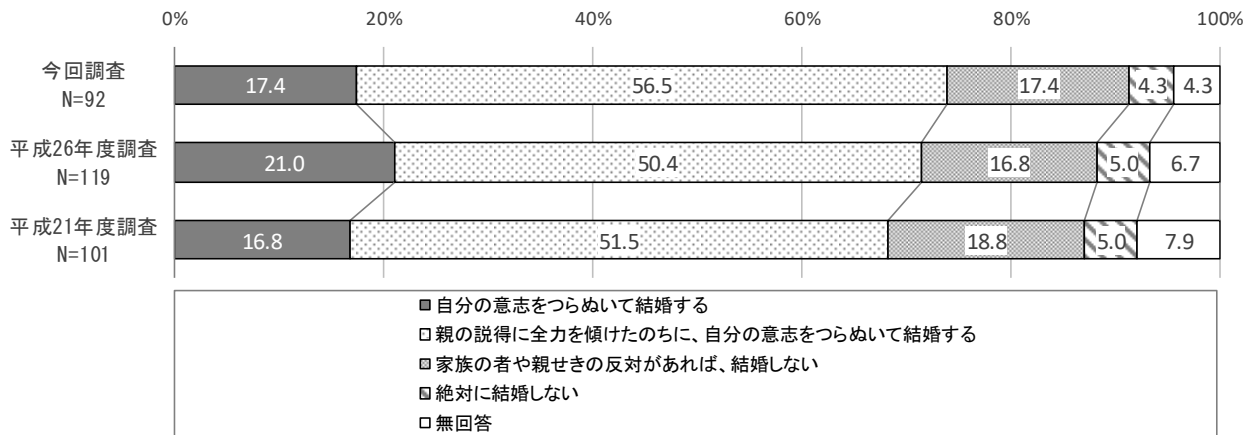
【問 21 と問 24 との関連（クロス集計）】



同和問題(部落差別)の結婚について「差別はないと思う」と回答した人は、お子さんが結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合「子どもの意志を尊重し、親が口を出すべきでない」と回答した割合が71.2%となっています。

《結婚していない方にお聞きします。》

問 25 あなたが同和地区の人と恋愛し、結婚しようとするとき、親や親せきから強い反対を受けたら、あなたはどのようにしますか。(〇は1つ)



【全体】

「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志をつらぬいて結婚する」が56.5%と最も高く、次いで「自分の意志をつらぬいて結婚する」・「家族の者や親せきの反対があれば、結婚しない」が同率17.4%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志をつらぬいて結婚する」は6.1ポイント増加し、「自分の意志をつらぬいて結婚する」は3.6ポイント減少しています。

	有効回答数(件)	自分の意志をつらぬいて結婚する	親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志をつらぬいて結婚する	家族の者や親せきの反対があれば、結婚しない	絶対に結婚しない	無回答
全体	92	17.4	56.5	17.4	4.3	4.3
男性	44	20.5	59.1	11.4	2.3	6.8
女性	48	14.6	54.2	22.9	6.3	2.1
18~29歳	50	18.0	50.0	26.0	6.0	0.0
30~39歳	20	10.0	65.0	10.0	5.0	10.0
40~49歳	12	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
50~59歳	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
60~69歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
70歳以上	5	0.0	60.0	0.0	0.0	40.0

【性別】

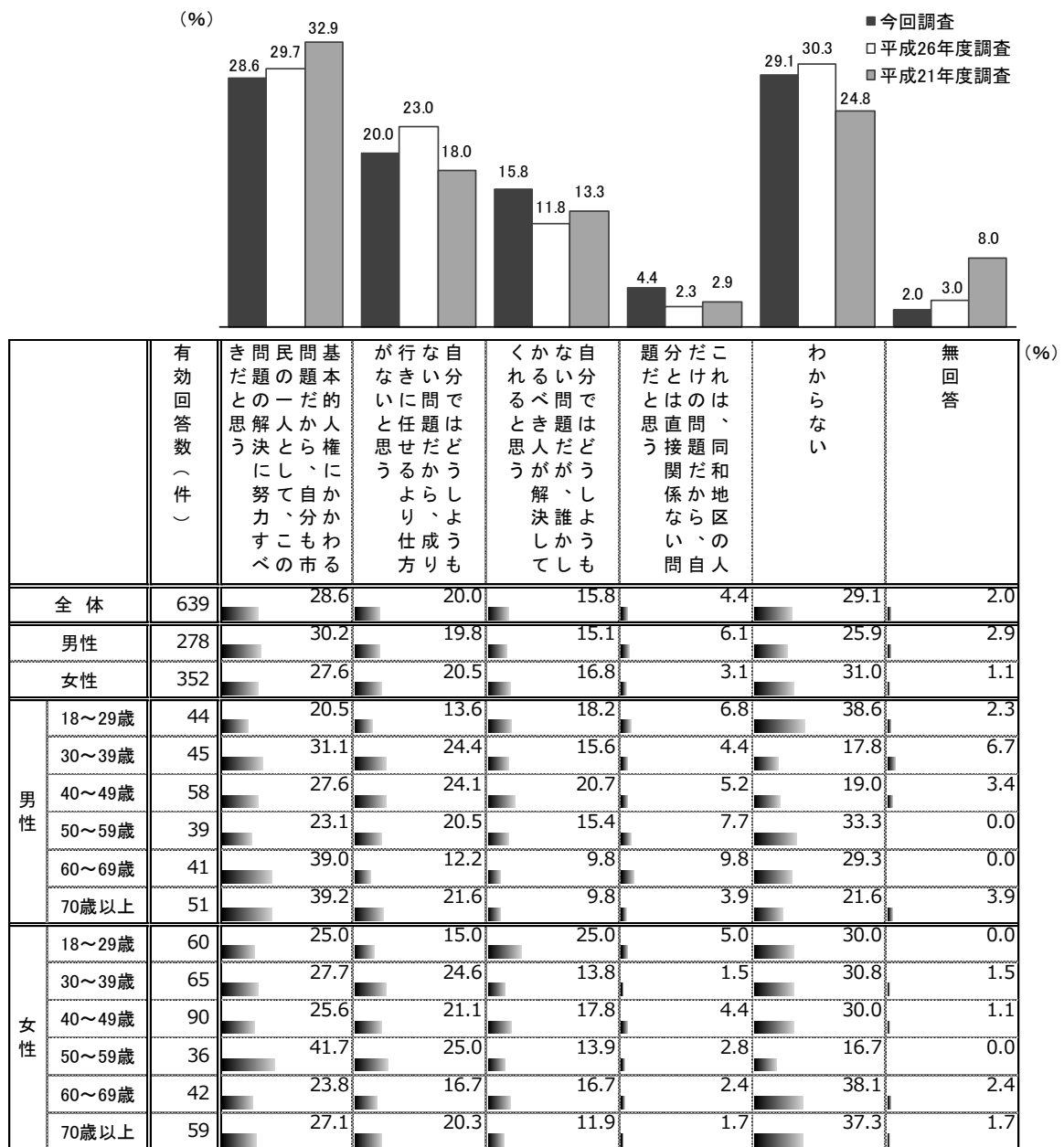
「家族の者や親せきの反対があれば、結婚しない」は、女性の方が男性より11.5ポイント高く、「自分の意志をつらぬいて結婚する」は、男性の方が女性より5.9ポイント高くなっています。

【年齢別】

「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志をつらぬいて結婚する」は、「40~49歳」が75.0%と最も高く、次いで「30~39歳」が65.0%、「70歳以上」が60.0%となっています。

《すべての方にお聞きします。》

問 26 同和問題(部落差別)の解決に対するあなたの考えに最も近いのはどれですか。
(○は1つ)



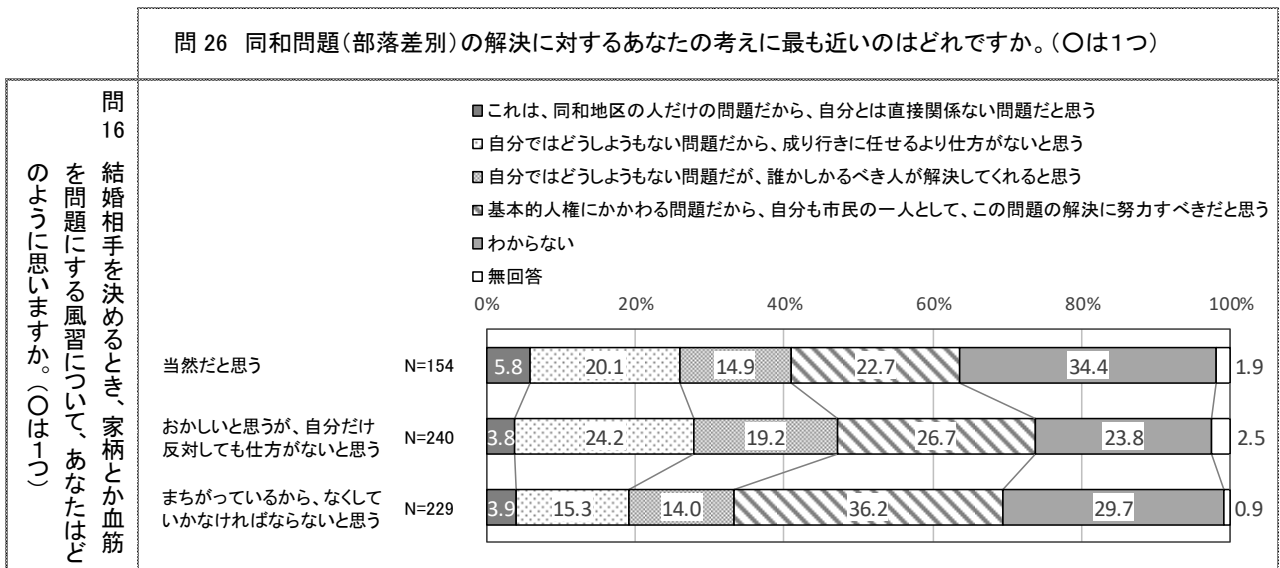
【全体】「基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」が28.6%、「自分ではどうしようもない問題だから、成り行きに任せるより仕方ないと思う」が20.0%となっています。

【経年比較】今回調査と過去2回の調査を比較すると、「基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」が減少傾向にあります。

【性別】「これは、同和地区の人だけの問題だから、自分とは直接関係ない問題だと思う」は、男性の方が女性より3.0ポイント高くなっています。

【性・年齢別】「基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」は、女性の「50~59歳」が41.7%で最も高く、次いで男性の「70歳以上」が39.2%、男性の「60~69歳」が39.0%となっています。

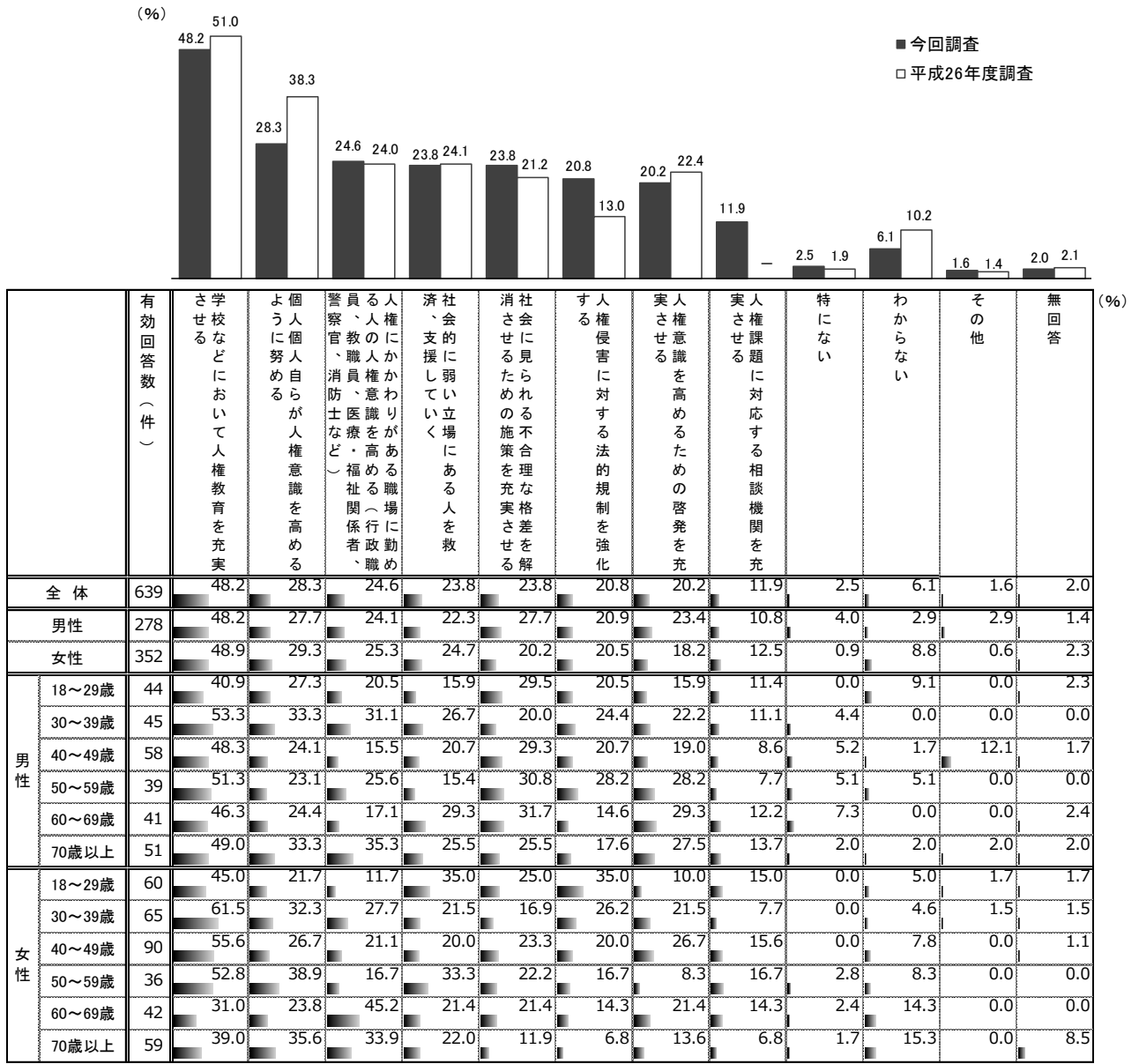
【問 16 と問 26 との関連（クロス集計）】



結婚相手を決めるとき、家柄とか血筋を問題にする風習について「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」と回答した人は、同和問題（部落差別）の解決に対する考えとして「基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う」と回答した割合が36.2%となっています。

(11) 人権尊重の取り組み及び啓発活動への参加、認知について

問 27 人権が尊重される社会を実現するには、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は3つ以内)



※ 平成26年度調査で選択肢がない項目はデータなしのためと表記

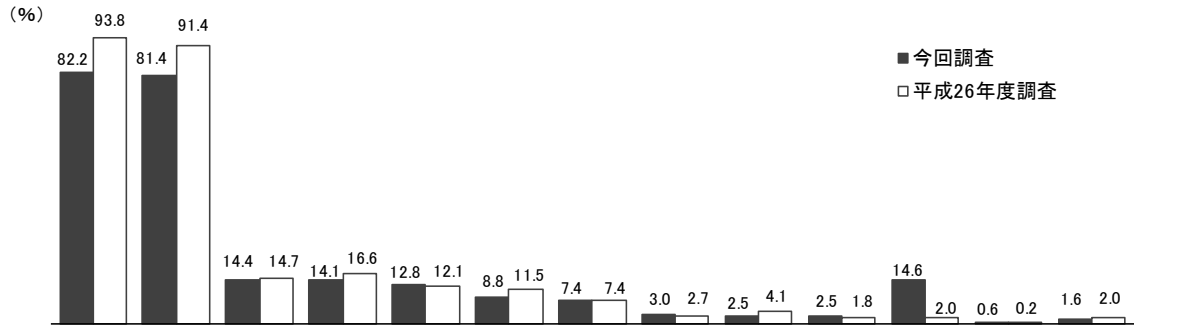
【全体】「学校などにおいて人権教育を充実させる」が48.2%と最も高く、次いで「個人個人自らが人権意識を高めるように努める」が28.3%、「人権にかかわりがある職場に勤める人の人権意識を高める」が24.6%となっています。

【経年比較】平成26年度調査と比較すると、「個人個人自らが人権意識を高めるように努める」が10.0ポイント減少しています。

【性別】「社会に見られる不合理な格差を解消させるための施策を充実させる」は、男性の方が女性より7.5ポイント高くなっています。

【性・年齢別】「学校などにおいて人権教育を充実させる」は、女性の「30~39歳」が61.5%と最も高く、次いで女性の「40~49歳」が55.6%、男性の「30~39歳」が53.3%となっています。

問 28 人権問題について県や市町村などが行っている教育・啓発活動のうち、あなたが実際に参加したり、見たり、聞いたりしたことがあるものはどれですか。(あてはまるものに○をつけてください) また、「1. 講演会、研修会、シンポジウム」、「2. 啓発イベントや企画展示」については参加の頻度をお答えください。(○はそれぞれの項目について1つ)



	有効回答数(件)	講演会、研修会、シンポジウム	啓発イベントや企画展示	テレビ、ラジオ	広報紙	掲示物(ポスターなど)	新聞、雑誌	パンフレット、冊子など	内交通告(電車車内広告など)	映画、ビデオ	インターネットやホームページ	特になし	その他	無回答	
全体	639	82.2	81.4	14.4	14.1	12.8	8.8	7.4	3.0	2.5	2.5	14.6	0.6	1.6	
男性	278	81.7	80.9	15.8	9.4	11.5	8.3	6.5	2.9	2.2	3.2	15.1	0.0	1.1	
女性	352	83.2	82.4	13.6	17.6	14.2	9.4	8.2	3.1	2.8	2.0	13.6	1.1	1.7	
男性	18~29歳	44	75.0	75.0	18.2	2.3	11.4	2.3	4.5	4.5	2.3	20.5	0.0	0.0	
	30~39歳	45	84.4	84.4	20.0	11.1	24.4	8.9	8.9	4.4	4.4	11.1	11.1	0.0	0.0
	40~49歳	58	87.9	86.2	17.2	8.6	8.6	8.6	6.9	3.4	1.7	5.2	8.6	0.0	1.7
	50~59歳	39	76.9	76.9	10.3	10.3	7.7	5.1	7.7	2.6	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0
	60~69歳	41	73.2	70.7	17.1	9.8	7.3	7.3	4.9	0.0	2.4	0.0	22.0	0.0	2.4
	70歳以上	51	88.2	88.2	11.8	13.7	9.8	15.7	5.9	2.0	2.0	0.0	9.8	0.0	2.0
	女性	18~29歳	60	66.7	65.0	8.3	8.3	11.7	3.3	6.7	8.3	6.7	3.3	28.3	0.0
30~39歳		65	87.7	86.2	21.5	13.8	21.5	6.2	10.8	6.2	3.1	3.1	10.8	3.1	1.5
40~49歳		90	88.9	87.8	15.6	18.9	15.6	8.9	8.9	1.1	2.2	3.3	10.0	1.1	0.0
50~59歳		36	83.3	80.6	8.3	22.2	13.9	16.7	5.6	0.0	2.8	0.0	8.3	0.0	2.8
60~69歳		42	78.6	78.6	7.1	21.4	16.7	11.9	7.1	0.0	0.0	0.0	21.4	2.4	0.0
70歳以上		59	89.8	91.5	15.3	23.7	5.1	13.6	8.5	1.7	1.7	0.0	5.1	0.0	3.4

【全体】

「講演会、研修会、シンポジウム」が82.2%、次いで「啓発イベントや企画展示」が81.4%、「テレビ、ラジオ」が14.4%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「講演会、研修会、シンポジウム」が11.6ポイント、「啓発イベントや企画展示」が10.0ポイント減少しています。

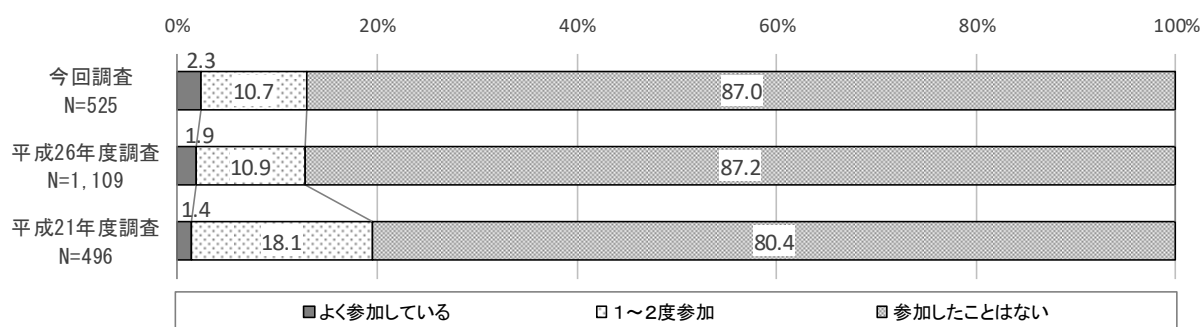
【性別】

「広報紙」は、女性の方が男性より8.2ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「講演会、研修会、シンポジウム」は、女性の「70歳以上」が89.8%で最も高く、次いで女性の「40~49歳」が88.9%、男性の「70歳以上」が88.2%となっています。

1. 講演会、研修会、シンポジウム



【全体】

「参加したことはない」が87.0%と最も高く、次いで「1~2度参加」が10.7%、「よく参加している」が2.3%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「1~2度参加」が減少傾向、「よく参加している」が増加傾向にあります。

	有効回答数 (件)	よく参加している (%)	1~2度参加 (%)	参加したことはない (%)
全体	525	2.3	10.7	87.0
男性	227	2.2	11.5	86.3
女性	293	2.4	10.2	87.4
18~29歳	73	2.7	9.6	87.7
30~39歳	95	1.1	7.4	91.6
40~49歳	131	3.1	13.0	84.0
50~59歳	60	0.0	11.7	88.3
60~69歳	63	1.6	19.0	79.4
70歳以上	98	4.1	6.1	89.8

【性別】

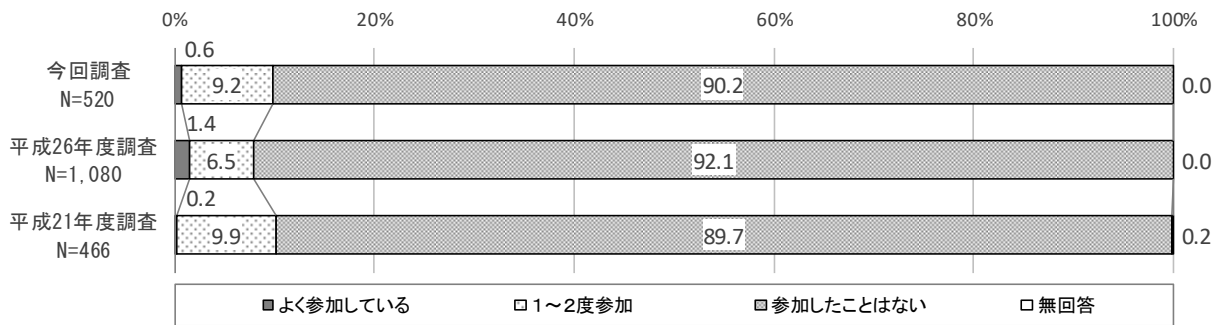
「1~2度参加」は、男性の方が女性より1.3ポイント高く、「参加したことはない」は、女性の方が男性より1.1ポイント高くなっています。

【年齢別】

「参加したことはない」は、「30~39歳」が91.6%と最も高く、次いで「70歳以上」が89.8%、「50~59歳」が88.3%となっています。

「1~2度参加」は、「60~69歳」が19.0%と最も高く、次いで「40~49歳」が13.0%、「50~59歳」が11.7%となっています。

2. 啓発イベントや企画展示



【全体】

「参加したことはない」が90.2%と最も高く、次いで「1~2度参加」が9.2%、「よく参加している」が0.6%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「1~2度参加」は2.7ポイント増加し、「参加したことはない」は1.9ポイント減少しています。

	有効回答数 (件)	よく参加している (%)	1~2度参加 (%)	参加したことはない (%)
全体	520	0.6	9.2	90.2
男性	225	0.4	10.2	89.3
女性	290	0.7	8.3	91.0
18~29歳	72	0.0	5.6	94.4
30~39歳	94	0.0	5.3	94.7
40~49歳	129	0.8	11.6	87.6
50~59歳	59	0.0	8.5	91.5
60~69歳	62	0.0	14.5	85.5
70歳以上	99	2.0	9.1	88.9

【性別】

「1~2度参加」は、男性の方が女性より1.9ポイント高く、「参加したことはない」は、女性の方が男性より1.7ポイント高くなっています。

【年齢別】

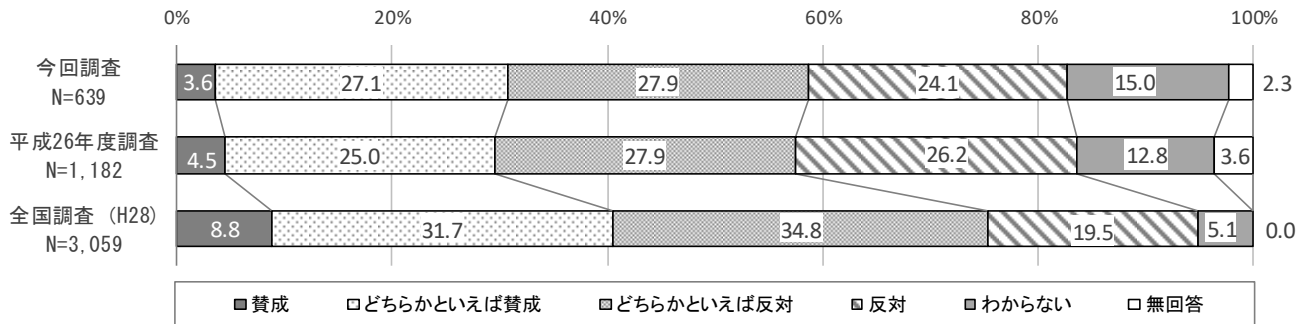
「参加したことはない」は、「30~39歳」が94.7%と最も高く、次いで「18~29歳」が94.4%、「50~59歳」が91.5%となっています。

「1~2度参加」は、「60~69歳」が14.5%と最も高く、次いで「40~49歳」が11.6%、「70歳以上」が9.1%となっています。

2. 男女共同参画に関する市民意識調査項目

(1) 家庭生活などについて

問 29 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どう思いますか。(〇は1つ)



【全体】

どちらかといえばも含む「反対」が52.0%、どちらかといえばも含む「賛成」が30.7%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、どちらかといえばも含む「反対」は2.1ポイント減少し、どちらかといえばも含む「賛成」は1.2ポイント増加しています。

【全国調査比較】

全国調査と比較すると、どちらかといえばも含む「賛成」が9.8ポイント低くなっています。

		有効回答数(件)	賛成	賛成 どちらか といえば	反対 どちらか といえば	反対	わからない	無回答
全体		639	3.6	27.1	27.9	24.1	15.0	2.3
男性		278	2.9	33.1	25.2	22.3	14.7	1.8
女性		352	3.7	22.2	30.1	25.9	15.6	2.6
男性	18～29歳	44	4.5	18.2	20.5	31.8	25.0	0.0
	30～39歳	45	2.2	26.7	20.0	42.2	8.9	0.0
	40～49歳	58	6.9	27.6	24.1	20.7	17.2	3.4
	50～59歳	39	0.0	28.2	33.3	15.4	23.1	0.0
	60～69歳	41	0.0	46.3	26.8	17.1	7.3	2.4
	70歳以上	51	2.0	51.0	27.5	7.8	7.8	3.9
女性	18～29歳	60	1.7	23.3	26.7	31.7	15.0	1.7
	30～39歳	65	0.0	21.5	24.6	27.7	23.1	3.1
	40～49歳	90	1.1	22.2	30.0	27.8	17.8	1.1
	50～59歳	36	8.3	16.7	30.6	30.6	11.1	2.8
	60～69歳	42	9.5	23.8	31.0	23.8	11.9	0.0
	70歳以上	59	6.8	23.7	39.0	13.6	10.2	6.8
共働きをしている		255	2.4	22.4	29.4	30.6	13.3	2.0
共働きをしていない		320	5.0	31.6	27.2	19.4	15.6	1.3

【性別】

どちらかといえばも含む「反対」は、女性の方が男性より8.5ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

どちらかといえばも含む「反対」は、男性の「30～39歳」が62.2%と最も高く、次いで、女性の「50～59歳」が61.2%、女性の「18～29歳」が58.4%となっています。

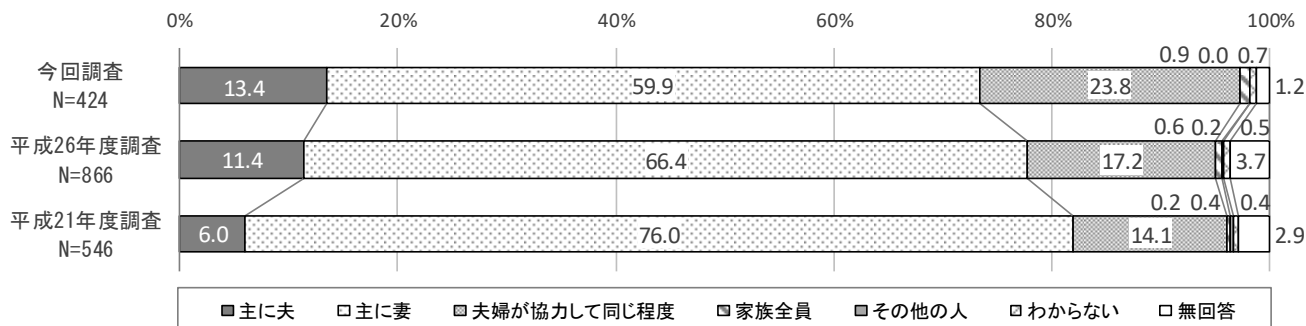
【共働きの有無】

どちらかといえばも含む「反対」は、共働きをしている人の方が共働きをしていない人より、13.4ポイント高くなっています。

《結婚している方（事実婚を含む）にお聞きします。》

問 30 あなたは、次にあげる家庭におけることは、主にだれの役割ですか。
 （○はそれぞれの項目について1つ）

<ア. 家計の管理>



【全体】

「主に妻」が59.9%と最も高く、次いで「夫婦が協力して同じ程度」が23.8%、「主に夫」が13.4%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「主に妻」が減少傾向、「夫婦が協力して同じ程度」が増加傾向にあります。

	有効回答数（件）	主に夫	主に妻	夫婦が協力して同じ程度	家族全員	その他の人	わからない	無回答
全体	424	13.4	59.9	23.8	0.9	0.0	0.7	1.2
男性	177	14.1	58.2	23.2	1.7	0.0	1.1	1.7
女性	245	13.1	61.6	23.7	0.4	0.0	0.4	0.8
18～29歳	10	10.0	30.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	79	17.7	49.4	30.4	1.3	0.0	0.0	1.3
40～49歳	120	10.0	61.7	25.0	0.8	0.0	1.7	0.8
50～59歳	63	12.7	65.1	19.0	1.6	0.0	1.6	0.0
60～69歳	73	16.4	61.6	19.2	0.0	0.0	0.0	2.7
70歳以上	78	12.8	66.7	17.9	1.3	0.0	0.0	1.3

【性別】

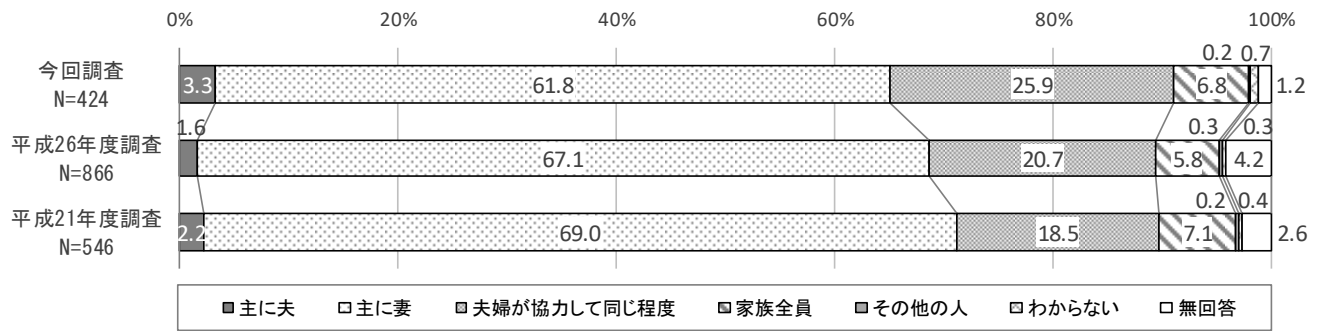
「主に妻」は、女性の方が男性より3.4ポイント高く、「家族全員」は、男性の方が女性より1.3ポイント高くなっています。

【年齢別】

「主に妻」は、「70歳以上」が66.7%と最も高く、次いで「50～59歳」が65.1%、「40～49歳」が61.7%となっています。

「夫婦が協力して同じ程度」は、「18～29歳」が60.0%と最も高く、次いで「30～39歳」が30.4%、「40～49歳」が25.0%となっています。

<イ. 掃除>



【全体】

「主に妻」が61.8%と最も高く、次いで「夫婦が協力して同じ程度」が25.9%、「家族全員」が6.8%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「主に妻」が減少傾向、「夫婦が協力して同じ程度」が増加傾向にあります。

	有効回答数 (件)	主に夫	主に妻	夫婦が協力して同じ程度	家族全員	その他の人	わからない	無回答
全体	424	3.3	61.8	25.9	6.8	0.2	0.7	1.2
男性	177	5.1	52.0	30.5	9.6	0.0	1.1	1.7
女性	245	2.0	69.0	22.9	4.5	0.4	0.4	0.8
18~29歳	10	10.0	50.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30~39歳	79	2.5	54.4	34.2	6.3	1.3	0.0	1.3
40~49歳	120	5.0	60.8	20.0	11.7	0.0	1.7	0.8
50~59歳	63	1.6	71.4	23.8	1.6	0.0	1.6	0.0
60~69歳	73	0.0	65.8	23.3	8.2	0.0	0.0	2.7
70歳以上	78	5.1	60.3	29.5	3.8	0.0	0.0	1.3

【性別】

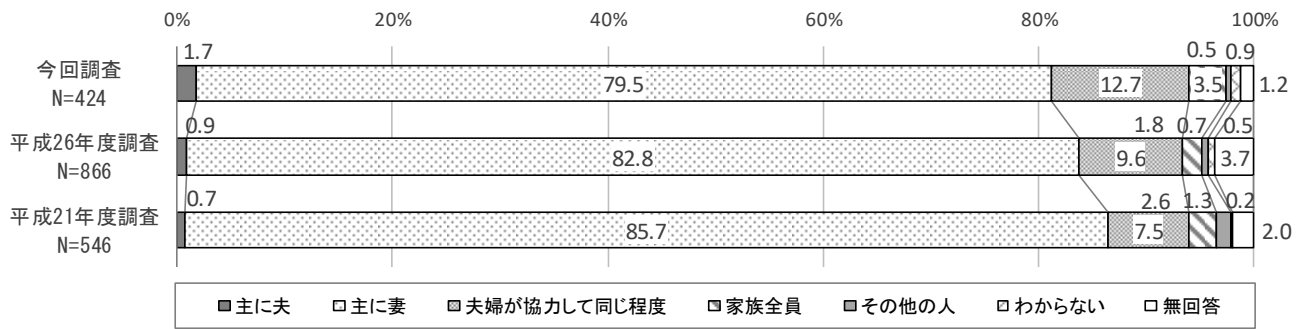
「主に妻」は、女性の方が男性より17.0ポイント高く、「夫婦が協力して同じ程度」は、男性の方が女性より7.6ポイント高くなっています。

【年齢別】

「主に妻」は、「50~59歳」が71.4%と最も高く、次いで「60~69歳」が65.8%、「40~49歳」が60.8%となっています。

「夫婦が協力して同じ程度」は、「18~29歳」が40.0%と最も高く、次いで「30~39歳」が34.2%、「70歳以上」が29.5%となっています。

<ウ. 食事のしたく>



【全体】

「主に妻」が79.5%と最も高く、次いで「夫婦が協力して同じ程度」が12.7%、「家族全員」が3.5%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「主に妻」が減少傾向、「夫婦が協力して同じ程度」が増加傾向にあります。

	有効回答数(件)	主に夫	主に妻	夫婦が協力して同じ程度	家族全員	その他の人	わからない	無回答
全体	424	1.7	79.5	12.7	3.5	0.5	0.9	1.2
男性	177	2.3	73.4	18.1	3.4	0.0	1.1	1.7
女性	245	1.2	83.7	9.0	3.7	0.8	0.8	0.8
18~29歳	10	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30~39歳	79	2.5	74.7	17.7	2.5	1.3	0.0	1.3
40~49歳	120	0.8	73.3	15.8	6.7	0.8	1.7	0.8
50~59歳	63	3.2	79.4	12.7	3.2	0.0	1.6	0.0
60~69歳	73	1.4	83.6	9.6	1.4	0.0	1.4	2.7
70歳以上	78	1.3	89.7	5.1	2.6	0.0	0.0	1.3

【性別】

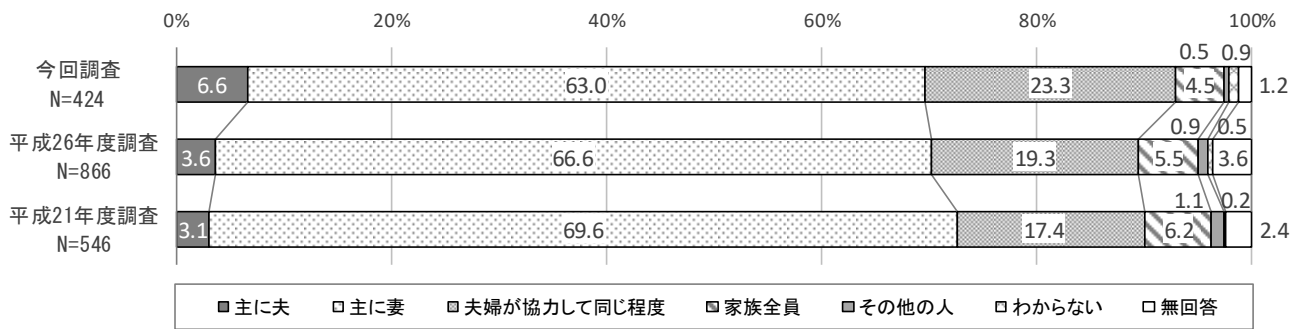
「主に妻」は、女性の方が男性より10.3ポイント高く、「夫婦が協力して同じ程度」は、男性の方が女性より9.1ポイント高くなっています。

【年齢別】

「主に妻」は、「70歳以上」が89.7%と最も高く、次いで「60~69歳」が83.6%、「18~29歳」が80.0%となっています。

「夫婦が協力して同じ程度」は、「18~29歳」が20.0%と最も高く、次いで「30~39歳」が17.7%、「40~49歳」が15.8%となっています。

<工. 食事の後かたづけ、食器洗い>



【全体】

「主に妻」が63.0%と最も高く、次いで「夫婦が協力して同じ程度」が23.3%、「主に夫」が6.6%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「主に妻」が減少傾向、「夫婦が協力して同じ程度」が増加傾向にあります。

	有効回答数(件)	主に夫	主に妻	夫婦が協力して同じ程度	家族全員	その他の人	わからない	無回答
全体	424	6.6	63.0	23.3	4.5	0.5	0.9	1.2
男性	177	6.2	52.5	31.6	6.2	0.6	1.1	1.7
女性	245	6.9	70.2	17.6	3.3	0.4	0.8	0.8
18~29歳	10	20.0	50.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30~39歳	79	8.9	57.0	29.1	2.5	1.3	0.0	1.3
40~49歳	120	5.8	62.5	20.8	8.3	0.0	1.7	0.8
50~59歳	63	6.3	63.5	27.0	1.6	0.0	1.6	0.0
60~69歳	73	2.7	68.5	17.8	5.5	1.4	1.4	2.7
70歳以上	78	7.7	65.4	23.1	2.6	0.0	0.0	1.3

【性別】

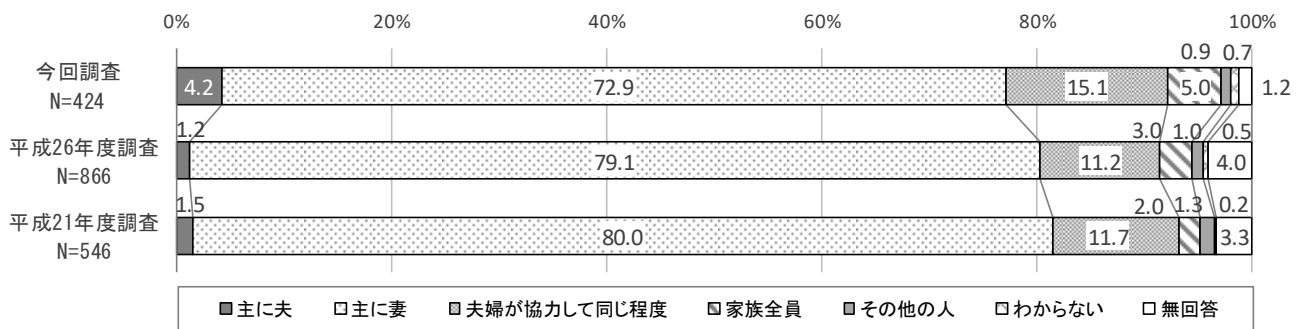
「主に妻」は、女性の方が男性より17.7ポイント高く、「夫婦が協力して同じ程度」は、男性の方が女性より14.0ポイント高くなっています。

【年齢別】

「主に妻」は、「60~69歳」が68.5%と最も高く、次いで「70歳以上」が65.4%、「50~59歳」が63.5%となっています。

「夫婦が協力して同じ程度」は、「18~29歳」が30.0%と最も高く、次いで「30~39歳」が29.1%、「50~59歳」が27.0%となっています。

<才. 洗濯>



【全体】

「主に妻」が72.9%と最も高く、次いで「夫婦が協力して同じ程度」が15.1%、「家族全員」が5.0%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「主に妻」が減少傾向、「家族全員」が増加傾向にあります。

	有効回答数 (件)	主に夫	主に妻	夫婦が協力して同じ程度	家族全員	その他の人	わからない	無回答
全体	424	4.2	72.9	15.1	5.0	0.9	0.7	1.2
男性	177	3.4	68.4	18.6	6.8	0.0	1.1	1.7
女性	245	4.9	75.9	12.7	3.7	1.6	0.4	0.8
18~29歳	10	10.0	60.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30~39歳	79	5.1	60.8	26.6	3.8	2.5	0.0	1.3
40~49歳	120	3.3	67.5	15.8	10.0	0.8	1.7	0.8
50~59歳	63	3.2	81.0	6.3	4.8	1.6	1.6	1.6
60~69歳	73	5.5	84.9	5.5	2.7	0.0	0.0	1.4
70歳以上	78	3.8	76.9	16.7	1.3	0.0	0.0	1.3

【性別】

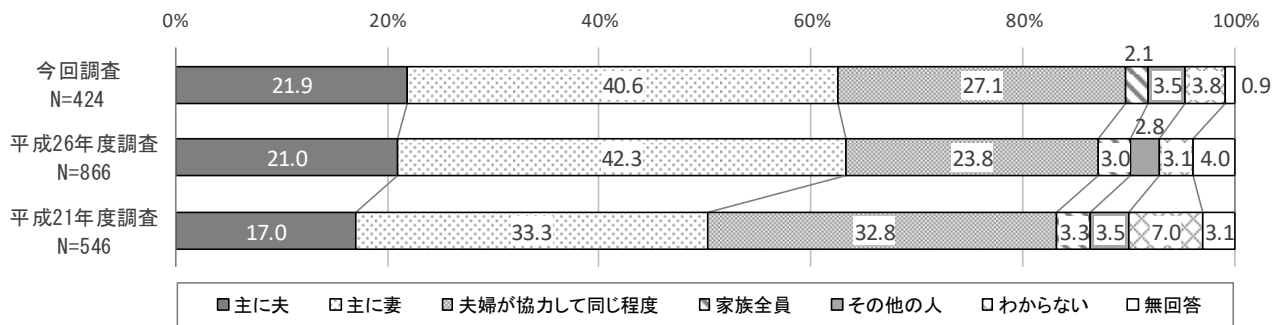
「主に妻」は、女性の方が男性より7.5ポイント高く、「夫婦が協力して同じ程度」は、男性の方が女性より5.9ポイント高くなっています。

【年齢別】

「主に妻」は、「60~69歳」が84.9%と最も高く、次いで「50~59歳」が81.0%、「70歳以上」が76.9%となっています。

「夫婦が協力して同じ程度」は、「18~29歳」が30.0%と最も高く、次いで「30~39歳」が26.6%、「70歳以上」が16.7%となっています。

<カ. 自治会・町内会活動>



【全体】

「主に妻」が40.6%と最も高く、次いで「夫婦が協力して同じ程度」が27.1%、「主に夫」が21.9%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「主に夫」が増加傾向、「家族全員」が減少傾向にあります。

	有効回答数(件)	主に夫	主に妻	夫婦が協力して同じ程度	家族全員	その他の人	わからない	無回答
全体	424	21.9	40.6	27.1	2.1	3.5	3.8	0.9
男性	177	29.4	32.8	27.1	3.4	1.7	4.0	1.7
女性	245	16.7	45.7	27.3	1.2	4.9	3.7	0.4
18~29歳	10	10.0	40.0	20.0	10.0	0.0	20.0	0.0
30~39歳	79	8.9	34.2	31.6	3.8	6.3	13.9	1.3
40~49歳	120	21.7	42.5	24.2	3.3	5.8	1.7	0.8
50~59歳	63	19.0	50.8	25.4	1.6	1.6	1.6	0.0
60~69歳	73	28.8	38.4	28.8	0.0	2.7	0.0	1.4
70歳以上	78	33.3	37.2	28.2	0.0	0.0	0.0	1.3

【性別】

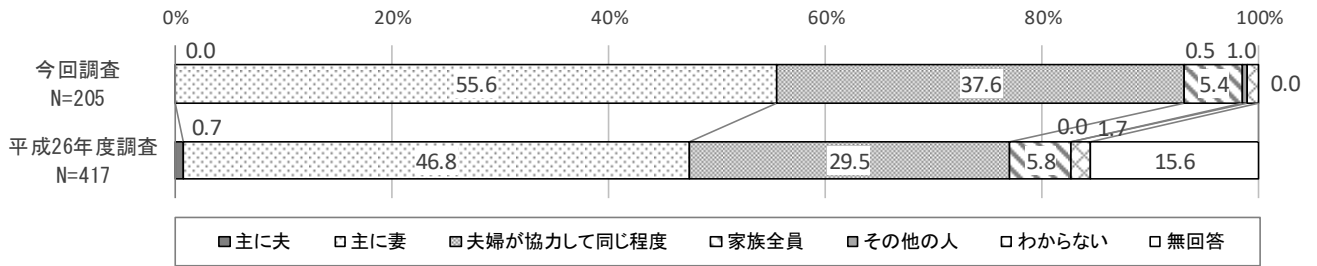
「主に妻」は、女性の方が男性より12.9ポイント高く、「主に夫」は、男性の方が女性より12.7ポイント高くなっています。

【年齢別】

「主に妻」は、「50~59歳」が50.8%と最も高く、次いで「40~49歳」が42.5%、「18~29歳」が40.0%となっています。

「夫婦が協力して同じ程度」は、「30~39歳」が31.6%と最も高く、次いで「60~69歳」が28.8%、「70歳以上」が28.2%となっています。

<キ. 育児、子どもの世話>



【全体】

「主に妻」が55.6%と最も高く、次いで「夫婦が協力して同じ程度」が37.6%、「家族全員」が5.4%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「主に妻」は8.8ポイント増加し、「夫婦が協力して同じ程度」は8.1ポイント増加しています。

	有効回答数(件)	主に夫	主に妻	夫婦が協力して同じ程度	家族全員	その他の人	わからない
全体	205	0.0	55.6	37.6	5.4	0.5	1.0
男性	77	0.0	35.1	54.5	6.5	1.3	2.6
女性	128	0.0	68.0	27.3	4.7	0.0	0.0
18～29歳	7	0.0	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0
30～39歳	64	0.0	60.9	34.4	3.1	1.6	0.0
40～49歳	95	0.0	50.5	41.1	7.4	0.0	1.1
50～59歳	24	0.0	62.5	33.3	0.0	0.0	4.2
60～69歳	8	0.0	75.0	12.5	12.5	0.0	0.0
70歳以上	7	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0

【性別】

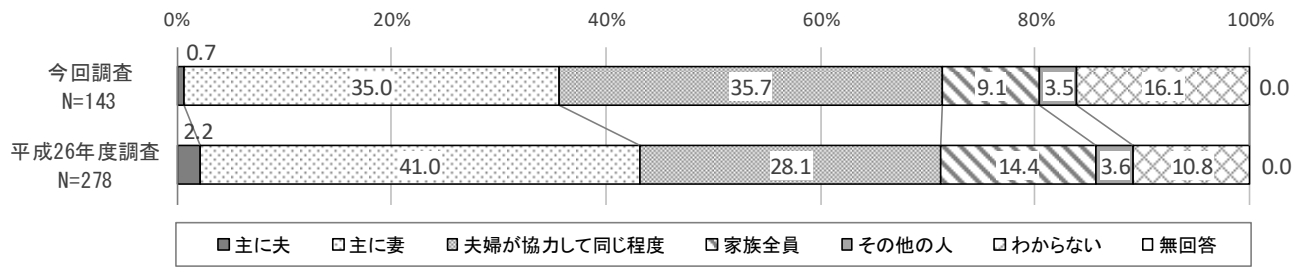
「主に妻」は、女性の方が男性より32.9ポイント高く、「夫婦が協力して同じ程度」は、男性の方が女性より27.2ポイント高くなっています。

【年齢別】

「主に妻」は、「60～69歳」が75.0%と最も高く、次いで「50～59歳」が62.5%、「30～39歳」が60.9%となっています。

「夫婦が協力して同じ程度」は、「70歳以上」が57.1%と最も高く、次いで「18～29歳」が42.9%、「40～49歳」が41.1%となっています。

<ク. 高齢者や病人の介護・世話>



【全体】

「夫婦が協力して同じ程度」が 35.7%、「主に妻」が 35.0%、「家族全員」が 9.1%となっています。

【経年比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「夫婦が協力して同じ程度」は 7.6 ポイント増加し、「主に妻」は 6.0 ポイント減少しています。

	有効回答数 (件)	主に夫	主に妻	夫婦が協力して同じ程度	家族全員	その他の人	わからない
全体	143	0.7	35.0	35.7	9.1	3.5	16.1
男性	57	0.0	21.1	40.4	12.3	7.0	19.3
女性	86	1.2	44.2	32.6	7.0	1.2	14.0
18~29歳	6	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
30~39歳	35	0.0	37.1	17.1	11.4	8.6	25.7
40~49歳	55	0.0	30.9	41.8	12.7	0.0	14.5
50~59歳	22	4.5	36.4	50.0	4.5	0.0	4.5
60~69歳	14	0.0	64.3	21.4	7.1	7.1	0.0
70歳以上	11	0.0	27.3	54.5	0.0	9.1	9.1

【性別】

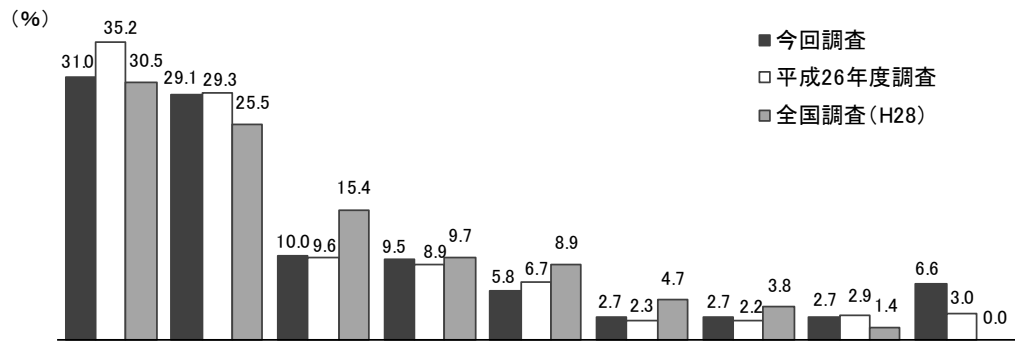
「主に妻」は、女性の方が男性より 23.1 ポイント高く、「夫婦が協力して同じ程度」は、男性の方が女性より 7.8 ポイント高くなっています。

【年齢別】

「主に妻」は、「60~69歳」が 64.3%と最も高く、次いで「30~39歳」が 37.1%、「50~59歳」が 36.4%となっています。

「夫婦が協力して同じ程度」は、「70歳以上」が 54.5%と最も高く、次いで「50~59歳」が 50.0%、「40~49歳」が 41.8%となっています。

問 31 あなたは、生活の中で仕事、家庭生活、地域活動・個人の生活※で何を優先しますか。※家庭生活…家事、育児、介護など 個人の生活…学習、趣味、付き合いなど
 (1) まず、あなたの希望にもっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)



	有効回答数(件)	「仕事」と「家庭生活」を優先したい (%)	「家庭生活」を優先したい (%)	「仕事」を優先したい (%)	「地域活動・個人の生活」を優先したい (%)	「地域生活・個人の生活」を優先したい (%)	「仕事」を優先したい (%)	「個人の生活」を優先したい (%)	「地域活動・個人の生活」を優先したい (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体	639	31.0	29.1	10.0	9.5	5.8	2.7	2.7	2.7	6.6	
男性	278	33.1	27.0	7.6	5.8	10.8	2.9	3.2	2.5	7.2	
女性	352	29.0	30.4	12.2	12.8	2.0	2.6	2.3	2.8	6.0	
男性	18~29歳	44	22.7	20.5	4.5	9.1	9.1	0.0	4.5	2.3	27.3
	30~39歳	45	20.0	35.6	11.1	4.4	11.1	4.4	6.7	4.4	2.2
	40~49歳	58	48.3	25.9	6.9	1.7	8.6	1.7	0.0	3.4	3.4
	50~59歳	39	33.3	28.2	7.7	2.6	15.4	0.0	2.6	0.0	10.3
	60~69歳	41	39.0	24.4	4.9	7.3	14.6	7.3	2.4	0.0	0.0
	70歳以上	51	31.4	27.5	9.8	9.8	7.8	3.9	3.9	3.9	2.0
女性	18~29歳	60	28.3	16.7	15.0	10.0	1.7	6.7	0.0	5.0	16.7
	30~39歳	65	33.8	32.3	15.4	13.8	0.0	1.5	0.0	0.0	3.1
	40~49歳	90	36.7	27.8	12.2	8.9	1.1	1.1	4.4	4.4	3.3
	50~59歳	36	22.2	36.1	19.4	8.3	0.0	2.8	2.8	2.8	5.6
	60~69歳	42	16.7	35.7	7.1	21.4	4.8	4.8	4.8	2.4	2.4
	70歳以上	59	25.4	39.0	5.1	16.9	5.1	0.0	1.7	1.7	5.1
共働きをしている	255	37.3	32.9	12.9	8.6	3.5	1.6	0.0	0.8	2.4	
共働きをしていない	320	25.3	29.1	8.8	10.6	7.2	3.8	5.0	2.8	7.5	

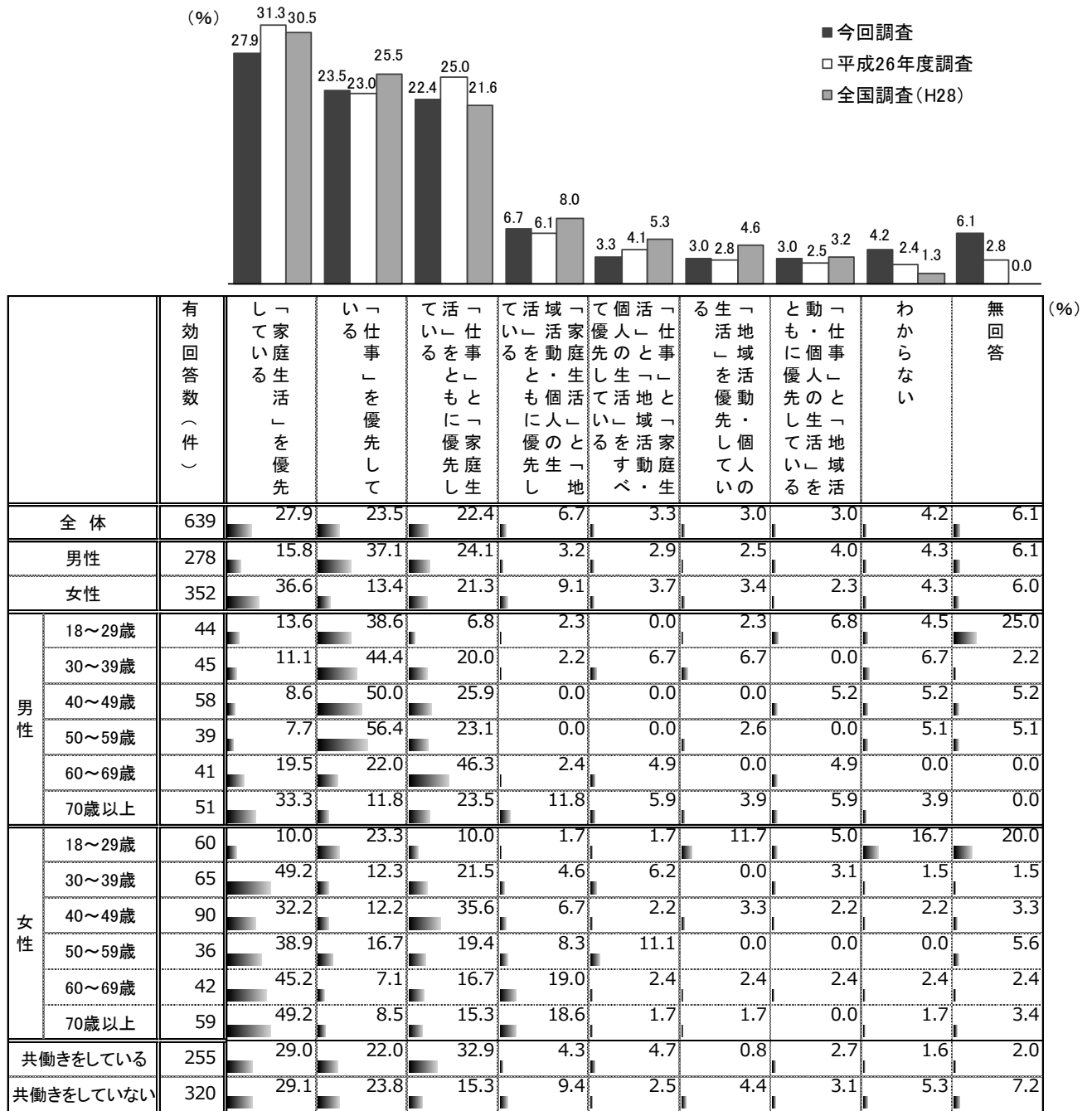
【全体】「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が31.0%と最も高く、次いで「『家庭生活』を優先したい」が29.1%、「『仕事』と『家庭生活』と『地域活動・個人の生活』をすべて優先したい」が10.0%となっています。

【性別】「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」は、男性の方が女性より4.1ポイント高く、「『家庭生活』を優先したい」は、女性の方が男性より3.4ポイント高くなっています。

【性・年齢別】「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」は、男性の「40歳~49歳」が48.3%と最も高く、男性の「60~69歳」が39.0%、女性の「40~49歳」が36.7%となっています。

【共働きの有無】共働きをしている人の方が共働きをしていない人より「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が12.0ポイント高くなっています。

(2) それでは、あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。（〇は1つ）



【全体】『家庭生活』を優先している」が27.9%と最も高く、次いで『仕事』を優先している」が23.5%、『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が22.4%となっています。

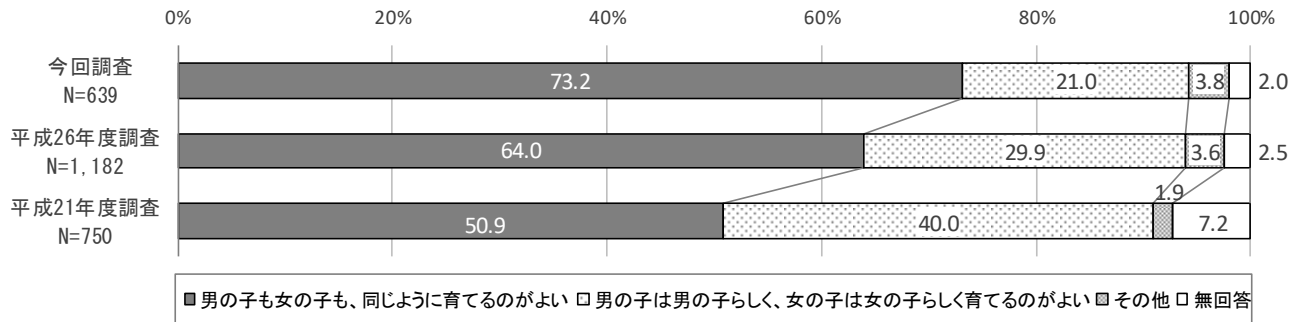
【性別】『仕事』を優先している」は男性の方が女性より23.7ポイント高く、『家庭生活』を優先している」は女性の方が男性より20.8ポイント高くなっています。

【性・年齢別】『家庭生活』を優先している」は、女性の「30～39歳」・「70歳以上」が同率49.2%と最も高く、『仕事』を優先している」は、男性の「50～59歳」が56.4%と最も高くなっています。

【共働きの有無】『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」は、共働きをしている人の方が共働きをしていない人より、17.6ポイント高くなっています。

(3) 子育て、介護などについて

問 34 あなたは、子育てについてどのような考えを持っていますか。(〇は1つ)



【全体】

「男の子も女の子も、同じように育てるのがよい」が73.2%と最も高く、次いで「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」が21.0%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「男の子も女の子も、同じように育てるのがよい」が増加傾向、「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」が減少傾向にあります。

		有効回答数(件)	(%)			
			男の子も女の子も、同じように育てるのがよい	男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい	その他	無回答
全体		639	73.2	21.0	3.8	2.0
男性		278	65.1	29.5	4.0	1.4
女性		352	79.8	14.2	3.7	2.3
男性	18~29歳	44	61.4	29.5	6.8	2.3
	30~39歳	45	60.0	35.6	4.4	0.0
	40~49歳	58	55.2	34.5	8.6	1.7
	50~59歳	39	82.1	15.4	0.0	2.6
	60~69歳	41	70.7	26.8	0.0	2.4
	70歳以上	51	66.7	31.4	2.0	0.0
女性	18~29歳	60	80.0	13.3	5.0	1.7
	30~39歳	65	87.7	9.2	3.1	0.0
	40~49歳	90	83.3	14.4	1.1	1.1
	50~59歳	36	69.4	16.7	8.3	5.6
	60~69歳	42	85.7	11.9	0.0	2.4
	70歳以上	59	67.8	20.3	6.8	5.1

【性別】

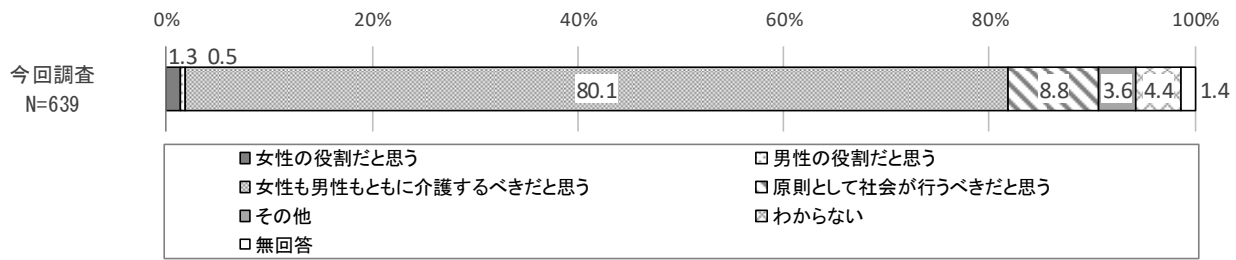
「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」は、男性の方が女性より15.3ポイント高く、「男の子も女の子も、同じように育てるのがよい」は、女性の方が男性より14.7ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「男の子も女の子も、同じように育てるのがよい」は、女性の「30~39歳」が87.7%と最も高くなっており、次いで女性の「60~69歳」が85.7%、女性の「40~49歳」が83.3%となっています。

「男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい」は、男性の「30~39歳」が35.6%と最も高くなっており、次いで男性の「40~49歳」が34.5%、男性の「70歳以上」が31.4%となっています。

問 35 家族などの介護についてどのようにお考えですか。(〇は1つ)



【全体】

「女性も男性もともに介護すべきだと思う」が80.1%、「原則として社会が行うべきだと思う」が8.8%となっています。

		有効回答数(件)	女性の役割だと思う	男性の役割だと思う	女性も男性もともに介護すべきだと思う	原則として社会が行うべきだと思う	その他	わからない	無回答
全体		639	1.3	0.5	80.1	8.8	3.6	4.4	1.4
男性		278	1.1	1.1	79.1	10.1	2.5	5.0	1.1
女性		352	1.1	0.0	81.3	7.7	4.5	4.0	1.4
男性	18～29歳	44	4.5	4.5	72.7	6.8	4.5	6.8	0.0
	30～39歳	45	0.0	0.0	80.0	13.3	4.4	2.2	0.0
	40～49歳	58	1.7	0.0	75.9	10.3	5.2	3.4	3.4
	50～59歳	39	0.0	0.0	84.6	7.7	0.0	5.1	2.6
	60～69歳	41	0.0	0.0	78.0	12.2	0.0	9.8	0.0
	70歳以上	51	0.0	2.0	84.3	9.8	0.0	3.9	0.0
女性	18～29歳	60	3.3	0.0	71.7	16.7	5.0	1.7	1.7
	30～39歳	65	1.5	0.0	76.9	6.2	6.2	9.2	0.0
	40～49歳	90	0.0	0.0	87.8	6.7	3.3	2.2	0.0
	50～59歳	36	0.0	0.0	75.0	5.6	8.3	5.6	5.6
	60～69歳	42	2.4	0.0	88.1	4.8	0.0	2.4	2.4
	70歳以上	59	0.0	0.0	84.7	5.1	5.1	3.4	1.7

【性別】

「原則として社会が行うべきだと思う」は、男性の方が女性より2.4ポイント高く、「女性も男性もともに介護すべきだと思う」は、女性の方が男性より2.2ポイント高くなっています。

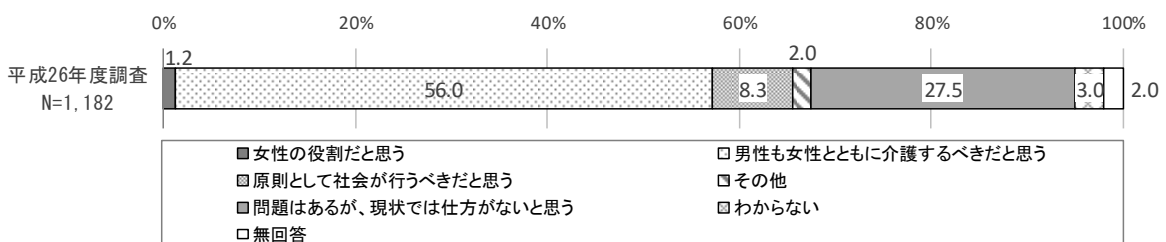
【性・年齢別】

「女性も男性もともに介護すべきだと思う」は、女性の「60～69歳」が88.1%と最も高く、次いで、女性の「40～49歳」が87.8%、「70歳以上」が84.7%となっています。

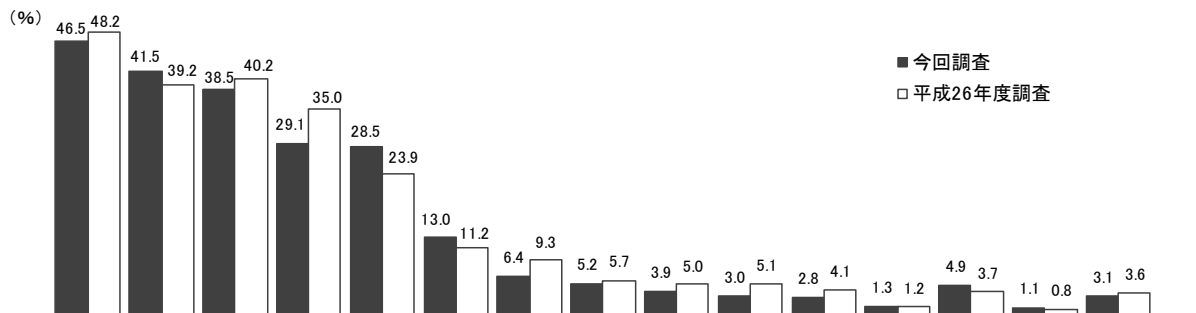
「原則として社会が行うべきだと思う」は、女性の「18～29歳」が16.7%と最も高く、次いで、男性の「30～39歳」が13.3%、「60～69歳」が12.2%となっています。

<参考> 平成26年度調査

家族等の介護は主に家庭内の女性の役割となりがちですが、それについてどのようにお考えですか。(〇は1つ)



問 36 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つ以内)



	有効回答数(件)	夫婦や家族間での家事・育児・介護の負担について十分話し合う	仕事と家庭の両立が出来るように、社会全体の仕組みを改める	子どもの頃から性別に関係なく家事などにかかわるようにする	男性が家事などに参加することより多く持てるようにする	労働時間短縮や休暇制度を普及する	夫の役割分担などについて尊重する	発や情報提供を行う	地域活動に関心を高める	男性が家事、子育て、介護、地域活動に関する女性の抵抗感をなくす	男性が家事などに参加することを行うための仲間(ネットワーキング)作りを進める	男性が子育てや介護、地域活動の知識や技術を高める	県や市などの講座などにより、男性の家事や子育て、介護などの知識や技術を高める	仕事を家庭の両立などの問題に特にするのではない	わからない	その他	無回答
全体	639	46.5	41.5	38.5	29.1	28.5	13.0	6.4	5.2	3.9	3.0	2.8	1.3	4.9	1.1	3.1	
男性	278	44.2	40.6	29.1	24.8	28.4	13.7	6.1	5.8	4.3	4.0	3.6	2.2	6.1	1.1	4.3	
女性	352	48.0	42.6	45.7	32.7	28.7	12.5	6.5	4.8	3.4	2.3	2.0	0.6	3.7	1.1	2.0	
男性	18~29歳	44	52.3	34.1	22.7	18.2	31.8	13.6	4.5	6.8	4.5	4.5	0.0	2.3	9.1	0.0	2.3
	30~39歳	45	44.4	46.7	37.8	26.7	42.2	13.3	11.1	8.9	11.1	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0
	40~49歳	58	36.2	41.4	31.0	19.0	24.1	10.3	5.2	3.4	3.4	1.7	6.9	5.2	6.9	3.4	3.4
	50~59歳	39	41.0	43.6	15.4	33.3	23.1	12.8	5.1	7.7	2.6	2.6	5.1	0.0	10.3	2.6	5.1
	60~69歳	41	43.9	43.9	29.3	29.3	22.0	9.8	2.4	4.9	2.4	7.3	2.4	2.4	9.8	0.0	4.9
	70歳以上	51	49.0	35.3	35.3	25.5	27.5	21.6	7.8	3.9	2.0	7.8	3.9	0.0	2.0	0.0	9.8
女性	18~29歳	60	45.0	51.7	38.3	25.0	33.3	20.0	3.3	5.0	5.0	5.0	1.7	1.7	3.3	0.0	1.7
	30~39歳	65	50.8	49.2	43.1	40.0	40.0	10.8	1.5	4.6	1.5	0.0	3.1	0.0	4.6	3.1	0.0
	40~49歳	90	42.2	44.4	52.2	34.4	35.6	3.3	6.7	1.1	3.3	1.1	1.1	0.0	3.3	0.0	0.0
	50~59歳	36	41.7	36.1	47.2	30.6	25.0	16.7	13.9	11.1	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0
	60~69歳	42	61.9	35.7	45.2	35.7	14.3	19.0	7.1	2.4	2.4	0.0	2.4	2.4	2.4	0.0	2.4
	70歳以上	59	50.8	32.2	45.8	28.8	13.6	13.6	10.2	8.5	3.4	5.1	3.4	0.0	6.8	0.0	8.5

【全体】

「夫婦や家族間での家事・育児・介護の負担について十分話し合う」が46.5%と最も高く、次いで「仕事と家庭の両立が出来るように、社会全体の仕組みを改める」が41.5%、「子どもの頃から性別に関係なく家事などにかかわるようにする」が38.5%となっています。

【性別】

「子どもの頃から性別に関係なく家事などにかかわるようにする」は、女性の方が男性より16.6ポイント高くなっています。

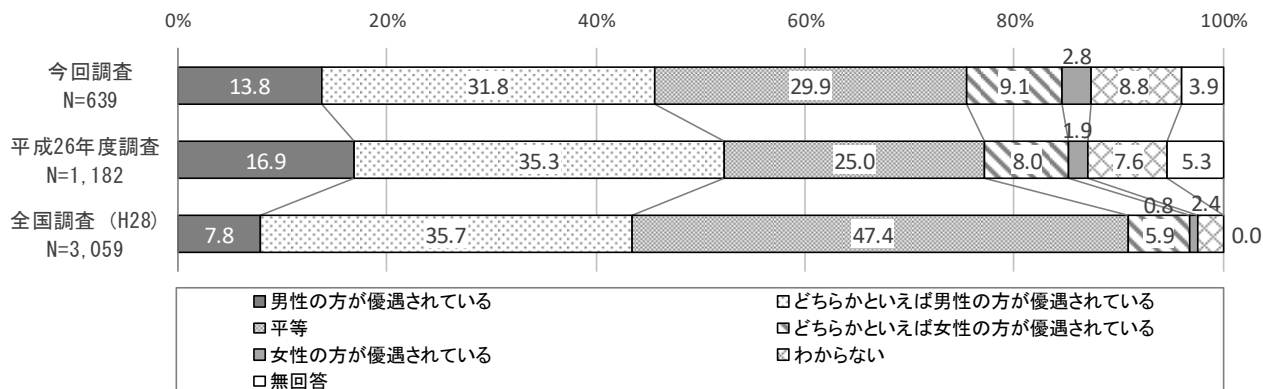
【性・年齢別】

「夫婦や家族間での家事・育児・介護の負担について十分話し合う」は、女性の「60~69歳」で61.9%と最も高くなっており、次いで、男性の「18~29歳」が52.3%、女性の「30~39歳」・「70歳以上」が同率50.8%となっています。

(4) 男女の平等について

問37 あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
(○はそれぞれの項目について1つ)

<ア. 家庭生活>



【全体】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」が45.6%、次いで「平等」が29.9%、どちらかといえばも含む「女性の方が優遇されている」が11.9%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は6.6ポイント減少しています。

【全国調査比較】

全国調査と比較すると、「平等」は17.5ポイント低くなっています。

		有効回答数(件)	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		639	13.8	31.8	29.9	9.1	2.8	8.8	3.9
男性		278	6.1	29.1	39.6	9.7	2.9	7.9	4.7
女性		352	20.2	33.5	22.4	8.8	2.8	9.7	2.6
男性	18~29歳	44	6.8	22.7	43.2	11.4	4.5	11.4	0.0
	30~39歳	45	2.2	26.7	46.7	15.6	2.2	6.7	0.0
	40~49歳	58	8.6	20.7	41.4	6.9	3.4	13.8	5.2
	50~59歳	39	5.1	41.0	38.5	5.1	2.6	2.6	5.1
	60~69歳	41	7.3	26.8	39.0	7.3	2.4	9.8	7.3
	70歳以上	51	5.9	39.2	29.4	11.8	2.0	2.0	9.8
女性	18~29歳	60	15.0	25.0	18.3	15.0	5.0	21.7	0.0
	30~39歳	65	16.9	27.7	27.7	7.7	7.7	9.2	3.1
	40~49歳	90	24.4	40.0	20.0	5.6	1.1	8.9	0.0
	50~59歳	36	27.8	27.8	27.8	8.3	0.0	5.6	2.8
	60~69歳	42	23.8	42.9	16.7	9.5	0.0	4.8	2.4
	70歳以上	59	15.3	35.6	25.4	8.5	1.7	5.1	8.5

【性別】

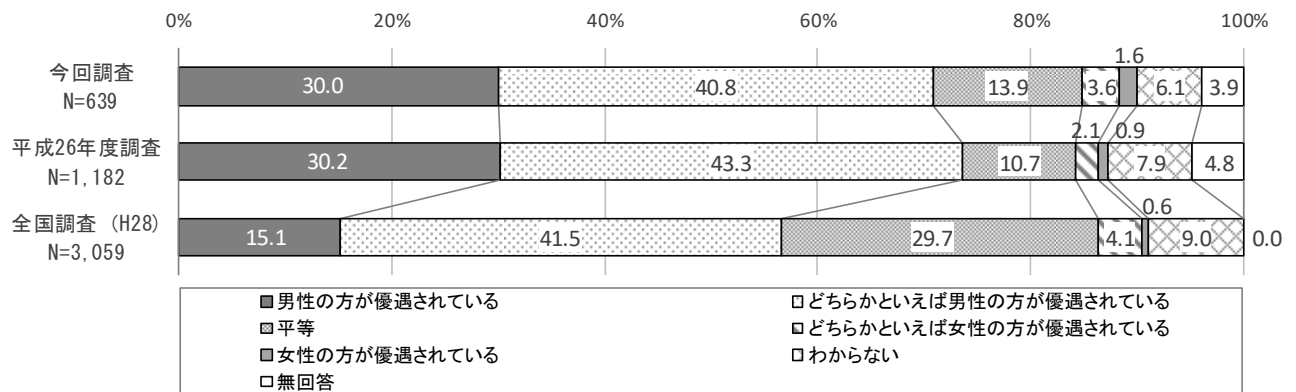
どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、女性の方が男性より18.5ポイント高く、「平等」は、男性の方が女性より17.2ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、女性の「60~69歳」が66.7%と最も高く、次いで女性の「40~49歳」が64.4%、女性の「50~59歳」が55.6%となっています。

「平等」は、男性の「30~39歳」が46.7%と最も高く、次いで男性の「18~29歳」が43.2%、男性の「40~49歳」が41.4%となっています。

<イ. 職場>



【全体】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」が70.8%、次いで「平等」が13.9%、どちらかといえばも含む「女性の方が優遇されている」が5.2%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、2.7ポイント減少しています。

【全国調査比較】

全国調査と比較すると、「平等」は15.8ポイント低く、どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は14.2ポイント高くなっています。

		有効回答数(件)	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		639	30.0	40.8	13.9	3.6	1.6	6.1	3.9
男性		278	28.1	39.2	15.1	5.8	2.5	4.7	4.7
女性		352	31.8	42.3	13.1	2.0	0.9	7.1	2.8
男性	18~29歳	44	31.8	31.8	15.9	9.1	2.3	9.1	0.0
	30~39歳	45	35.6	46.7	8.9	2.2	2.2	4.4	0.0
	40~49歳	58	34.5	24.1	20.7	6.9	5.2	3.4	5.2
	50~59歳	39	12.8	46.2	17.9	10.3	2.6	5.1	5.1
	60~69歳	41	34.1	36.6	19.5	4.9	0.0	2.4	2.4
	70歳以上	51	17.6	52.9	7.8	2.0	2.0	3.9	13.7
女性	18~29歳	60	25.0	50.0	11.7	3.3	1.7	8.3	0.0
	30~39歳	65	44.6	40.0	10.8	0.0	0.0	4.6	0.0
	40~49歳	90	32.2	44.4	13.3	2.2	2.2	4.4	1.1
	50~59歳	36	30.6	36.1	25.0	2.8	0.0	5.6	0.0
	60~69歳	42	33.3	35.7	11.9	2.4	0.0	14.3	2.4
	70歳以上	59	23.7	42.4	10.2	1.7	0.0	8.5	13.6

【性別】

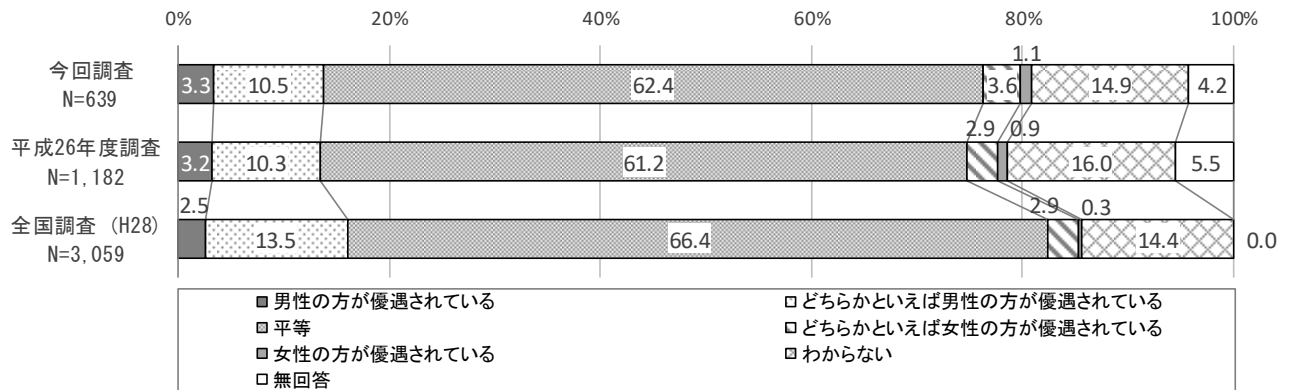
どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、女性の方が男性より6.8ポイント高く、どちらかといえばも含む「女性の方が優遇されている」は、男性の方が女性より5.4ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、女性の「30~39歳」が84.6%と最も高く、次いで男性の「30~39歳」が82.3%、女性の「40~49歳」が76.6%となっています。

「平等」は、女性の「50~59歳」が25.0%と最も高く、次いで男性の「40~49歳」が20.7%、男性の「60~69歳」が19.5%となっています。

<ウ. 学校教育の場>



【全体】

「平等」が62.4%、どちらかといえども含む「男性の方が優遇されている」が13.8%、どちらかといえども含む「女性の方が優遇されている」が4.7%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「平等」は1.2ポイント増加しています。

【全国調査比較】

全国調査と比較すると、「平等」は4.0ポイント低く、どちらかといえども含む「男性の方が優遇されている」は2.2ポイント低くなっています。

		有効回答数(件)	男性の方が優遇されている	どちらかといえども含む男性	平等	どちらかといえども含む女性	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		639	3.3	10.5	62.4	3.6	1.1	14.9	4.2
男性		278	2.2	9.7	63.3	4.0	1.4	14.0	5.4
女性		352	4.3	11.4	61.6	3.4	0.9	15.6	2.8
男性	18~29歳	44	4.5	9.1	59.1	4.5	2.3	20.5	0.0
	30~39歳	45	4.4	6.7	75.6	4.4	0.0	8.9	0.0
	40~49歳	58	0.0	12.1	62.1	6.9	1.7	12.1	5.2
	50~59歳	39	0.0	10.3	61.5	5.1	0.0	15.4	7.7
	60~69歳	41	0.0	12.2	68.3	2.4	0.0	14.6	2.4
	70歳以上	51	3.9	7.8	54.9	0.0	3.9	13.7	15.7
女性	18~29歳	60	3.3	8.3	66.7	10.0	0.0	11.7	0.0
	30~39歳	65	3.1	9.2	64.6	3.1	1.5	16.9	1.5
	40~49歳	90	4.4	11.1	68.9	2.2	2.2	11.1	0.0
	50~59歳	36	5.6	11.1	63.9	0.0	0.0	19.4	0.0
	60~69歳	42	4.8	9.5	59.5	0.0	0.0	21.4	4.8
	70歳以上	59	5.1	18.6	42.4	3.4	0.0	18.6	11.9

【性別】

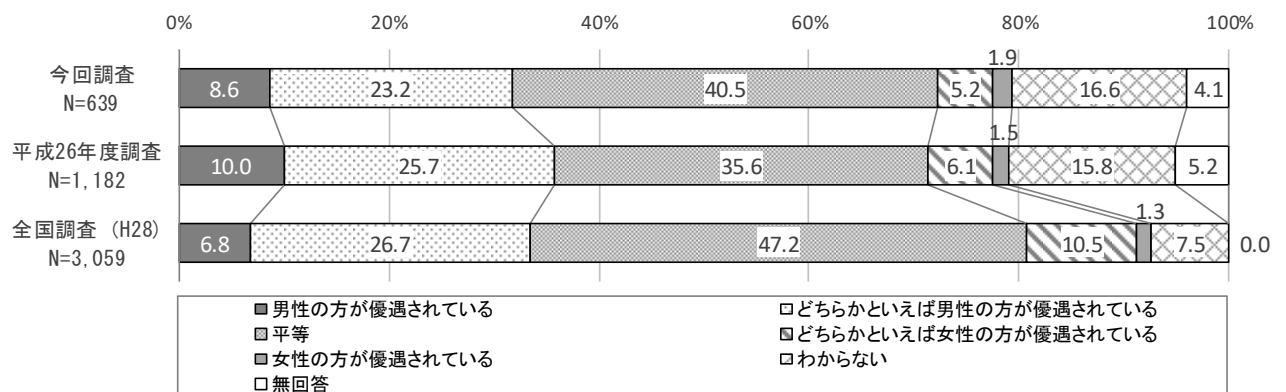
どちらかといえども含む「男性の方が優遇されている」は、女性の方が男性より3.8ポイント高く、「平等」は、男性の方が女性より1.7ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「平等」は、男性の「30~39歳」が75.6%と最も高く、次いで女性の「40~49歳」が68.9%、男性の「60~69歳」が68.3%となっています。

どちらかといえども含む「男性の方が優遇されている」は、女性の「70歳以上」が23.7%と最も高く、次いで女性の「50~59歳」が16.7%、女性の「40~49歳」が15.5%となっています。

<工. 地域活動の場>



【全体】

「平等」が40.5%、次いでどちらかといえども含む「男性の方が優遇されている」が31.8%、どちらかといえども含む「女性の方が優遇されている」が7.1%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「平等」は4.9ポイント増加しています。

【全国調査比較】

全国調査と比較すると、「平等」は6.7ポイント低く、どちらかといえども含む「女性の方が優遇されている」は4.7ポイント低くなっています。

		有効回答数(件)	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		639	8.6	23.2	40.5	5.2	1.9	16.6	4.1
男性		278	4.3	21.9	45.3	5.0	3.6	14.7	5.0
女性		352	11.9	24.4	36.6	5.4	0.6	18.2	2.8
男性	18~29歳	44	6.8	11.4	59.1	2.3	2.3	18.2	0.0
	30~39歳	45	4.4	24.4	44.4	6.7	4.4	13.3	2.2
	40~49歳	58	3.4	20.7	36.2	8.6	6.9	19.0	5.2
	50~59歳	39	5.1	30.8	30.8	7.7	2.6	15.4	7.7
	60~69歳	41	2.4	31.7	48.8	2.4	0.0	12.2	2.4
	70歳以上	51	3.9	15.7	52.9	2.0	3.9	9.8	11.8
女性	18~29歳	60	6.7	20.0	38.3	3.3	0.0	31.7	0.0
	30~39歳	65	9.2	23.1	35.4	7.7	1.5	21.5	1.5
	40~49歳	90	17.8	30.0	30.0	3.3	1.1	17.8	0.0
	50~59歳	36	11.1	25.0	36.1	13.9	0.0	13.9	0.0
	60~69歳	42	14.3	26.2	40.5	0.0	0.0	14.3	4.8
	70歳以上	59	10.2	20.3	44.1	6.8	0.0	6.8	11.9

【性別】

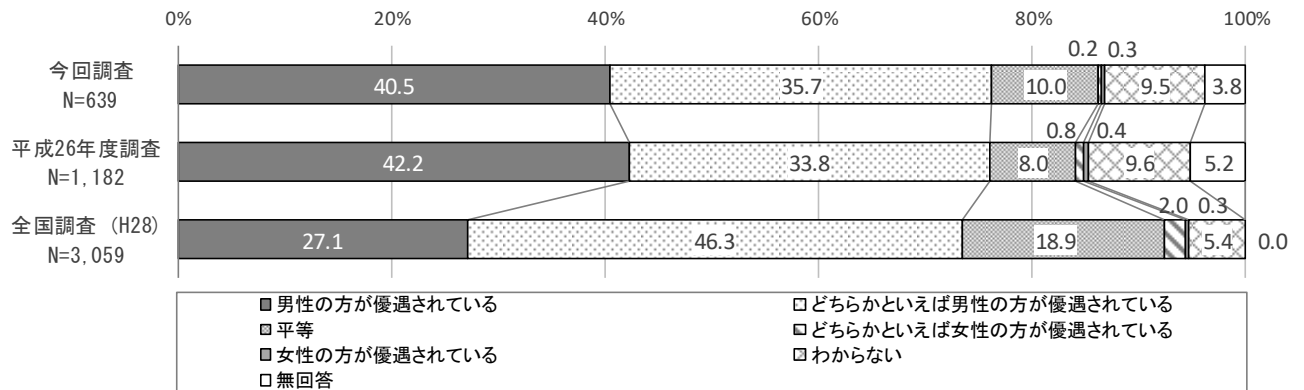
どちらかといえども含む「男性の方が優遇されている」は、女性の方が男性より10.1ポイント高く、「平等」は、男性の方が女性より8.7ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「平等」は、男性の「18~29歳」が59.1%と最も高く、次いで男性の「70歳以上」が52.9%、男性の「60~69歳」が48.8%となっています。

どちらかといえども含む「男性の方が優遇されている」は、女性の「40~49歳」が47.8%と最も高く、次いで女性の「60~69歳」が40.5%、女性の「50~59歳」が36.1%となっています。

<オ. 政治の場>



【全体】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」が76.2%、次いで「平等」が10.0%、どちらかといえばも含む「女性の方が優遇されている」が0.5%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「平等」は2.0ポイント増加しています。

【全国調査比較】

全国調査と比較すると、「平等」は8.9ポイント低く、どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は2.8ポイント高くなっています。

		有効回答数(件)	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		639	40.5	35.7	10.0	0.2	0.3	9.5	3.8
男性		278	30.2	42.4	13.3	0.4	0.7	8.3	4.7
女性		352	48.9	30.7	7.4	0.0	0.0	10.5	2.6
男性	18~29歳	44	36.4	25.0	22.7	0.0	0.0	15.9	0.0
	30~39歳	45	37.8	51.1	8.9	2.2	0.0	0.0	0.0
	40~49歳	58	44.8	29.3	12.1	0.0	1.7	6.9	5.2
	50~59歳	39	15.4	53.8	15.4	0.0	2.6	7.7	5.1
	60~69歳	41	17.1	63.4	9.8	0.0	0.0	7.3	2.4
	70歳以上	51	23.5	39.2	11.8	0.0	0.0	11.8	13.7
女性	18~29歳	60	53.3	30.0	5.0	0.0	0.0	11.7	0.0
	30~39歳	65	49.2	36.9	7.7	0.0	0.0	6.2	0.0
	40~49歳	90	54.4	28.9	7.8	0.0	0.0	8.9	0.0
	50~59歳	36	63.9	16.7	2.8	0.0	0.0	16.7	0.0
	60~69歳	42	38.1	40.5	4.8	0.0	0.0	11.9	4.8
	70歳以上	59	33.9	28.8	13.6	0.0	0.0	11.9	11.9

【性別】

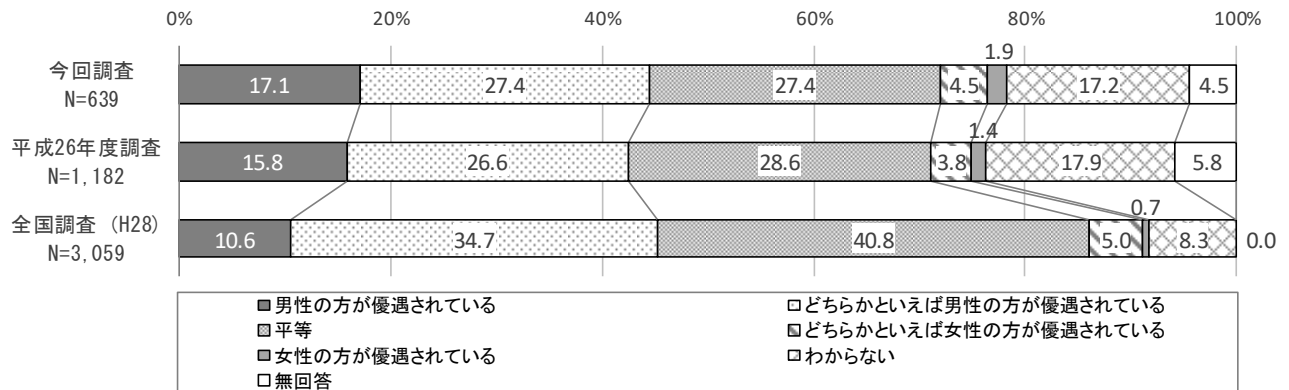
どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、女性の方が男性より7.0ポイント高く、「平等」は、男性の方が女性より5.9ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、男性の「30~39歳」が88.9%と最も高く、次いで女性の「30~39歳」が86.1%、女性の「18~29歳」・「40~49歳」が同率83.3%となっています。

「平等」は、男性の「18~29歳」が22.7%と最も高く、次いで男性の「50~59歳」が15.4%、女性の「70歳以上」が13.6%となっています。

<カ. 法律や制度の上>



【全体】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」が44.5%、次いで「平等」が27.4%、どちらかといえばも含む「女性の方が優遇されている」が6.4%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は2.1ポイント増加しています。

【全国調査比較】

全国調査と比較すると、「平等」は13.4ポイント低くなっています。

		有効回答数(件)	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		639	17.1	27.4	27.4	4.5	1.9	17.2	4.5
男性		278	8.6	28.1	36.0	6.5	3.6	11.5	5.8
女性		352	23.6	26.7	21.0	3.1	0.6	21.9	3.1
男性	18~29歳	44	18.2	9.1	38.6	9.1	4.5	20.5	0.0
	30~39歳	45	11.1	31.1	28.9	15.6	6.7	4.4	2.2
	40~49歳	58	8.6	25.9	32.8	6.9	6.9	12.1	6.9
	50~59歳	39	2.6	43.6	38.5	0.0	2.6	7.7	5.1
	60~69歳	41	2.4	34.1	46.3	4.9	0.0	9.8	2.4
	70歳以上	51	7.8	27.5	33.3	2.0	0.0	13.7	15.7
女性	18~29歳	60	20.0	26.7	18.3	5.0	1.7	28.3	0.0
	30~39歳	65	29.2	26.2	15.4	6.2	1.5	20.0	1.5
	40~49歳	90	22.2	30.0	24.4	2.2	0.0	21.1	0.0
	50~59歳	36	33.3	19.4	16.7	0.0	0.0	30.6	0.0
	60~69歳	42	16.7	28.6	28.6	0.0	0.0	19.0	7.1
	70歳以上	59	22.0	25.4	22.0	3.4	0.0	15.3	11.9

【性別】

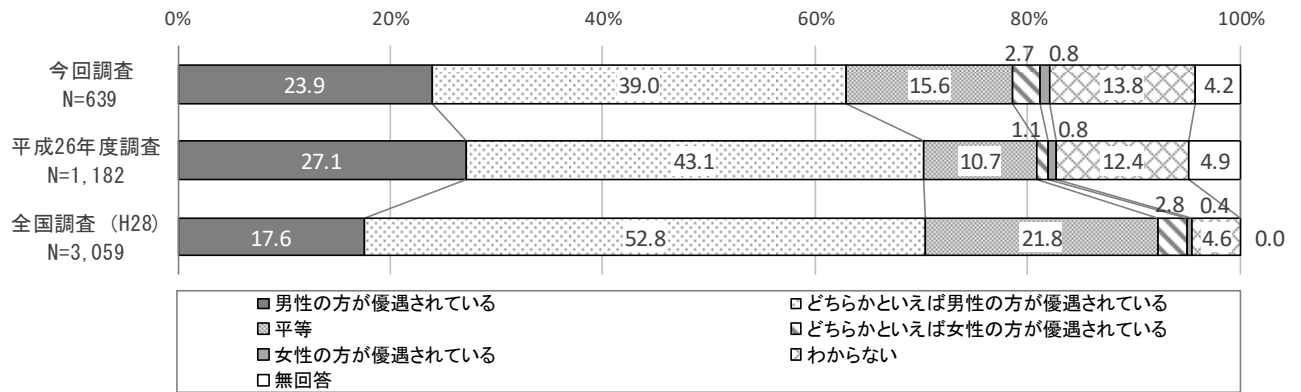
「平等」は、男性の方が女性より15.0ポイント高く、どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、女性の方が男性より13.6ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、女性の「30~39歳」が55.4%と最も高く、次いで女性の「50~59歳」が52.7%、女性の「40~49歳」が52.2%となっています。

「平等」は、男性の「60~69歳」が46.3%と最も高く、次いで男性の「18~29歳」が38.6%、男性の「50~59歳」が38.5%となっています。

<キ. 社会通念・慣習・しきたりなど>



【全体】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」が62.9%、次いで「平等」が15.6%、どちらかといえばも含む「女性の方が優遇されている」が3.5%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は7.3ポイント減少しています。

【全国調査比較】

全国調査と比較すると、どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は7.5ポイント低くなっています。

		有効回答数(件)	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		639	23.9	39.0	15.6	2.7	0.8	13.8	4.2
男性		278	17.3	39.9	20.1	5.0	0.7	11.5	5.4
女性		352	29.3	38.9	11.6	0.9	0.9	15.6	2.8
男性	18~29歳	44	20.5	27.3	31.8	2.3	0.0	18.2	0.0
	30~39歳	45	26.7	40.0	11.1	8.9	0.0	13.3	0.0
	40~49歳	58	24.1	36.2	15.5	8.6	1.7	8.6	5.2
	50~59歳	39	7.7	46.2	23.1	5.1	0.0	12.8	5.1
	60~69歳	41	7.3	58.5	14.6	2.4	0.0	12.2	4.9
	70歳以上	51	13.7	35.3	25.5	2.0	2.0	5.9	15.7
女性	18~29歳	60	25.0	36.7	15.0	0.0	1.7	21.7	0.0
	30~39歳	65	26.2	43.1	7.7	1.5	1.5	20.0	0.0
	40~49歳	90	36.7	36.7	11.1	2.2	0.0	13.3	0.0
	50~59歳	36	38.9	36.1	11.1	0.0	0.0	13.9	0.0
	60~69歳	42	21.4	47.6	14.3	0.0	0.0	11.9	4.8
	70歳以上	59	25.4	35.6	11.9	0.0	1.7	11.9	13.6

【性別】

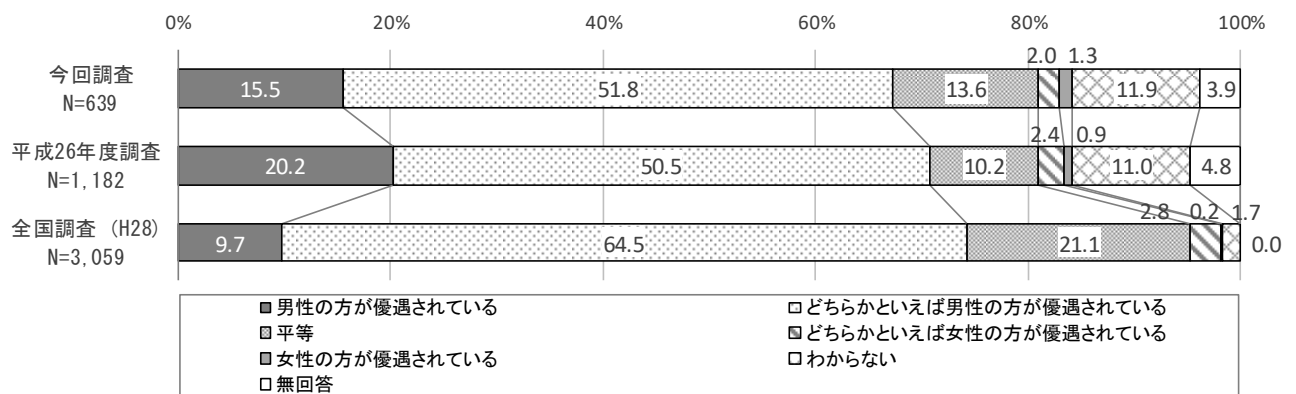
どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、女性の方が男性より11.0ポイント高く、「平等」は、男性の方が女性より8.5ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、女性の「50~59歳」が75.0%と最も高く、次いで女性の「40~49歳」が73.4%、女性の「30~39歳」が69.3%となっています。

「平等」は、男性の「18~29歳」が31.8%と最も高く、次いで男性の「70歳以上」が25.5%、男性の「50~59歳」が23.1%となっています。

<ク. 社会全体でみた場合>



【全体】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」が67.3%、次いで「平等」が13.6%、どちらかといえばも含む「女性の方が優遇されている」が3.3%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は3.4ポイント減少しています。

【全国調査比較】

全国調査と比較すると、どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は6.9ポイント低くなっています。

		有効回答数 (件)	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		639	15.5	51.8	13.6	2.0	1.3	11.9	3.9
男性		278	10.4	52.2	17.3	3.6	1.8	9.7	5.0
女性		352	19.3	52.3	10.5	0.9	0.9	13.6	2.6
男性	18~29歳	44	13.6	36.4	20.5	9.1	0.0	20.5	0.0
	30~39歳	45	11.1	64.4	17.8	4.4	2.2	0.0	0.0
	40~49歳	58	12.1	51.7	15.5	1.7	5.2	8.6	5.2
	50~59歳	39	2.6	61.5	12.8	5.1	2.6	10.3	5.1
	60~69歳	41	12.2	56.1	14.6	2.4	0.0	12.2	2.4
	70歳以上	51	9.8	45.1	21.6	0.0	0.0	7.8	15.7
女性	18~29歳	60	15.0	50.0	16.7	1.7	0.0	16.7	0.0
	30~39歳	65	18.5	58.5	7.7	0.0	1.5	13.8	0.0
	40~49歳	90	26.7	48.9	6.7	2.2	1.1	14.4	0.0
	50~59歳	36	25.0	47.2	13.9	0.0	0.0	13.9	0.0
	60~69歳	42	19.0	57.1	9.5	0.0	0.0	9.5	4.8
	70歳以上	59	10.2	52.5	11.9	0.0	1.7	11.9	11.9

【性別】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、女性の方が男性より9.0ポイント高く、「平等」は、男性の方が女性より6.8ポイント高くなっています。

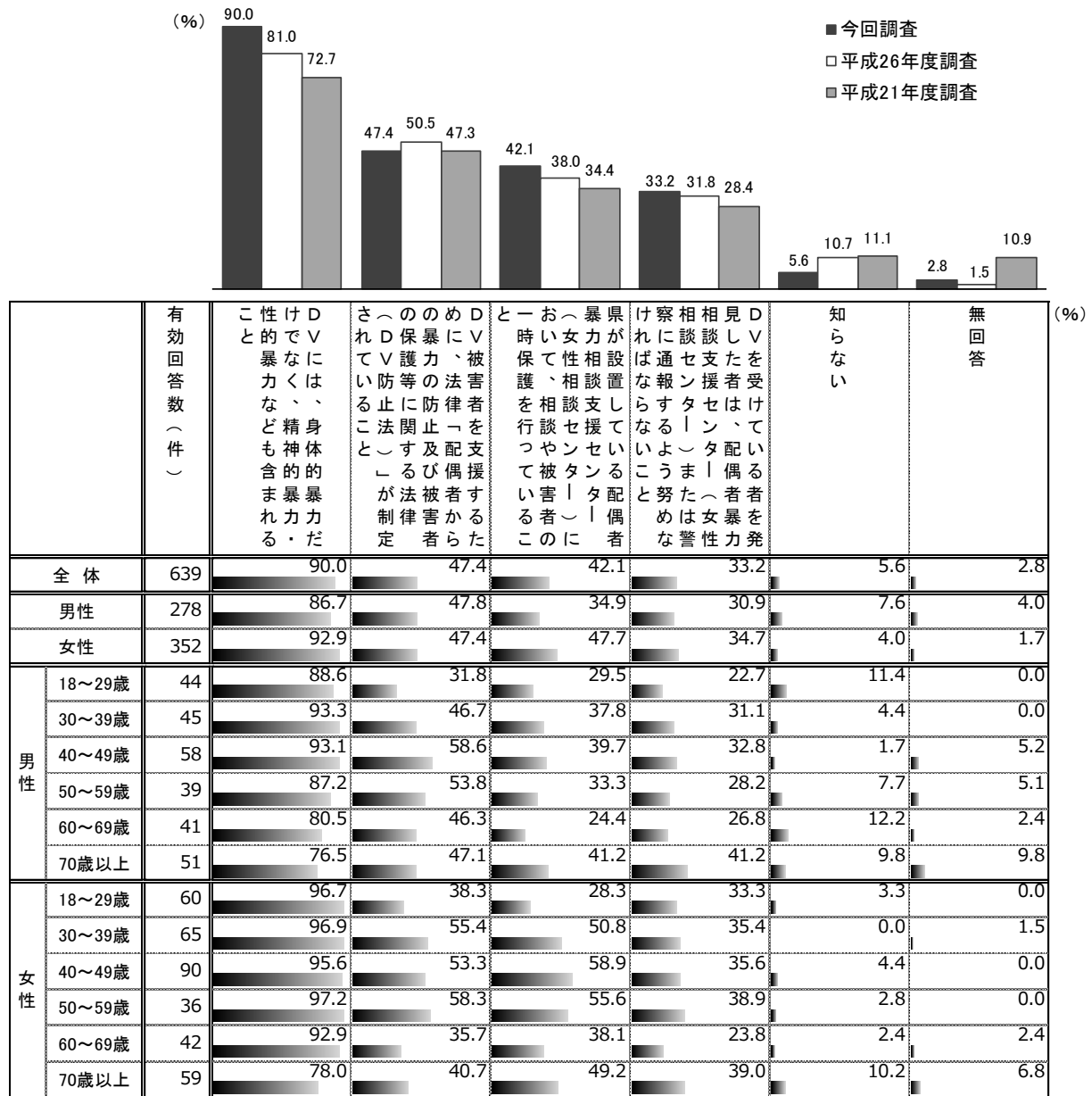
【性・年齢別】

どちらかといえばも含む「男性の方が優遇されている」は、女性の「30~39歳」が77.0%と最も高く、女性の「60~69歳」が76.1%、女性の「40~49歳」が75.6%となっています。

「平等」は、男性の「70歳以上」が21.6%と最も高く、次いで男性の「18~29歳」が20.5%、男性の「30~39歳」が17.8%となっています。

(5) ドメスティック・バイオレンスについて

問 38 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）に関する次のことについて知っていますか。（〇はいくつでも）

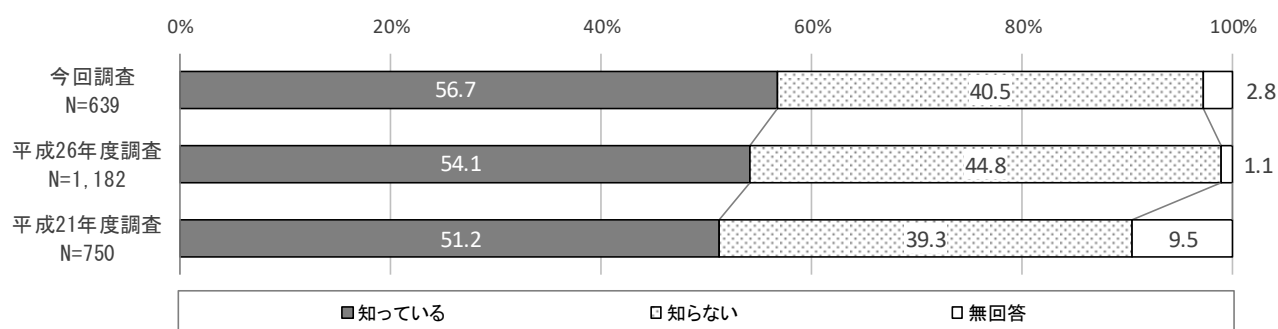


【全体】「DVには、身体的暴力だけでなく、精神的暴力・性的暴力なども含まれること」が90.0%と最も高く、次いで「DV被害者を支援するために、法律『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律』が制定されていること」が47.4%、「県が設置している配偶者暴力相談支援センターにおいて、相談や被害者の一時保護を行っていること」が42.1%となっています。

【性別】「県が設置している配偶者暴力相談支援センターにおいて、相談や被害者の一時保護を行っていること」は、女性の方が男性より12.8ポイント高くなっています。

【性・年齢別】「DVには、身体的暴力だけでなく、精神的暴力・性的暴力なども含まれること」は、女性の「50～59歳」が97.2%と最も高く、次いで女性の「30～39歳」が96.9%、女性の「18～29歳」が96.7%となっています。

問 39 あなたは、DVについて相談できる窓口があることを知っていますか。(〇は1つ)



【全体】

「知っている」が56.7%、「知らない」が40.5%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「知っている」が増加傾向にあります。

		(%)	知っている	知らない	無回答
	(有効回答数)				
全体	639	56.7	40.5	2.8	
男性	278	52.2	43.9	4.0	
女性	352	61.1	37.2	1.7	
男性	18~29歳	44	34.1	65.9	0.0
	30~39歳	45	53.3	44.4	2.2
	40~49歳	58	62.1	34.5	3.4
	50~59歳	39	53.8	41.0	5.1
	60~69歳	41	53.7	46.3	0.0
	70歳以上	51	52.9	35.3	11.8
女性	18~29歳	60	45.0	55.0	0.0
	30~39歳	65	63.1	36.9	0.0
	40~49歳	90	71.1	28.9	0.0
	50~59歳	36	72.2	27.8	0.0
	60~69歳	42	52.4	42.9	4.8
	70歳以上	59	59.3	33.9	6.8

【性別】

「知っている」は女性の方が男性より8.9ポイント高く、「知らない」は男性の方が女性より6.7ポイント高くなっています。

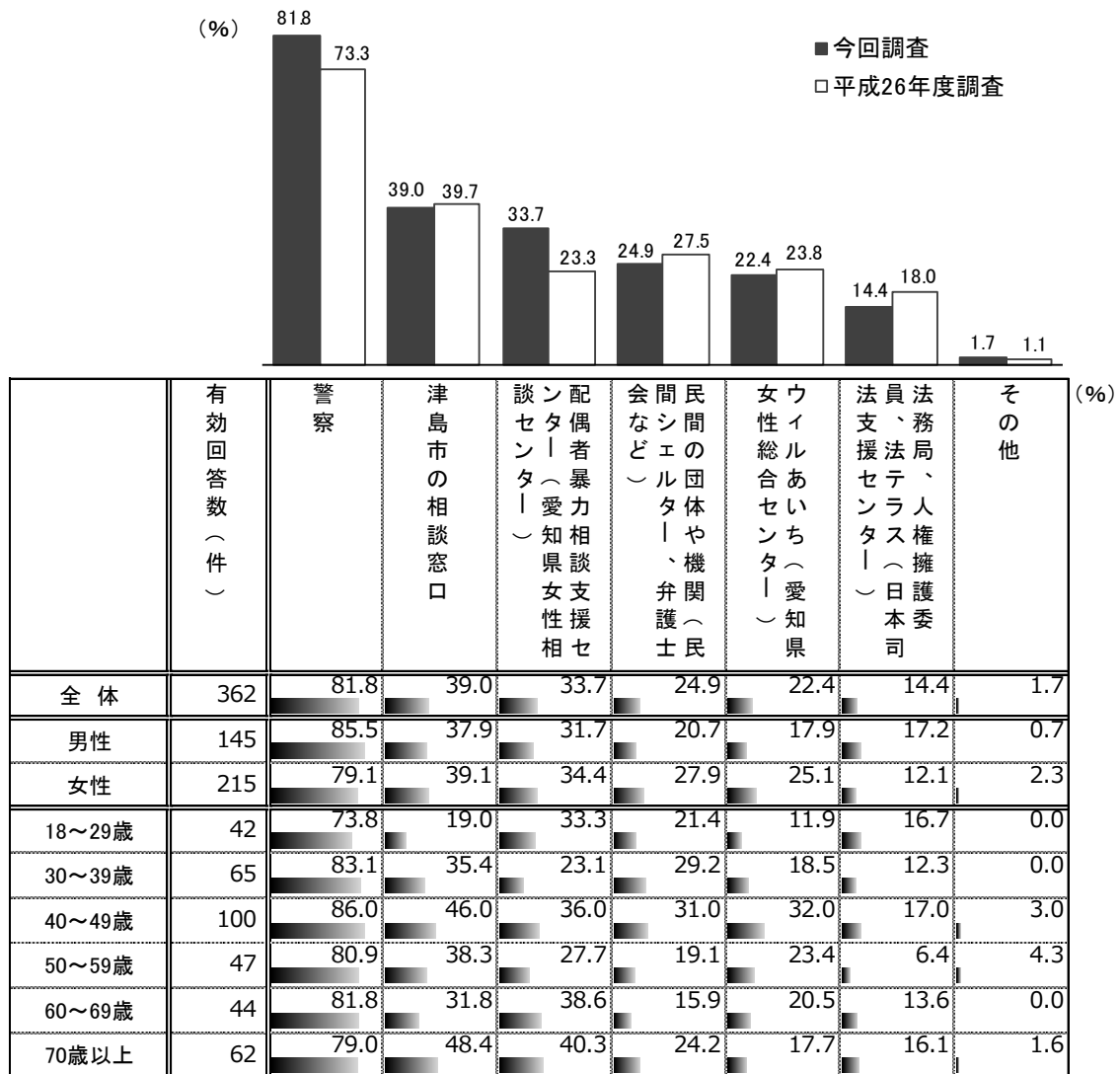
【性・年齢別】

「知っている」は、女性の「50~59歳」が72.2%と最も高く、次いで女性の「40~49歳」が71.1%、女性の「30~39歳」が63.1%となっています。

「知らない」は、男性の「18~29歳」が65.9%と最も高く、次いで女性の「18~29歳」が55.0%、男性の「60~69歳」が46.3%となっています。

《問 39 で「1. 知っている」と答えた方にお聞きします。》

問 39-1 相談できる窓口についてどのようなところを知っていますか。(〇はいくつでも)



【全体】

「警察」が81.8%と最も高く、次いで「津島市の相談窓口」が39.0%、「配偶者暴力相談支援センター」が33.7%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「配偶者暴力相談支援センター」は10.4ポイント、「警察」は8.5ポイント増加しています。

【性別】

「警察」は、男性の方が女性より6.4ポイント高くなっています。

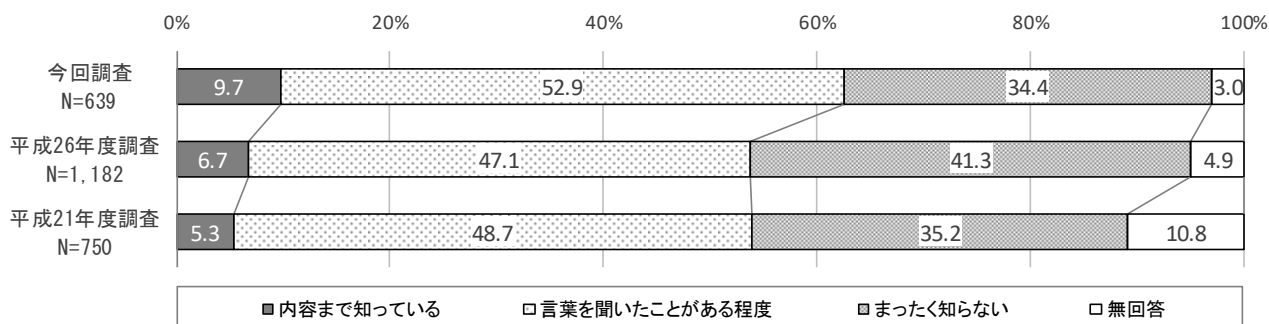
【年齢別】

「警察」は、「40~49歳」が86.0%と最も高く、次いで「30~39歳」が83.1%、「60~69歳」が81.8%となっています。

(6) 男女共同参画社会について

問 40 あなたは、次にあげる言葉の意味や内容を知っていますか。
(○はそれぞれの項目について1つ)

<ア. 男女共同参画社会基本法>



【全体】

「言葉を聞いたことがある程度」が52.9%と最も高く、次いで「まったく知らない」が34.4%、「内容まで知っている」が9.7%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「内容まで知っている」が増加傾向にあります。

		有効回答数(件)	内容まで知っている	言葉を聞いたことがある程度	まったく知らない	無回答
全体		639	9.7	52.9	34.4	3.0
男性		278	10.1	55.8	32.4	1.8
女性		352	9.7	51.7	36.4	2.3
男性	18～29歳	44	18.2	56.8	25.0	0.0
	30～39歳	45	8.9	60.0	31.1	0.0
	40～49歳	58	15.5	41.4	41.4	1.7
	50～59歳	39	5.1	64.1	28.2	2.6
	60～69歳	41	7.3	53.7	36.6	2.4
	70歳以上	51	3.9	62.7	29.4	3.9
女性	18～29歳	60	26.7	61.7	11.7	0.0
	30～39歳	65	7.7	55.4	36.9	0.0
	40～49歳	90	6.7	44.4	48.9	0.0
	50～59歳	36	5.6	58.3	33.3	2.8
	60～69歳	42	2.4	45.2	47.6	4.8
	70歳以上	59	6.8	49.2	35.6	8.5

【性別】

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の方が女性より4.1ポイント高く、「まったく知らない」は、女性の方が男性より4.0ポイント高くなっています。

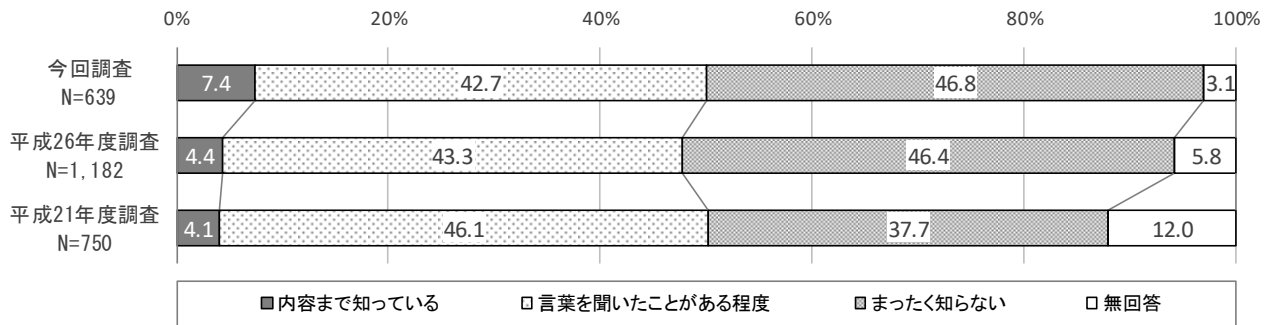
【性・年齢別】

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の「50～59歳」が64.1%と最も高く、次いで男性の「70歳以上」が62.7%、女性の「18～29歳」が61.7%となっています。

「まったく知らない」は、女性の「40～49歳」が48.9%と最も高く、次いで女性の「60～69歳」が47.6%、男性の「40～49歳」が41.4%となっています。

◇男女共同参画社会基本法◇
男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会を実現するための基本法。
(平成11年6月公布、施行)

<イ. 女子差別撤廃条約>



【全体】

「まったく知らない」が46.8%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」が42.7%、「内容まで知っている」が7.4%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「まったく知らない」が増加傾向、「言葉を聞いたことがある程度」が減少傾向にあります。

		有効回答数(件)	内容まで知っている	言葉を聞いたことがある程度	まったく知らない	無回答
全体		639	7.4	42.7	46.8	3.1
男性		278	6.5	45.0	46.4	2.2
女性		352	8.2	42.0	47.4	2.3
男性	18~29歳	44	15.9	38.6	45.5	0.0
	30~39歳	45	4.4	53.3	40.0	2.2
	40~49歳	58	6.9	43.1	48.3	1.7
	50~59歳	39	0.0	43.6	53.8	2.6
	60~69歳	41	4.9	36.6	56.1	2.4
	70歳以上	51	5.9	52.9	37.3	3.9
女性	18~29歳	60	23.3	53.3	23.3	0.0
	30~39歳	65	1.5	52.3	46.2	0.0
	40~49歳	90	4.4	40.0	55.6	0.0
	50~59歳	36	2.8	41.7	52.8	2.8
	60~69歳	42	11.9	14.3	71.4	2.4
	70歳以上	59	6.8	42.4	40.7	10.2

【性別】

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の方が女性より3.0ポイント高くなっています。

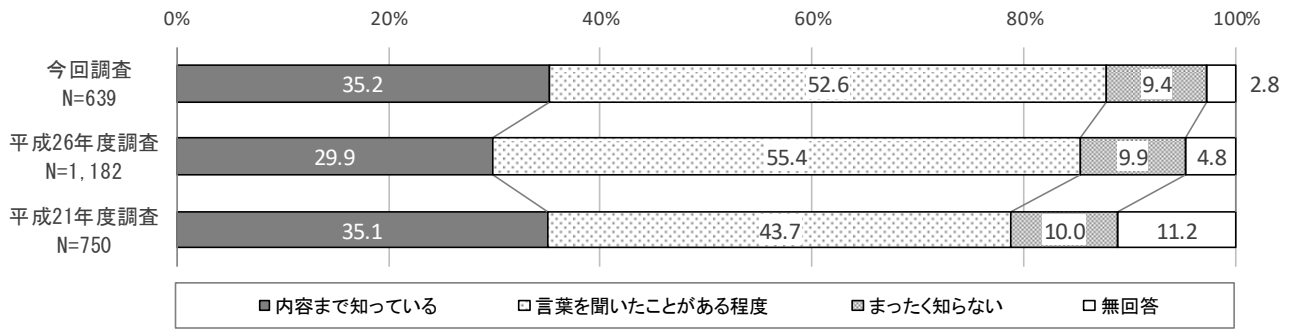
【性・年齢別】

「まったく知らない」は、女性の「60~69歳」が71.4%と最も高く、次いで男性の「60~69歳」が56.1%、女性の「40~49歳」が55.6%となっています。

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の「30~39歳」・女性の「18~29歳」が同率53.3%と最も高く、次いで男性の「70歳以上」が52.9%となっています。

◇女子差別撤廃条約◇
 男女の完全な平等の達成に貢献することを目的とし、女子に対するあらゆる差別の撤廃を定めた多国間条約。具体的には、「女子に対する差別」を定義し、締約国に対し、政治的及び公的活動、並びに経済的及び社会的活動における差別の撤廃のために適当な措置をとることを求めている。
 正式名称は、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」。
 (昭和54年12月採択、昭和56年9月発効、昭和60年6月批准)

<ウ. 男女雇用機会均等法>



【全体】

「言葉を聞いたことがある程度」が52.6%と最も高く、次いで「内容まで知っている」が35.2%、「まったく知らない」が9.4%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「まったく知らない」が減少傾向にあります。

		有効回答数(件)	内容まで知っている	言葉を聞いたことがある程度	まったく知らない	無回答
全体		639	35.2	52.6	9.4	2.8
男性		278	36.7	54.7	7.2	1.4
女性		352	34.7	51.7	11.4	2.3
男性	18~29歳	44	31.8	54.5	13.6	0.0
	30~39歳	45	37.8	55.6	6.7	0.0
	40~49歳	58	46.6	50.0	1.7	1.7
	50~59歳	39	28.2	59.0	10.3	2.6
	60~69歳	41	36.6	61.0	0.0	2.4
	70歳以上	51	35.3	51.0	11.8	2.0
女性	18~29歳	60	38.3	51.7	10.0	0.0
	30~39歳	65	41.5	47.7	10.8	0.0
	40~49歳	90	40.0	55.6	4.4	0.0
	50~59歳	36	38.9	52.8	5.6	2.8
	60~69歳	42	19.0	54.8	23.8	2.4
	70歳以上	59	23.7	47.5	18.6	10.2

【性別】

「まったく知らない」は、女性の方が男性より4.2ポイント高く、「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の方が女性より3.0ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の「60~69歳」が61.0%と最も高く、次いで男性の「50~59歳」が59.0%、男性の「30~39歳」・女性の「40~49歳」が同率55.6%となっています。

「内容まで知っている」は、男性の「40~49歳」が46.6%と最も高く、次いで女性の「30~39歳」が41.5%、女性の「40~49歳」が40.0%となっています。

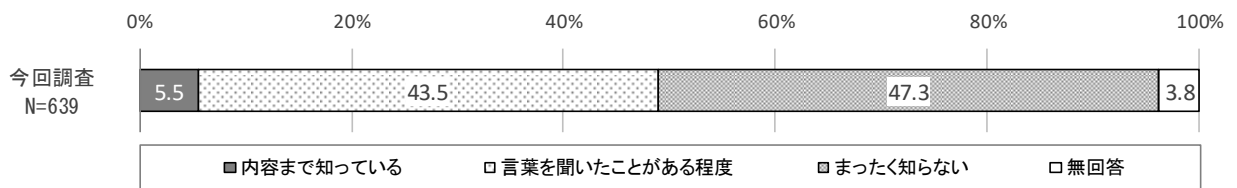
◇男女雇用機会均等法◇

事業主が、男女労働者を、募集・採用、配置（業務の配分及び権限の付与を含む）・昇進・降格・教育訓練、一定範囲の福利厚生、職種・雇用形態の変更、退職の勧奨・定年・解雇・労働契約の更新において、性別を理由に差別することを禁止した法律。

正式名称は、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」。

（昭和60年5月成立、昭和61年4月施行）

<工. 女性活躍推進法>



※前回調査なし

【全体】

「まったく知らない」が47.3%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」が43.5%、「内容まで知っている」が5.5%となっています。

		有効回答数 (件)	内容まで 知っている	ある 言葉を 聞いた ことが ある程度	ま っ た く 知 ら な い	無 回 答
全体		639	5.5	43.5	47.3	3.8
男性		278	4.0	48.6	45.3	2.2
女性		352	6.8	40.6	49.1	3.4
男性	18～29歳	44	9.1	38.6	52.3	0.0
	30～39歳	45	0.0	51.1	48.9	0.0
	40～49歳	58	5.2	48.3	44.8	1.7
	50～59歳	39	0.0	56.4	41.0	2.6
	60～69歳	41	4.9	41.5	48.8	4.9
	70歳以上	51	3.9	54.9	37.3	3.9
女性	18～29歳	60	15.0	35.0	50.0	0.0
	30～39歳	65	6.2	46.2	47.7	0.0
	40～49歳	90	3.3	41.1	54.4	1.1
	50～59歳	36	8.3	44.4	44.4	2.8
	60～69歳	42	7.1	33.3	54.8	4.8
	70歳以上	59	3.4	42.4	40.7	13.6

【性別】

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の方が女性より8.0ポイント高く、「まったく知らない」は、女性の方が男性より3.8ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「まったく知らない」は、女性の「60～69歳」が54.8%と最も高く、次いで女性の「40～49歳」が54.4%、男性の「18～29歳」が52.3%となっています。

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の「50～59歳」が56.4%と最も高く、次いで男性の「70歳以上」が54.9%、男性の「30～39歳」が51.1%となっています。

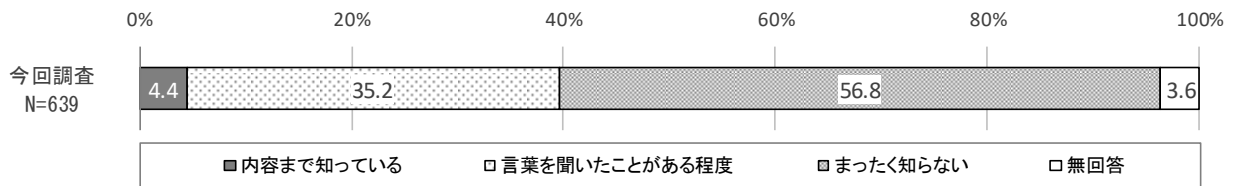
◇女性活躍推進法◇

女性の職業生活における活躍の推進について、基本原則を定めた法律。男女の人権が尊重され、かつ、急速な少子高齢化の進展、国民の需要の多様化その他の社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある社会を実現することを目的とする。

正式名称は、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」。

(平成27年9月公布、施行)

<才. 政治分野における男女共同参画推進法>



※前回調査なし

【全体】

「まったく知らない」が56.8%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」が35.2%、「内容まで知っている」が4.4%となっています。

		有効回答数(件)	内容まで知っている	言葉を聞いたことがある程度	まったく知らない	無回答
全体		639	4.4	35.2	56.8	3.6
男性		278	3.6	42.1	52.2	2.2
女性		352	5.1	30.4	61.4	3.1
男性	18~29歳	44	6.8	31.8	61.4	0.0
	30~39歳	45	4.4	35.6	60.0	0.0
	40~49歳	58	6.9	43.1	48.3	1.7
	50~59歳	39	0.0	51.3	46.2	2.6
	60~69歳	41	0.0	39.0	56.1	4.9
	70歳以上	51	2.0	51.0	43.1	3.9
女性	18~29歳	60	13.3	23.3	63.3	0.0
	30~39歳	65	0.0	29.2	70.8	0.0
	40~49歳	90	3.3	27.8	66.7	2.2
	50~59歳	36	8.3	33.3	55.6	2.8
	60~69歳	42	2.4	31.0	61.9	4.8
	70歳以上	59	5.1	40.7	44.1	10.2

【性別】

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の方が女性より11.7ポイント高く、「まったく知らない」は、女性の方が男性より9.2ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「まったく知らない」は、女性の「30~39歳」が70.8%と最も高く、次いで女性の「40~49歳」が66.7%、女性の「18~29歳」が63.3%となっています。

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の「50~59歳」が51.3%と最も高く、次いで男性の「70歳以上」が51.0%、男性の「40~49歳」が43.1%となっています。

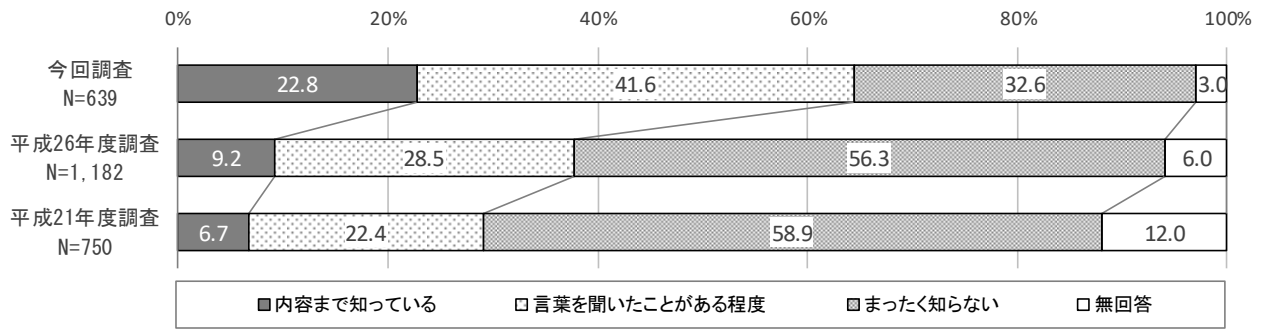
◇政治分野における男女共同参画推進法◇

衆議院、参議院及び地方議会の選挙において、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指すことなどを基本原則とし、国・地方公共団体の責務や、政党等が所属する男女のそれぞれの公職の候補者の数について目標を定める等、自主的に取り組むよう努めることなどを定めた法律。

正式名称は、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」。

(平成30年5月公布、施行)

<カ. ジェンダー（社会的性別）>



【全体】

「言葉を聞いたことがある程度」が41.6%と最も高く、次いで「まったく知らない」が32.6%、「内容まで知っている」が22.8%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「言葉を聞いたことがある程度」が増加傾向、「まったく知らない」が減少傾向にあります。

		有効回答数（件）	内容まで知っている	言葉を聞いたことがある程度	まったく知らない	無回答
全体		639	22.8	41.6	32.6	3.0
男性		278	17.6	45.3	34.9	2.2
女性		352	27.3	39.5	31.3	2.0
男性	18～29歳	44	29.5	45.5	25.0	0.0
	30～39歳	45	20.0	60.0	20.0	0.0
	40～49歳	58	27.6	46.6	24.1	1.7
	50～59歳	39	7.7	48.7	41.0	2.6
	60～69歳	41	12.2	36.6	46.3	4.9
	70歳以上	51	5.9	35.3	54.9	3.9
女性	18～29歳	60	38.3	45.0	16.7	0.0
	30～39歳	65	38.5	41.5	20.0	0.0
	40～49歳	90	32.2	43.3	24.4	0.0
	50～59歳	36	22.2	47.2	30.6	0.0
	60～69歳	42	7.1	28.6	61.9	2.4
	70歳以上	59	13.6	28.8	47.5	10.2

【性別】

「内容まで知っている」は、女性の方が男性より9.7ポイント高く、「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の方が女性より5.8ポイント高くなっています。

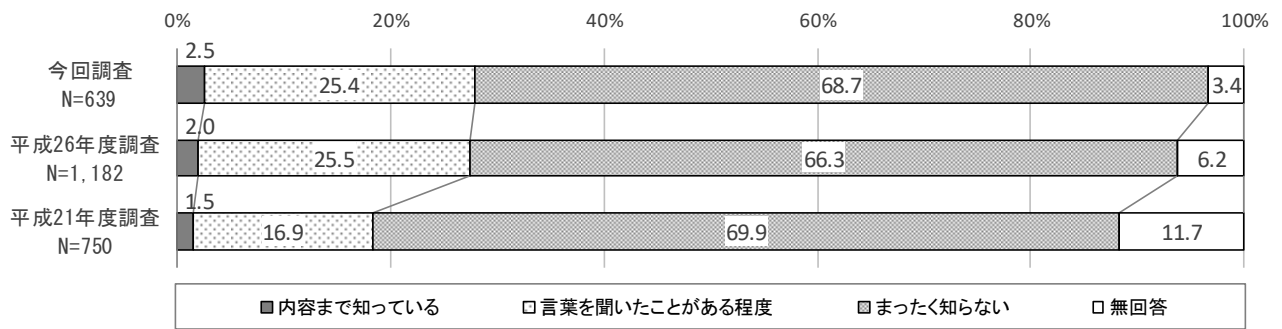
【性・年齢別】

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の「30～39歳」が60.0%と最も高く、次いで男性の「50～59歳」が48.7%、女性の「50～59歳」が47.2%となっています。

「まったく知らない」は、女性の「60～69歳」が61.9%と最も高く、次いで男性の「70歳以上」が54.9%、女性の「70歳以上」が47.5%となっています。

◇ジェンダー（社会的性別）◇
 社会通念や慣習の中にある、社会によって作りあげられた「男性像」、「女性像」というような男性、女性の別を「社会的性別（ジェンダー）」という。「社会的性別」はそれ自体に良い、悪いの価値を含むものではない。生まれつきの男性、女性の別は「生物学的性別」という。

<キ. ポジティブ・アクション（積極的改善措置）>



【全体】

「まったく知らない」が68.7%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」が25.4%、「内容まで知っている」が2.5%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「内容まで知っている」が増加傾向にあります。

		有効回答数（件）	内容まで知っている	言葉を聞いたことがある程度	まったく知らない	無回答
全体		639	2.5	25.4	68.7	3.4
男性		278	2.2	30.9	64.4	2.5
女性		352	2.8	21.3	73.3	2.6
男性	18～29歳	44	4.5	31.8	63.6	0.0
	30～39歳	45	0.0	37.8	60.0	2.2
	40～49歳	58	0.0	43.1	55.2	1.7
	50～59歳	39	5.1	28.2	64.1	2.6
	60～69歳	41	4.9	19.5	70.7	4.9
	70歳以上	51	0.0	21.6	74.5	3.9
女性	18～29歳	60	5.0	23.3	71.7	0.0
	30～39歳	65	3.1	18.5	78.5	0.0
	40～49歳	90	3.3	20.0	76.7	0.0
	50～59歳	36	2.8	36.1	58.3	2.8
	60～69歳	42	0.0	19.0	78.6	2.4
	70歳以上	59	1.7	16.9	69.5	11.9

【性別】

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の方が女性より9.6ポイント高く、「まったく知らない」は、女性の方が男性より8.9ポイント高くなっています。

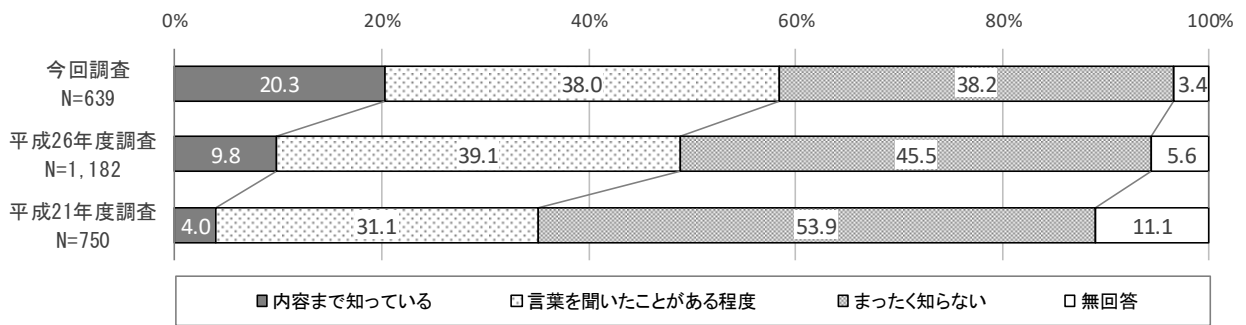
【性・年齢別】

「まったく知らない」は、女性の「60～69歳」が78.6%と最も高く、次いで女性の「30～39歳」が78.5%、女性の「40～49歳」が76.7%となっています。

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の「40～49歳」が43.1%と最も高く、次いで男性の「30～39歳」が37.8%、女性の「50～59歳」が36.1%となっています。

◇ポジティブ・アクション（積極的改善措置）◇
 一義的に定義することは困難であるが、一般的には、社会的・構造的な差別によって不利益を被っている者に対して、一定の範囲で特別の機会を提供することなどにより、実質的な機会均等を実現することを目的として講じる暫定的な措置のこと。

<ク. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）>



【全体】

「まったく知らない」が38.2%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」が38.0%、「内容まで知っている」が20.3%となっています。

【経年比較】

今回調査と過去2回の調査を比較すると、「まったく知らない」が減少傾向、「内容まで知っている」が増加傾向にあります。

		有効回答数（件）	内容まで知っている	言葉を聞いたことがある程度	まったく知らない	無回答
全体		639	20.3	38.0	38.2	3.4
男性		278	21.2	42.4	34.5	1.8
女性		352	20.2	35.2	41.5	3.1
男性	18～29歳	44	22.7	45.5	31.8	0.0
	30～39歳	45	31.1	35.6	33.3	0.0
	40～49歳	58	32.8	44.8	20.7	1.7
	50～59歳	39	17.9	43.6	35.9	2.6
	60～69歳	41	14.6	48.8	34.1	2.4
	70歳以上	51	5.9	37.3	52.9	3.9
女性	18～29歳	60	50.0	28.3	20.0	1.7
	30～39歳	65	26.2	33.8	40.0	0.0
	40～49歳	90	18.9	35.6	44.4	1.1
	50～59歳	36	11.1	50.0	36.1	2.8
	60～69歳	42	2.4	33.3	61.9	2.4
	70歳以上	59	3.4	35.6	49.2	11.9

【性別】

「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の方が女性より7.2ポイント高く、「まったく知らない」は、女性の方が男性より7.0ポイント高くなっています。

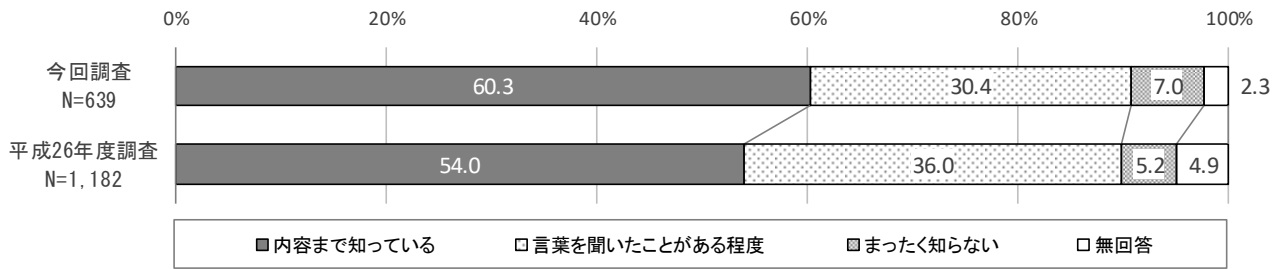
【性・年齢別】

「まったく知らない」は、女性の「60～69歳」が61.9%と最も高く、次いで男性の「70歳以上」が52.9%、女性の「70歳以上」が49.2%となっています。

「言葉を聞いたことがある程度」は、女性の「50～59歳」が50.0%と最も高く、次いで男性の「60～69歳」が48.8%、男性の「18～29歳」が45.5%となっています。

◇ワーク・ライフ・バランス◇
働くすべての人が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。

<ケ. セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）>



【全体】

「内容まで知っている」が60.3%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」が30.4%、「まったく知らない」が7.0%となっています。

【経年比較】

平成26年度調査と比較すると、「内容まで知っている」は6.3ポイント増加し、「言葉を聞いたことがある程度」は5.6ポイント減少しています。

		有効回答数（件）	内容まで知っている	言葉を聞いたことがある程度	まったく知らない	無回答
全体		639	60.3	30.4	7.0	2.3
男性		278	59.0	31.7	7.9	1.4
女性		352	62.5	29.8	6.3	1.4
男性	18～29歳	44	56.8	29.5	13.6	0.0
	30～39歳	45	73.3	24.4	2.2	0.0
	40～49歳	58	69.0	25.9	3.4	1.7
	50～59歳	39	61.5	30.8	5.1	2.6
	60～69歳	41	58.5	34.1	4.9	2.4
	70歳以上	51	35.3	45.1	17.6	2.0
女性	18～29歳	60	76.7	18.3	5.0	0.0
	30～39歳	65	73.8	23.1	3.1	0.0
	40～49歳	90	76.7	21.1	2.2	0.0
	50～59歳	36	61.1	36.1	2.8	0.0
	60～69歳	42	40.5	50.0	7.1	2.4
	70歳以上	59	30.5	44.1	18.6	6.8

【性別】

「内容まで知っている」は、女性の方が男性より3.5ポイント高く、「言葉を聞いたことがある程度」は、男性の方が女性より1.9ポイント高くなっています。

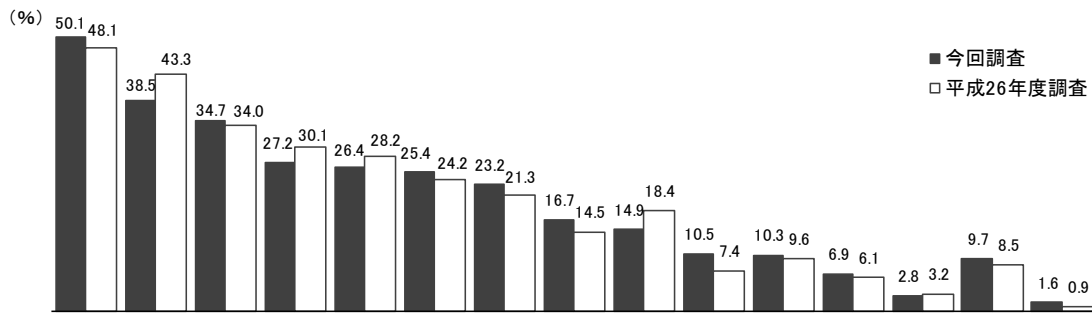
【性・年齢別】

「内容まで知っている」は、女性の「18～29歳」・「40～49歳」が同率76.7%と最も高く、次いで女性の「30～39歳」が73.8%、男性の「30～39歳」が73.3%となっています。

「言葉を聞いたことがある程度」は、女性の「60～69歳」が50.0%と最も高く、次いで男性の「70歳以上」が45.1%、女性の「70歳以上」が44.1%となっています。

◇セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）◇
性的な言動により相手に不快感を与え、相手の生活環境を害し、またはその相手に不利益を与える行為のこと。身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的なうわさの流布、人目にふれる場所へのわいせつな写真やポスターの掲示などが含まれる。

問 41 男女共同参画社会の推進のためには、津島市としては、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は5つ以内)



	有効回答数(件)	項目																
		ど、子育て支援を充実する	高齢者や障がい者の施設、介護サービスを充実する	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女共同参画についての学習を充実する	情報提供や職業訓練の機会を提供する	女性の就業・再就職に関する情報提供や職業訓練の機会を提供する	企業や事業主に対し、職場における男女の均等な取扱いに努める	広報やホームページなどで男女共同参画についての学習啓発を行う	女性を積極的に登用する	各種団体の女性リーダーを養成する	家庭や地域で女性が共同参画するための支援と情報提供を充実する	配偶者や恋人からの暴力をなくすための施策を充実する	女性の健康増進や女性保護の施策を充実する	国際交流・国際協力に男女が共に参画できるように支援する	特になし	わからない	その他	無回答
全体	639	50.1	38.5	34.7	27.2	26.4	25.4	23.2	16.7	14.9	10.5	10.3	6.9	2.8	9.7	1.6	2.5	
男性	278	48.9	42.4	36.7	22.3	28.4	31.7	25.5	17.6	16.5	12.6	10.8	7.6	4.0	7.9	2.2	1.4	
女性	352	51.7	35.8	34.1	31.5	25.3	21.0	21.9	16.5	13.9	8.8	10.2	6.5	1.7	11.4	1.1	1.7	
男性	18~29歳	44	34.1	40.9	29.5	20.5	22.7	27.3	18.2	4.5	18.2	18.2	9.1	9.1	11.4	11.4	2.3	0.0
	30~39歳	45	57.8	35.6	24.4	24.4	26.7	26.7	15.6	22.2	13.3	28.9	8.9	6.7	4.4	4.4	2.2	0.0
	40~49歳	58	50.0	32.8	36.2	25.9	31.0	22.4	24.1	13.8	13.8	8.6	20.7	12.1	3.4	6.9	6.9	0.0
	50~59歳	39	46.2	33.3	35.9	23.1	23.1	33.3	23.1	15.4	15.4	2.6	12.8	2.6	2.6	17.9	0.0	2.6
	60~69歳	41	48.8	48.8	43.9	19.5	26.8	39.0	41.5	24.4	19.5	12.2	7.3	4.9	2.4	2.4	0.0	2.4
	70歳以上	51	54.9	62.7	49.0	19.6	37.3	43.1	31.4	25.5	19.6	5.9	3.9	7.8	0.0	5.9	0.0	3.9
女性	18~29歳	60	65.0	33.3	21.7	36.7	13.3	5.0	23.3	21.7	15.0	8.3	21.7	11.7	1.7	13.3	1.7	0.0
	30~39歳	65	56.9	24.6	35.4	43.1	23.1	15.4	18.5	13.8	12.3	12.3	6.2	6.2	3.1	9.2	3.1	0.0
	40~49歳	90	51.1	24.4	37.8	32.2	32.2	15.6	25.6	14.4	7.8	7.8	7.8	3.3	1.1	15.6	1.1	2.2
	50~59歳	36	38.9	47.2	27.8	16.7	27.8	30.6	27.8	13.9	16.7	2.8	19.4	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0
	60~69歳	42	42.9	47.6	54.8	19.0	31.0	28.6	16.7	23.8	21.4	11.9	2.4	7.1	0.0	14.3	0.0	2.4
	70歳以上	59	47.5	52.5	28.8	30.5	23.7	40.7	18.6	13.6	16.9	8.5	6.8	6.8	0.0	6.8	0.0	5.1

【全体】

「保育施策や保育サービスなど、子育て支援を充実する」が50.1%と最も高く、次いで「高齢者や障がい者の施設、介護サービスを充実する」が38.5%、「学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女共同参画についての学習を充実する」が34.7%となっています。

【性別】

「広報やホームページなどで男女共同参画についての学習啓発を行う」は、男性の方が女性より10.7ポイント高く、「女性の就業・再就職に関する情報提供や職業訓練の機会を提供する」は、女性の方が男性より9.2ポイント高くなっています。

【性・年齢別】

「保育施策や保育サービスなど、子育て支援を充実する」は、女性の「18~29歳」が65.0%と最も高く、次いで男性の「30~39歳」が57.8%、女性の「30~39歳」が56.9%となっています。

3. 自由意見のまとめ

自由意見を内容別に集計しました。

項 目	意 見	件数
人権意識に関する意見(23件)	人権意識を高めること	4
	現代社会での問題や不安	4
	社会・政治への要望	2
	いたわり合う心の必要性	2
	平等な社会の実現	2
	行き過ぎた人権意識による逆差別	4
	人権問題が日常生活と関わりが薄いことの問題	1
	考えと行動の不一致	1
	人権における差別と個性などによる区別の相違	1
	行政・施策への要望	2
女性の人権に関する意見(3件)	家事は女性の役割という意識の改革	1
	女性の立場の向上	1
	性犯罪の問題	1
子どもの人権に関する意見(15件)	虐待に関すること	7
	いじめ・自殺問題	2
	子どもの人権保護対策、法律の重要性	2
	行政・施策への要望	2
	学校環境の改善	2
高齢者の人権に関する意見(4件)	交通機関の充実	2
	独居老人対策	1
	仕事・求人がない	1
障がいのある人の人権に関する意見(1件)	行政・施策への要望	1
外国人の人権に関する意見(5件)	差別の問題	2
	多文化共生の推進	2
	外国人の子どもの教育の充実	1
インターネットによる人権侵害に関する意見(1件)	プライバシーの侵害	1
同和問題(部落差別)に関する意見(9件)	行政・施策への要望	6
	同和問題の正しい認識の重要性	2
	同和問題の風化	1
人権尊重の取り組み及び啓発活動への参加、認知に関する意見(10件)	一人ひとりの意識向上	3
	学校での人権教育の重要性	5
	虐待防止のための親の教育の必要性	1
	立場の異なる人との交流・相互理解	1
家庭生活などに関する意見(4件)	男性の家事参加	2
	勤務時間の短縮	2
女性が働くことに関する意見(9件)	企業における女性差別	6
	妊娠・出産によるキャリアの中断	2
	子どものサポート	1
子育て、介護などに関する意見(5件)	行政・施策への要望	5

項 目	意 見	件数
男女の平等に関する意見(8件)	男女の本質的平等の実現	6
	女性の意見の活用	2
ドメスティック・バイオレンスに関する意見(1件)	行政・施策への要望	1
男女共同参画社会に関する意見(13件)	男女相互理解の重要性	3
	女性の家事負担の軽減	4
	ジェンダー教育の重要性	2
	行政・施策への要望	4
その他の意見(38件)	行政・施策への要望	15
	若者の政治参加の促進、意見の活用	2
	生活環境の改善	2
	地域、隣近所とのつながり強化	1
	経済格差・貧困問題	2
	意識調査に関する意見	15
	その他	1
合 計		149

令和元年度
人権・男女共同参画に関する市民意識調査

《 人権に関する質問 》

◇ 人権意識について

問1 今の日本は基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない

問2 日本社会にある様々な偏見や差別について、あなたの考えにもっとも近いものは、どれですか。(○は1つ)

1. あらゆる偏見、差別は、許されるものでなく、なくさなくてはいけない
2. 偏見、差別は、できるかぎりなくすべきである
3. 偏見、差別はなくならないので、仕方なく受け入れる
4. 偏見、差別は、社会にとって必要なものである
5. わからない

問3 国民(市民)一人ひとりの人権意識は10年前に比べて高くなっていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない

問4 日本社会における人権侵害や差別は、10年前に比べて減ってきていると思いますか。(○は1つ)

1. 減ってきている
2. あまり変わらない
3. 増えてきている
4. わからない

問5 この10年ほどの間に、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない
3. わからない

《問5で「1. ある」と答えた方にお聞きします。》

問5-1 自分の人権を侵害されたと思ったのは、どんな場合であったかお聞かせください。
(○はいくつでも)

1. あらぬうわさや悪口、落書き、インターネット※情報などで名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された
2. 人種・信条・性別・社会的身分などを理由に差別された
3. 地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど(パワーハラスメント)不当な扱いを受けた
4. 学校において体罰やいじめなど不当な扱いを受けた
5. 家庭などで虐待や配偶者から暴力を受けるなど不当な扱いを受けた
6. 役所や医療機関、福祉施設などで不当な扱いを受けた
7. プライバシー(個人情報)を侵害された
8. 性的いやがらせ(セクシュアル・ハラスメント)やストーカー(つきまとい)行為を受けた
9. その他(具体的に)

※インターネット…パソコンや携帯電話(スマートフォン)、Facebook、LINEなどを含む

問6 人権にかかわる問題として、重要な問題は、どれだと思えますか。(○は3つ以内)

1. 女性の人権
2. 子どもの人権
3. 高齢者の人権
4. 障がいのある人の人権
5. 同和問題(部落差別)
6. 外国人の人権(ヘイトスピーチなど)
7. エイズ患者及びHIV(エイズウイルス)感染者の人権
8. ハンセン病回復者などの人権
9. 刑を終えて出所した人の人権
10. 犯罪被害者の人権
11. インターネットによる人権侵害
12. ホームレスの人権
13. 性同一性障害(身体的な性と心の性が一致しない者)にかかる人権
14. 性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)にかかる人権
15. その他(具体的に)
16. 特にない
17. わからない

◇ 女性の人権について

問7 女性の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
(○は3つ以内)

1. 固定的な性別役割分担意識（男は仕事、女は家庭など）
2. 職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）
3. 職場などでの性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）
4. 結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境
5. 配偶者や恋人など親密な関係にある人から受ける暴力（ドメスティック・バイオレンス）
6. 家庭や職場、地域などで女性の意見が尊重されないこと
7. アダルトビデオやポルノ雑誌など、女性を性の対象物ととらえる社会風潮
8. 性犯罪や売春・買春
9. ストーカー行為（特定の人にしつこくつきまとわれることなど）
10. その他（具体的に _____)
11. 特にない
12. わからない

◇ 子どもの人権について

問8 子どもの人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
(○は3つ以内)

1. 保護者による子どもへの暴力や育児放棄（ネグレクト）などの虐待
2. 大人が子どもの意見を聞かず自分の意見を子どもに強制すること
3. 大人が「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーを尊重しないこと
4. 子どもによる暴力、いじめ、無視などの仲間はずれ
5. インターネットを使ってのいじめ
6. 教師などによる言葉の暴力や体罰
7. 暴力や性など子どもにとっての有害な情報が出回ること
8. その他（具体的に _____)
9. 特にない
10. わからない

◇ 高齢者の人権について

問9 高齢者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
(○は3つ以内)

1. 収入が少なく、経済的に自立できないこと
2. 自分の能力を発揮する機会が少ないこと
3. 高齢者の意見や行動が尊重されないこと
4. 家族や介護者から身体的、心理的などの虐待があること
5. 病院や福祉施設で不当な扱いや身体的、心理的などの虐待があること
6. 高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにすること
7. 交通機関などがバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること
8. アパートなどの住宅への入居が困難なこと
9. その他（具体的に _____)
10. 特にない
11. わからない

◇ 障がいのある人の人権について

問10 障がいのある人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
(○は3つ以内)

1. 結婚について周囲が反対すること
2. 収入が少なく、経済的に自立できないこと
3. 就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること
4. 障がいのある人だからという理由で、意見や行動が尊重されないこと
5. 交通機関などがバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること
6. 病院や福祉施設で不当な扱いや虐待があること
7. アパートなどの住宅への入居が困難なこと
8. じろじろと見たり、避けたりすること
9. その他（具体的に _____)
10. 特にない
11. わからない

◇ 外国人の人権について

問 11 外国人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。
(○は3つ以内)

1. 地域社会での受入れが十分でないこと
2. 住宅を容易に借りることができないこと
3. 保健、医療、防災、教育などの生活に必要な情報が十分に手に入れにくいこと
4. 就職や仕事の内容、待遇で不利な取扱いを受けること
5. 学校の受験資格の取扱いや、受入れ体制が十分でないこと
6. 文化・スポーツ施設、ショッピング施設などで外国語表示がなく、十分なサービスが受けられないこと
7. 結婚問題で周囲から反対されること
8. 国籍による偏見や差別があること
9. ヘイトスピーチなど、不当な差別的言動を受けること
10. その他（具体的に _____)
11. 特にない
12. わからない

◇ エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者、ハンセン病回復者など
の人権について

問 12 エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者の人権が尊重されていないと思うのは、
特にどのようなことですか。(○は3つ以内)

1. 就職や職場で不利な取扱いを受けること
2. 医療機関で治療や入院を断られること
3. 本人に無断でエイズ検査をされること
4. 偏見により差別的な言動を受けること
5. アパートなどの住宅への入居が困難なこと
6. 結婚について、周囲が反対すること
7. その他（具体的に _____)
8. 特にない
9. わからない

問 13 ハンセン病回復者などの人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。(○は3つ以内)

1. じろじろ見られたり、避けられたりすること
2. 就職や職場で不利な取扱いを受けること
3. 医療機関で治療や入院を断られること
4. ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと
5. 偏見により差別的な言動を受けること
6. アパートなどの住宅への入居が困難なこと
7. 旅館、ホテルなどにおいて、不当な扱いを受けること
8. 怖い病気といった誤解があること
9. その他(具体的に)
10. 特にない
11. わからない

◇ インターネットによる人権侵害について

問 14 インターネット上で、人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。(○は3つ以内)

1. 他人の身元などを暴いたり、そしりや悪口を掲載すること
2. 差別を助長する表現を掲載すること
3. 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
4. 捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること
5. わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること
6. その他(具体的に)
7. 特にない
8. わからない

問 15 あなたは、インターネットをどのくらい利用しますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. よく利用する | 2. ときどき利用する | 3. 利用しない |
|-----------|-------------|----------|

《問 15 で「1. よく利用する」「2. ときどき利用する」と答えた方にお聞きします》

問 15-1 インターネット上で、他人をそしったり、悪口を言ったりするなど、人権侵害と思われるような書き込みやホームページを発見した場合について、お聞きします。あなたは、そのような内容のページを見ますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. 見る | 2. 見ない |
|-------|--------|

《問 15-1 で「1. 見る」と答えた方にお聞きします。》

問 15-2 そのようなページを見たとき、あなたはどのようにしますか。(○は1つ)

1. 自分とかかわりがなければ、特に何も感じない
2. そのようなページは、無視する
3. 自分も同じような内容で書き込みをする
4. 反対意見を書き込む
5. プロバイダまたは関係機関に知らせる
6. その他(具体的に)

◇ 家柄・血筋について

問 16 結婚相手を決めるとき、家柄とか血筋を問題にする風習について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1. 当然だと思う
2. おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
3. まちがっているから、なくしていかなければならないと思う

問 17 結婚にあたり、家柄や家族状況を調べること(聞き合わせ)について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1. 当然だと思う
2. おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
3. まちがっているから、なくしていかなければならないと思う

問 18 企業が採用選考のとき身元調査をすることについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1. 当然だと思う
2. おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
3. まちがっているから、なくしていかなければならないと思う

◇ 同和問題(部落差別)について

問 19 あなたは、日本社会に「同和地区」、「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けてきた地区があること、あるいは「同和問題」、「部落差別」といわれる問題があることを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている
2. 知らない →問 26 へ進む

《問 20 から問 25 までは、問 19 で「1. 知っている」とお答えになった方にお聞きします。》

問 20 あなたが、同和地区や同和問題(部落差別)について、はじめて知ったきっかけは、何(誰)からですか。(○は1つ)

1. 家族から聞いた	2. 親せきの人から聞いた
3. 近所の人から聞いた	4. 学校の友だちから聞いた
5. 学校の授業で教わった	6. 職場の人から聞いた
7. テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	
8. 同和問題の集会や研修会などで知った	
9. 県や市町村の広報紙や冊子などで知った	
10. その他(具体的に)
11. 覚えていない	

問 21 あなたは、今でも同和問題(部落差別)があると思いますか。(○はそれぞれの項目について1つ)

項 目	選択肢	差別はあると思う	差別はないと思う	わからない
ア. 結婚について		1	2	3
イ. 就職について		1	2	3
ウ. 学校・保育所などの教育現場について		1	2	3
エ. 日常の付き合いについて		1	2	3
オ. その他(具体的に)

問 22 仮に、日ごろ親しくつき合っている隣近所の人が、なにかのことで、同和地区の人であることがわかった場合、あなたはどうしますか。(○は1つ)

1. これまでと同じように親しくつき合う
2. 表面的にはつき合うが、できるだけつき合いは避けていく
3. つき合いはやめてしまう
4. なんとかして、近所から出ていってもらうように仕向ける
5. 自分の方が住居を変える

問 23 あなたが、家を購入したり、マンションを借りたりするなど住宅を選ぶ際に、同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件を避けることがありますか。
(○は1つ)

1. 同和地区や同和地区と同じ小学校区にある物件は避けると思う
2. 同和地区にある物件は避けるが、同和地区と同じ小学校区にある物件は避けないと思う
3. いずれにあってもこだわらない
4. その他(具体的に)
5. わからない

問 24 あなたのお子さんが結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。(○は1つ)

1. 子どもの意志を尊重し、親が口を出すべきではない
2. 親としては反対するが、子どもの意志が強ければ仕方がない
3. 家族の者や親せきの反対があれば、結婚を認めない
4. 絶対に結婚を認めない

《結婚していない方にお聞きします。》

問 25 あなたが同和地区の人と恋愛し、結婚しようとするとき、親や親せきから強い反対を受けたら、あなたはどのようにしますか。(○は1つ)

1. 自分の意志をつらぬいて結婚する
2. 親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志をつらぬいて結婚する
3. 家族の者や親せきの反対があれば、結婚しない
4. 絶対に結婚しない

《すべての方にお聞きします。》

問 26 同和問題(部落差別)の解決に対するあなたの考えに最も近いのはどれですか。(○は1つ)

1. これは、同和地区の人だけの問題だから、自分とは直接関係ない問題だと思う
2. 自分ではどうしようもない問題だから、成り行きに任せるより仕方がないと思う
3. 自分ではどうしようもない問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う
4. 基本的人権にかかわる問題だから、自分も市民の一人として、この問題の解決に努力すべきだと思う
5. わからない

◇ 人権尊重の取り組み及び啓発活動への参加、認知について

問 27 人権が尊重される社会を実現するには、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は3つ以内)

1. 人権意識を高めるための啓発を充実させる
2. 学校などにおいて人権教育を充実させる
3. 社会に見られる不合理な格差を解消させるための施策を充実させる
4. 社会的に弱い立場にある人を救済、支援していく
5. 人権にかかわりがある職場に勤める人の人権意識を高める(行政職員、教職員、医療・福祉関係者、警察官、消防士など)
6. 人権侵害に対する法的規制を強化する
7. 個人個人自らが人権意識を高めるように努める
8. 人権課題に対応する相談機関を充実させる
9. その他(具体的に)
10. 特にない
11. わからない

問 28 人権問題について県や市町村などが行っている教育・啓発活動のうちで、あなたが実際に参加したり、見たり、聞いたりしたことがあるものはどれですか。(あてはまるものに〇をつけてください) また、「1. 講演会、研修会、シンポジウム」、「2. 啓発イベントや企画展示」については参加の頻度をお答えください。(〇はそれぞれの項目について1つ)

1. 講演会、研修会、シンポジウム

(1) よく参加している	(2) 1～2度参加
(3) 参加したことはない	
2. 啓発イベントや企画展示

(1) よく参加している	(2) 1～2度参加
(3) 参加したことはない	
3. 広報紙
4. テレビ、ラジオ
5. パンフレット、冊子など
6. 映画、ビデオ
7. 新聞、雑誌
8. 掲示物(ポスターなど)
9. 交通広告(電車車内広告など)
10. インターネットのホームページやお知らせ
11. その他(具体的に)
12. 特にない

《 男女共同参画に関する質問 》

◇ 家庭生活などについて

問 29 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どう思いますか。(○は1つ)

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

《結婚している方（事実婚を含む）にお聞きします。》

問 30 あなたは、次にあげる家庭におけることは、主にだれの役割ですか。(○はそれぞれの項目について1つ)

項目	選択肢	主に夫	主に妻	夫婦が協力して同じ程度	家族全員	その他の人	わからない
ア. 家計の管理		1	2	3	4	5	6
イ. 掃除		1	2	3	4	5	6
ウ. 食事のしたく		1	2	3	4	5	6
エ. 食事の後かたづけ、食器洗い		1	2	3	4	5	6
オ. 洗濯		1	2	3	4	5	6
カ. 自治会・町内会活動		1	2	3	4	5	6

※子育て中、介護中の方はキ、クについてもお答えください。

キ. 育児、子どもの世話	1	2	3	4	5	6
ク. 高齢者や病人の介護・世話	1	2	3	4	5	6

問 31 あなたは、生活の中で仕事、家庭生活、地域活動・個人の生活※で何を優先しますか。※家庭生活…家事、育児、介護など 個人の生活…学習、趣味、付き合いなど

(1) まず、あなたの希望にもっとも近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域活動・個人の生活」を優先させたい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域活動・個人の生活」をともに優先させたい
6. 「家庭生活」と「地域活動・個人の生活」をともに優先させたい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動・個人の生活」をすべて優先したい
8. わからない

(2) それでは、あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域活動・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域活動・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域活動・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域活動・個人の生活」をすべて優先している
8. わからない

◇ 女性が働くことについて

問 32 一般的に女性が職業※を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ) ※職業…生計を維持するために日常している仕事

1. 女性は職業を持たない方がよい
2. 結婚するまでは職業を持つ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業を持つ方がよい
4. 子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい
5. 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい
6. その他(具体的に)
7. わからない

問 33 女性が職業を持ち続けていく上で、あなたは特にどのようなことが必要だと思われますか。(○は3つ以内)

1. 女性が働くことに対して、家族や周囲が理解・協力する
2. 女性が働くことに対して、職場の上司、同僚の理解を深める
3. 保育施設や保育時間の延長など保育サービスを充実させる
4. ホームヘルプなどの家事援助や介護支援を充実させる
5. 男女ともに育児・介護休業が取得しやすいようにする
6. 短時間労働や在宅勤務など多様な働き方ができる環境を整備する
7. 育児などで退職した人を再び雇用する制度を普及させる
8. その他(具体的に)
9. 特にない

◇ 子育て、介護などについて

問 34 あなたは、子育てについてどのような考えを持っていますか。(○は1つ)

1. 男の子も女の子も、同じように育てるのがよい
2. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい
3. その他(具体的に)

問 35 家族などの介護についてどのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 女性の役割だと思う
2. 男性の役割だと思う
3. 女性も男性もともに介護するべきだと思う
4. 原則として社会が行うべきだと思う
5. その他(具体的に)
6. わからない

問 36 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つ以内)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす
3. 夫婦や家族間での家事・育児・介護の分担について十分話し合う
4. 夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を周りが尊重する
5. 子どもの頃から性別に関係なく家事などにかかわるようにする
6. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう、啓発や情報提供を行う
7. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
8. 県や市などの講座などにより、男性の家事や子育て、介護などの知識や技術を高める
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）作りを進める
10. 仕事と家庭の両立などの問題について男性が相談しやすい窓口を設ける
11. 仕事と家庭の両立が出来るように、社会全体の仕組みを改める
12. その他（具体的に _____)
13. 特にすることはない
14. わからない

◇ 男女の平等について

問 37 あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(○はそれぞれの項目について1つ)

項目	選択肢	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
ア. 家庭生活		1	2	3	4	5	6
イ. 職場		1	2	3	4	5	6
ウ. 学校教育の場		1	2	3	4	5	6
エ. 地域活動の場		1	2	3	4	5	6
オ. 政治の場		1	2	3	4	5	6
カ. 法律や制度の上		1	2	3	4	5	6
キ. 社会通念・慣習・しきたりなど		1	2	3	4	5	6
ク. 社会全体でみた場合		1	2	3	4	5	6

◇ 男女共同参画社会について

問 40 あなたは、次にあげる言葉の意味や内容を知っていますか。(○はそれぞれの項目について1つ)

項目	選択肢	内容まで知っている	言葉を聞いたことがある程度	まったく知らない
ア. 男女共同参画社会基本法		1	2	3
イ. 女子差別撤廃条約		1	2	3
ウ. 男女雇用機会均等法		1	2	3
エ. 女性活躍推進法		1	2	3
オ. 政治分野における男女共同参画推進法		1	2	3
カ. ジェンダー（社会的性別）		1	2	3
キ. ポジティブ・アクション（積極的改善措置）		1	2	3
ク. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）		1	2	3
ケ. セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）		1	2	3

問 41 男女共同参画社会の推進のためには、津島市としては、特にどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(○は5つ以内)

1. 広報やホームページなどで男女共同参画についての学習啓発を行う
2. 女性を審議会などの政策決定の場に積極的に登用する
3. 各種団体の女性リーダーを養成する
4. 保育施策や保育サービスなど、子育て支援を充実する
5. 高齢者や障がい者の施設、介護サービスを充実する
6. 配偶者や恋人からの暴力をなくすための施策を充実する
7. 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女共同参画についての学習を充実する
8. 女性の健康増進や母性保護の施策を充実する
9. 企業や事業主に対し、職場における男女の均等な取扱いについて周知啓発活動をする
10. 家庭や地域で男女が共同参画するための支援と情報提供を充実する
11. 女性の就業・再就職に関する情報提供や職業訓練の機会を提供する
12. 国際交流・国際協力に男女が共に参画できるように支援する
13. その他（具体的に _____ ）
14. 特にない
15. わからない

《 回答を統計的に分析するために、あなた自身のことについてお聞かせください。 》

- あなたの性別は

1. 男	2. 女
------	------

- あなたの年齢は

1. 18～29 歳	2. 30～39 歳	3. 40～49 歳
4. 50～59 歳	5. 60～69 歳	6. 70 歳以上

- あなたが現在住んでいるところの中学校区は

1. 天王中学校区	2. 藤浪中学校区	3. 神守中学校区
4. 暁中学校区	5. わからない方は町名 (町)

- あなたが最後に卒業された学校は (在学中の方は在学している学校をお答えください。○は1つ)

1. 小学校、中学校	2. 高等学校、専修学校	3. 短大、専門学校
4. 大学、大学院、高専	5. その他 (未就学など)	

- あなたが現在しているお仕事は次の中のどれですか (一番近いものをお答えください。○は1つ)

1. 自営業 (農林、商工サービス、建設業、自由業などの事業主及び家族従事者)	
2. 公務員	3. 教員
4. 民間企業・団体の経営者、役員	
5. 民間企業・団体の勤め人 (従業員100人未満)	
6. 民間企業・団体の勤め人 (従業員100人以上)	
7. 臨時雇、パート、アルバイト	8. その他の有業者
9. 家事専業	10. 学生
11. 無職 (求職中や定年後を含む)	
12. その他 ()

- 結婚していますか

1. 結婚している	
2. 結婚していないがパートナーと暮らしている	
3. 結婚していたが、離婚・死別した	4. 結婚していない

- 共働きの有無

1. している	2. していない
---------	----------

● 子どもの有無

1. いる	2. いない
-------	--------

● 家族構成

1. ひとり暮らし	2. 夫婦だけ（1世代世帯）
3. 親と子ども（2世代世帯）	4. 親と子どもと孫（3世代世帯）
5. その他（	）

《 自由意見 》

今までお聞きしたこと以外にも、あなたが日ごろ、人権問題や男女共同参画社会について、お考えのことやお気づきのことなど、なんでも結構ですのでぜひお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

質問は以上です。
記入もれがないか、もう一度ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、封をして、**切手を貼らずに7月16日（火）**までにポストにご投函ください。
お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

人権・男女共同参画に関する市民意識調査報告書

令和 2 年 2 月発行

津島市市民生活部人権推進課

〒496-8686 津島市立込町2丁目21番地

電話 (0567) 24-1111 (代表)